学校における各種通信の実態と 教育効果に関する調査研究 最終報告書

2018年9月

学校における各種通信の実態と 教育効果に関する調査研究 最終報告書

はじめに

公益財団法人理想教育財団では、学校において、先生と子どもたち、 学校と家庭、そして地域社会とのよりよいコミュニケーションを目指し て発行されている学級通信、学年通信、学校だよりなど各種通信を広く 紹介することを目的として、2005年から毎年、各種通信の公募の場 「プリントコミュニケーションひろば」を提供してきました。

その実績を踏まえ、今後ますますIT化、SNS化が進むであろう 教育環境にあって、従来から広く活用されている紙(印刷)媒体の通信 に焦点を当て、その実態調査を行いました。

学校現場における現在の発行状況、通信の果たしている役割と教育効果、教師の多忙化が叫ばれるなか、先生方はどのような思いで通信を発行しているのか、対して、保護者は通信になにを期待しているのかなど、通信を通して見えてくるさまざまな状況、問題点、今後の可能性などが明らかになりました。2017年3月発表の「速報版第一弾」、同年10月発表の「速報版第二弾」に続き、ここに「最終報告書」をお届けします。

本調査研究を担った「学校における各種通信の実態と教育効果に関する調査研究会」のメンバーは以下のとおりです。

冨安 敬二(立教大学名誉教授)

吉成 勝好 (新聞教育支援センター代表)

小林 正幸 (東京学芸大学教育実践研究支援センター教授)

井上 大輔 (新宿区立天神小学校主幹教諭)

五十嵐秀隆(公益財団法人理想教育財団事務局長)

福田 正美(公益財団法人理想教育財団事務局)

学校の「情報発信」全体計画の一環としての 通信づくりが望まれる

新聞教育支援センター代表 吉成勝好

あらゆる業種で「働き方」が問われている。学校も例外ではない。長時間勤務、サービス残業、精神的ストレス、過労死……は、学校現場でこそ最も危惧されるように思われる。 そのなかでの学級通信づくりのあり方について、本調査を通してこんなことを考えた。

学級通信を出している先生も、出していない先生もいる。全校で出すことが奨励されている学校も、出さないようにと管理職から規制されている学校も、各人の自由に任されている学校もある。いずれの場合も、根底にあるのは、学級通信の発行は、教師本来の教育活動からいえば「プラスα」の自主的な活動であるという意識だろう。この点で学級通信は、通常の業務(分掌)の一環ととらえられることの多い学校だよりや学年通信とは根本的に位置づけが異なるといえる。優れた学級通信を見るにつけ、日本の教師の自主性・創造性・献身性の水準の高さを痛感し、感動し、頭が下がる。しかし、果たしてこのままで大丈夫なのだろうか、超多忙化のなかで学級通信がますます出しづらい状況になってしまうのではないか。対応のひとつとして、次のような考え方はどうだろうか。

学校経営にとって、学校から家庭や地域社会への情報発信と情報の双方向化は不可欠だ。そこで、校長のリーダーシップのもと、情報の送受信に関する全体計画を策定し、学校だより・学年通信・学級通信や各種通信類の発行を正規の業務として位置づけ、組織的・計画的に取り組むのである。そうなれば通信類の発行は、好きとか嫌いとか、得意とか不得意とか、個人的な動機から恣意的に取り組む活動ではなく、すべての教師が役割に応じて必ず従事する教育業務の一環、一分野となる。そのなかで先生方の負担軽減策として、たとえば、複数学級であっても学級通信を学年通信へ一元化したり、学年通信のなかに各学級のページをつけ加えるなどの方策も考えられるだろう。ICTの活用も有効だろうし、学校・学年行事、要提出書類や集金の予定、各種約束事などの情報は、年度始めに「〇〇学校なんでも便利帳」などの名称で1冊にまとめて各家庭に常備してもらい、Web上でもいつでも参照できるようにすれば、通信作成業務の簡素化につながるかもしれない。

現職時代は通信づくりに力を注ぎ、「学級通信、このよきもの」への愛着を抱き続けてきたが、今あらためて通信活動のあり方が問われ、新たな曲がり角に来ているのではないかというのが、本調査を通して抱いた実感である。

多忙感に煩わされず、通信作成の時間が 意義あるものであり続けてほしい

東京学芸大学教育実践研究支援センター教授 小林正幸

本研究では、私は統計的な側面で必要に応じて、どのようにデータ処理を行うのが適切なのかを担当した。主にデータ収集方法が違う場合に、サンプルを合体して分析してよいかどうかなどについて、統計学的な視点から判断をすることが役割であった。

これまで、教師を育てる大学の教員ではあったが、本研究で追究する学級通信、学年通信、 学校だよりについては、申し訳ないことに、それほど注目をしてはいなかった。これらの 通信についていえば、多くの読者と同様に、自分が子ども時代のはるか昔の記憶にあるも のであった。たとえば、親にそれを見せないでいて、怒られたという記憶である。あるいは、 子育ての最中にもそれに目を通していたはずだが、その記憶も定かではない。

今回、本調査の分析を通して学級・学年通信や学校だよりを作る側、読む側の意識をつぶさに見ることになった。とくに、教師がそれらを保護者との意思疎通や教育活動の道具として、さまざまに工夫を重ね、力を入れ、時間を費やしている様子が鮮明に浮かび上がってきた。それに感心し、驚き、その苦労を思いやる機会となった。

各種通信は、必要最低限の家庭への連絡機能にとどまるものではない。教師は教育的活動としてそれを扱い、そこに教育的な価値を与え、情熱を注ぐ。たとえば、学級通信では、発行頻度にバラつきがあるものの、週1回以上の発行を志す教師も少なくない。時間帯としては放課後に通信を作成するケースが最も多いが、4~5人に1人は勤務時間外に作成したり、個人情報保護の観点から、さまざまな方面に気をつかわねばならないこともあるなかで、各種通信作成に勤しむ教師のなんと真摯で、真剣で、エネルギッシュなことかと思う。自由記述の内容からは、地平線に消えていく太陽を眺めながら、瞼を閉じて、通信に載せる記事を推敲する教師の姿が垣間見られたように感じている。

人が忙しさで潰れるのは、費やす時間量によらない。意義を感じない仕事に時間を取られるときに人は潰れる。意義を感じないことに時間を費やすとき、それは多忙ではなく多忙感なのだと思う。今後、印刷媒体だけではなく、Webの媒体を使って各種通信が配布されるようになるのかもしれない。媒体がいかに変わろうが、教師がこれを作成するとき、各種通信の作成に教師が時間を使うことが、多忙感に煩わされることなく、意義あるものであり続けてほしいと願ってやまない。

通信を発行し続けている現職教員の立場から

新宿区立天神小学校主幹教諭 井上大輔

私は、唯一の現職教員としてこの調査研究に携わらせていただいた。

小学校の教員となってから22年間、週1回の学級通信を継続して発行してきた。ある日、学校で発行される各種通信のコンクール「プリントコミュニケーションひろば」に出合い、勤務校の管理職の薦めもあって初めて応募してみた。すると私の発行した学級通信が入賞し、以来、毎年のように応募することが励みになっていた。さらにその数年後には、同コンクールの第一次審査員の話をいただくなど驚きの連続であったが、審査員の一人として、本年もたくさんの応募作品にふれることができた。

平成26年度、教職大学院の派遣研修生として学ぶ機会を得た。その際、私が研究テーマに選んだのは「学級通信」であった。ありふれた教科研究よりも自分にしかできない研究をしたいと思い、その夏に216名の小学校教員に質問紙による調査を行い、教職課題研究論文としてまとめた。

そのような経緯があり、今回、本研究のメンバーとして声をかけていただいた。多くの 諸先生方に囲まれ、自分のような若輩者がという思いが常にあったが、教職大学院で取り 組んだほんの小さな研究調査がどんどん広がっていくような喜びがあった。

本研究は、私にはできなかった全国規模の調査であり、一般教諭、管理職合わせて5000を超える母数から、より信憑性の高い調査結果がもたらされたと考えている。「学級通信は発行してもしなくてもよい」という、漠然とした伝統のようなものが教育現場にはある。今回の調査において、通信の発行率、発行しない(できない)理由、通信の記事内容、紙面のサイズなど、ぼんやりしていたことが少しずつ見えてきたように思う。地域や保護者へ向けて通信を発行し続けながら、なんとなく感じていた「通信の力」「通信の魅力」といったものが、本研究で明らかになったことは、自分にとっても大きな宝物になった。

私は、現在もひとりの教員として各種通信類を発行している。そして、これからも発行 し続けていくであろう。本調査結果を生かしながら、紙媒体の通信のよさを信じ、今後も よりよい通信を目指していきたい。

調査研究にあたって

公益財団法人理想教育財団事務局長 五十嵐秀隆

当財団が主催する各種通信のコンクール「プリントコミュニケーションひろば」は来年で15回目を迎える。現在、その作品募集に向けて準備を進めているが、毎年このコンクールを通して先生方の地道な努力の成果を拝見するにつけ、ただただ頭が下がる思いだ。

3年ほど前、ある現役の先生からお手紙を頂戴した。多忙な現場の様子を上司に説明したところ、多忙の原因のひとつとなっている通信の作成などはメール配信で済ませたらよいと簡単にかたづけられたというのだ。先生は、通信作成の意義を著しく無視されたと感じたようで、通信のコンクールを主催する当財団に理解を求めてきたということらしい。

このことは私どもが本調査研究を実施しようと決断するきっかけとなった。通信の作成に関する学校や先生方の実態を把握し、教育的な見地に立った通信の効果や位置づけとは何か、多忙を苦にせず、寸刻を惜しんで通信の発行を続ける先生方が感じている、メール配信に代替させられない通信の役割と機能とは何かをしっかりと分析して、その結果を全国の先生方に提供できるようにしたいと思った。通信の実際例を作品として応募いただくコンクールを長年にわたって主催してきた当財団の責務である。

何を知りたいかを整理し、質問項目を組み立て、アンケート実施先を特定し、送付・回収方法を検討する、一見なんの変哲もないありふれた調査ではあった。外部に丸投げせず自前で行うことにしたものの、手際よく進めるには経験が少なすぎた。質問項目の順番、回答選択肢の洗い出しや表現に関するノウハウがなかった。また、保護者に対するアンケートでは、回答にバイアスがかかる懸念について勉強させられた。このような私どもの実力を理解し、研究組織に参画いただき、さまざまな場面で適切なご助言やご指導を賜った研究会のメンバーの方々にはあらためて御礼申し上げたい。

調査研究会を立ち上げて早くも3年になる。少し時間がかかり過ぎかと思うが、その間まとまりつつあった調査集計データを「速報版」(第一弾2017年3月、第二弾同年10月)としてホームページ上に開示した。最も伝えたい調査結果はすでにこれら速報版で言い尽くされたかもしれない。しかし、最終報告書に掲載した静かな数字の羅列や一見無表情にみえるグラフには、これからの先生方と通信の姿を示唆する重要な情報がこっそり隠されているかもしれない。公益財団法人の着眼が先生方のお役に立つことを願っている。

学校における各種通信の実態と教育効果に関する調査研究 最終報告書●目次

● はじめに······	3
●最終報告書の刊行にあたって	
学校の「情報発信」全体計画の一環として	の通信づくりが望まれる 新聞教育支援センター代表 吉成勝好4
多忙感に煩わされず、通信作成の時間か	で記載あるものであり続けてほしい 東京学芸大学教育実践研究支援センター教授 小林正幸5
通信を発行し続けている現職教員の立場	場から 新宿区立天神小学校主幹教諭 井上大輔6
調査研究にあたって	公益財団法人理想教育財団事務局長 五十嵐秀隆7
●調査の概要	13
一般教諭を対象としたアンケー	一卜調査結果
各学年ともバランスのよい回答者分布 [Q] 先生のプロフィールについて教えてくた	
学級通信の発行率77%	17 いますか?]
	8% ······18
	い]と回答·······19
学年通信も学級通信と同様 92%が「発行した [Q2-③ 学年通信は発行したほうがよいと思	: ほうがよい」 と回答20 いますか?]
[Q2-④ 学年通信の発行を担当している先生	
●学級通信や学年通信を発行していない先生のみ	•
最大の理由は「時間がない」小学校 48%、中等 [Q3-① 学級通信を発行していない理由を教	学校 61 %22 えてください(複数回答)]
	ヽ ップ23
	/ L C N / L C U I N / Q X X P I C I / I

学級通信のタイトルは「クラスの合言葉や目標になるもの」	
「動植物や自然をイメージしたもの」が人気	24
[Q4-①-1 先生が発行する学級通信のタイトルは?]	
学年通信のタイトル、中学校では「英語」「一文字」 がトップ 5 入り	25
[Q4-①-2 先生が発行する学年通信のタイトルは?]	
学級通信の発行頻度は「週 1 回」が 42%	26
[Q4-②-1 学級通信の発行頻度は?]	
学年通信の発行頻度は大半が「月1回」	27
[Q4-②-2 学年通信の発行頻度は?]	
判型は A 4 が主流······	28
[Q4-③-1 発行している通信の判型は?]	
片面印刷 71%、両面印刷 21%	29
[Q4-③-2 発行している通信の印刷面は?]	
モノクロが8割を占めるなか、カラーも11%と健闘	30
[Q4-③-3 発行している通信の刷り色は?]	
88%の先生が「パソコン」で作成、「手書き」は5%と希少派に	31
[Q4-④ 原稿の作成方法は?]	
78%が「学校の印刷機」を使用、2台併用で使い分ける先生も	32
[Q4-⑤ 印刷方法は?]	
小学校と中学校では、学級通信の掲載内容に微妙な違いが	33
[Q4-⑥ 学級通信の場合、どのような内容を掲載していますか?(複数回答)]	
小学校の学年通信では「子どもや保護者へのお願い」が、	
中学校では「学年活動・学校行事への取り組み」がトップ	34
[Q4-⑦ 学年通信の場合、どのような内容を掲載していますか?(複数回答)]	
作成時間、小学校は「1時間」が過半数、中学校は「1時間」と「2~3時間」が拮抗	35
[Q4-® 通信を作成する時間はどのくらいですか?]	
通信作成に負担を「多少感じる」 58%	36
[Q4-⑩ 通信を作成することに負担を感じたことはありますか?]	
作成時間と負担感にはゆるい相関関係が	37
[Q4-®&⑩ 通信の作成時間と負担感とのクロス集計]	
「放課後」が最多だが、4~5 人に 1 人は勤務時間外に作成	38
[Q4-⑨ おもにいつ、どこで作成していますか?]	
学級通信の発行目的や役割が浮き彫りに	39
[Q4-⑪ 通信を作成・発行するうえで大切にしていることは?(複数回答)]	
悩みのトップは 「ネタ探し」 68%	40
[Q4-⑩ 通信を作成・発行するうえで悩んでいること、困っていることは?(複数回答)]	
初めての学級通信は73%が「先輩の通信を見て」作成	41
[Q4-® 初めて通信を発行したとき、なにを参考にしましたか?(複数回答)]	
通信の役割・効果は2位以降で小学校と中学校の違いが顕著に・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	42
[Q5 通信づくりについて感じていること考えていることなど(自由記述)]	

管理職を対象としたアンケート調査結果

小学校95%、中学校93%の管理職が、担任だった頃、学級通信を発行していたと回答	44
[Q1 先生のプロフィール(役職など)について教えてください]	
発行率 99%の「保健だより」をはじめ、学校は通信の宝庫	45
[Q2-① 先生の学校では、どんな通信が発行されていますか?(複数回答)]	
学級通信の発行率 81~100%の学校が6割超	46
[Q2-② 学級通信を発行している学級の割合は?]	
64%の管理職が「表現や内容にまで踏み込んで修正」と回答	47
[Q2-③ 通信類を事前にチェックする際のポイントは? (複数回答)]	
学校だよりのタイトルトップ3は、①学校名、②動植物や自然、③地名・歴史にちなんだもの	48
[Q3-① 学校だよりのタイトルは?]	
大半が校長 (64%) か副校長・教頭 (38%) が作成	49
[Q3-② 学校だよりを作成している先生は?(複数回答)]	
学校だよりの発行頻度は「月1回」が多数派	50
[Q3-③ 学校だよりの発行頻度は?]	
より公的な学校の広報としての目的が明確に	51
[Q3-④ 学校だよりを発行する主な目的は?(自由記述)]	
学級通信・学年通信との棲み分けを意識	52
[Q3-⑤ 学校だよりの掲載内容は?(複数回答)]	
ネタ集めは「写真撮影」と「情報収集」がポイント	53
[Q3-⑥ 学校だよりを作成するうえでネタ集めとして工夫していることは?(自由記述)]	
「反響や励ましがある」と「関心・理解・信頼が得られる」が2大メリット	54
[Q3-⑦ 学校だよりを発行していて、「よかった」と思うのはどんなことですか?(自由記述)]	
●学校だよりを発行していない場合のみお答えください	
紙媒体からホームページやブログへ移行する動き	55
[Q4 学校だよりを発行していない理由を教えてください]	
●出処え信か出た。又信もしいナノ西陸の赤ルニへいてもなってもなっています。	
●学級通信や学年通信をとりまく環境の変化についてお答えください	• • • • •
学級通信と学年通信は「別々に発行すべき」が7割超	56
[Q5-① 最近、学級通信を学年通信に一本化する動きがみられますが、どう思いますか?]	
「早くチェックして発行が遅れないようにすべき」57%に対し、	
「チェックに時間がかかるのは仕方がない」23%	57
[Q5-② 学級通信の掲載内容について、「学校側のチェックに時間がかかりすぎる」という声があるが…]
「全員出すように指導」より「自主性に任せる」	58
[Q5-③ 学級通信を発行している先生と発行していない先生がいる場合の対応は?(複数回答)]	
保護者の評価は「異なると思う」62%、「そうは思わない」28%	59
[Q5-④ 学級通信を出している先生と出していない先生では、保護者の評価は異なると思いますか?]	
「学級経営をサポートする重要なメディア」を筆頭に、小中学校ともまったく同じ順位	61
[Q5-⑤ 学級経営と学級通信の関係についてお答えください(複数回答)]	
多岐にわたる学級・学校経営への好影響・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	62
[Q5-⑥ 学級通信(学校だより)は、学級経営(学校経営)にどんな効果があると思いますか?(自由記述)	1

保護者を対象としたアンケート調査結果

77%の保護者が「学級通信を発行している」と回答	.64
●学級通信を「発行していない」と答えた方にお聞きします	
「あまり発行の必要を感じない」+「発行する必要はない」で 54% ······	
[Q2 お子さんの学校で学級通信を発行していない場合、発行してほしいですか?]	00
●学級通信を「発行している」と答えた方にお聞きします	• • • •
発行サイクルは「月1回」59%、「週1~2回」24%	-66
[Q3-① 学級通信の発行サイクルはどれくらいですか?]	
発行サイクルの多少にかかわらず「ちょうどよい」が圧倒的多数	67
[Q3-② 現在の発行サイクルについてどう思いますか?]	
「必ず読む」が小学校81%に対し、中学校56%	68
[Q3-③ 学級通信は必ず読みますか?]	
小学校2位、中学校3位に「週間予定・月間予定」	69
[Q3-④ 学級通信のなかで興味をもって読むものはなんですか? (複数回答)]	
学級通信は「必要である」86% ·······	.70
[Q3-⑤ 学級通信は必要ですか?]	
「必ず読む」人は、学級通信が「必要」な人	71
[Q3-③&⑤ 学級通信を読む度合いと必要度とのクロス集計]	
「必要な理由」で浮き彫りになった、保護者が学級通信に期待する役割	72
[Q3-⑥-1 学級通信は「必要である」と答えた理由を教えてください(自由記述)]	
発行してもらえればうれしいが、先生の負担が心配	.73
[Q3-⑥-2 学級通信の必要性について「どちらともいえない」と答えた理由は?(自由記述)]	
小学校は「忘れ物防止」策として活用、中学校は「わが子の写真や作品」が人気	.74
[Q3-⑦ 学級通信を読んで、役に立ったこと、参考になったこと、うれしかったことは?(自由記述)]	
小中学校とも載せてほしい情報トップ4は実際の掲載内容と合致	.75
[Q3-® 学級通信には、どんな情報を載せてほしいですか? (複数回答)]	
発行頻度から内容、希望の発行日まで多様な不満・要望	.76
[Q3-⑨ 現在の学級通信について不満や要望はありますか?(自由記述)]	
学級通信の内容について子どもと話をすることが「よくある」+「ときどきある」で56%	.77
[Q3-⑩ 学級通信の内容について、お子さんと話をすることがありますか?]	
「楽しみにしている」 21%に対して、「とくに関心がない」 58%	.79
[Q3-⑪ お子さんは学級通信についてどう感じていると思いますか?]	
双方向性のある通信について、51%が「どちらともいえない」と回答	.80
[Q3-⑫ 保護者の声や感想が載っている学級通信についてどう思いますか?]	
保護者間で話題になることが「よくある」+「ときどきある」+「たまにある」で58%	.81
[Q3-® 学級通信の内容が保護者の間で話題になることはありますか?]	
根強い人気、「紙の学級通信のほうがよい」が過半数	.82
[Q3-⑭ 学級通信が紙媒体ではなく、Web上で見られるようになったらどう思いますか?]	
学級通信の内容や発行頻度は、「先生の評価にはつながらない」が56%	.83
[0.3-6] 学級通信の内容や発行頻度の多さが、担任の先生を評価することにつながりますか?]	

1 位「学級通信の発行を続けてほしい」、2位「先生の負担にならない程度で」84 [Q4 学級通信について感じていること、考えていること(自由記述)]
【補足】アンケートの自由記述欄より
 ●通信の発行に関する課題や問題点 86 ●多忙感や負担感を超えるメリットの大きさ 87 ●管理職は学級経営・学校経営への効果を意識 88 ●継続のコツは「無理なく楽しみながら」 89 ●ホームページやブログとの役割分担を考える 90 ●紙かWebか、保護者は学級通信になにを求めているのか 91
巻末資料
●通信名一覧
学級通信· 小学校············94
字級通信・寸字校····································
学年通信·小学校······108
学年通信·中学校······113
学校だより·小学校···································
学校だより・中学校·······119
●調査に用いた質問紙
一般教諭対象
管理職対象124

保護者対象……………………………………………………………………………126

調査の概要

1. 調査目的

全国の学校現場における「学級通信」「学年通信」「学校だより」の発行状況と動向を調査し、 先生の多忙化が叫ばれるなか、通信発行にともなう障壁や問題点、発行の妨げとなっている要 因(通信を発行していない場合はその要因)を明らかにすることにより、その課題解決の方向 性や各種通信を作成・発行しやすい環境のあり方などを探る。さらに、通信が担っている役割 や教育的意義と教育効果の可能性を展望し、教育活動をより活性化させることを目的とする。

2. 調査方法

質問紙によるアンケート調査(質問紙は、巻末資料 P.121 以降に掲載)。

3. 調査実施時期

【一般教諭·管理職対象調査】平成28年2月1日~2月29日 【保護者対象調査】平成28年7月1日~平成29年3月31日

4. 調査対象

対象者は、全国の国公立小中学校 6,101 校*(小学校 4,000 校、中学校 2,101 校) に在籍する一般教諭および管理職 (校長、副校長・教頭、教務主任等)。対象者の抽出にあたっては、在籍校の規模にかたよりのないよう、小規模校・中規模校・大規模校のバランスにも留意した。

また、東京都を中心とした 29 都道府県に在住する小中学生の保護者にも調査を行った。 *当財団主催「ブリントコミュニケーションひろば」に応募実績のある私立学校5校を含む。

5. 調査項目

【一般教諭対象調査】学級通信、学年通信の発行状況および発行者としての思いや悩み。 【管理職対象調査】学校だよりの発行状況および学級通信と学級経営との関係について。 【保護者対象調査】小中学校に在籍する児童・生徒の保護者は学級通信をどう読んでいるか。

6. 回収結果(有効回収数·回収率)

		小学校	中学校	その他 (公立小中一貫校等)	合計
一般教諭	有効回収数	2,062	1,028	120	3,210
川又守又 [1]	回収率	10.3%	9.8%	_	10.5%
管理職	有効回収数	1,197	642	_	1,839
日生地	回収率	6.0%	6.1%	<u>—</u>	6.0%
保護者	有効回収数	332	209	_	541
	回収率	56.9%	42.1%	_	50.1%

一般教諭を対象とした アンケート調査結果

有効回収数:小学校 2,062

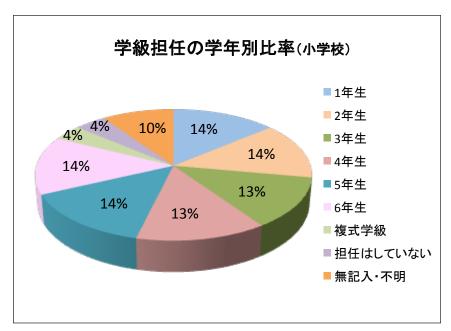
中学校 1,028 その他 120 合 計 3.210

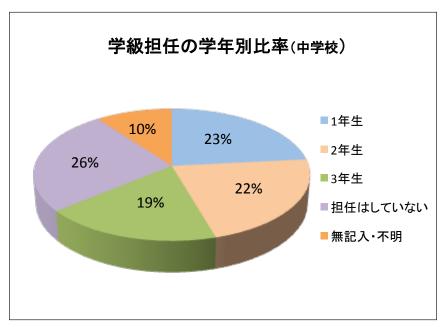
各学年ともバランスのよい回答者分布

[Q1 先生のプロフィールについて教えてください]

一般教諭を対象としたアンケート調査では、最初に何年生の担任をしているかを尋ねた。その結果が下掲のグラフである。小中学校ともに、各学年の回答者分布のバランスが非常によいことがおわかりいただけるだろう。もちろん意図して得られた結果ではないが、特定の学年にかたよることなく、3200余の一般教諭の有効回答が得られたことは、「平均的な先生像」をつかむうえでもきわめて幸運であったといえよう。

なお、「担任はしていない」と答えた先生の比率は、小学校ではわずか4%。一方、中学校では、教科担任制をとっていることもあり、26%と全体の4分の1を占めていた。



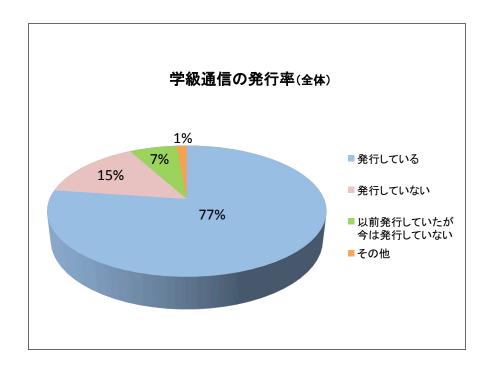


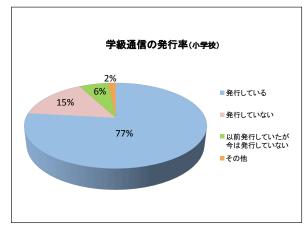
学級通信の発行率77%

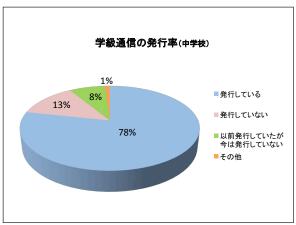
[Q2-①-1 現在、先生は学級通信を発行していますか?]

学級通信を発行している先生の割合は、全体で77%であった。小中学校別にみても、この割合にほとんど違いはない。

77%を高いとみるか低いとみるかは見解の分かれるところだろうが、教師の多忙化が叫ばれ、また、紙媒体からホームページやブログなど Web 上での情報提供に切り替える学校も増えてきているなかで、約8割の先生が発行していると回答したことは予想を上回る結果であった。「紙の学級通信」は今も変わらず、担任と子どもたちや保護者とのコミュニケーションツールとして、その中心的な役割を果たしていると考えてよさそうだ。





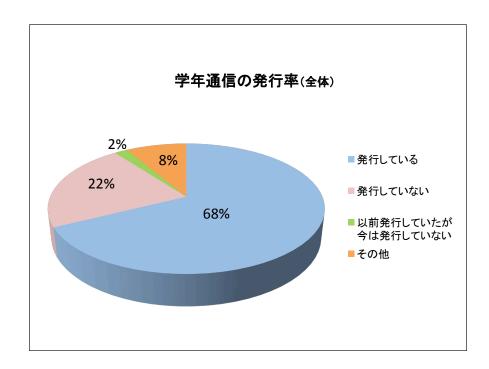


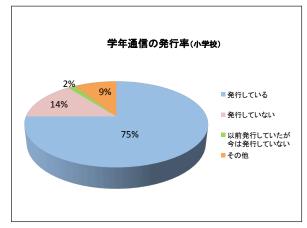
学年通信の発行率は、学級通信より9%低い68%

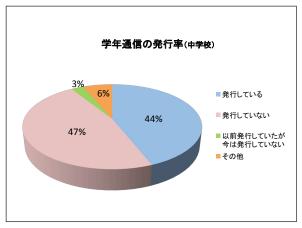
[Q2-①-2 現在、先生は学年通信を発行していますか?]

学年通信を発行している先生の割合は全体で、学級通信よりも9%低い68%であった。ただし、学年通信で「その他」と回答した先生(8%)のほとんどが、「単学級につき学級通信が学年通信を兼ねている」と書いていた。この回答を学年通信の発行率に算入すると76%程度となり、学級通信の発行率とほとんど差がないことになる。

小中学校別にみると、小学校の発行率は75%と学級通信とほぼ同率であるのに対して、中学校は44%と学級通信をはるかに下回る。30%もの違いの理由は定かではないが、小学校では、学級通信と学年通信がいずれも高い発行率を示しているのに比べ、中学校では、学年通信よりも学級通信の発行が優先される状況や傾向があるのではないかと考えられる。





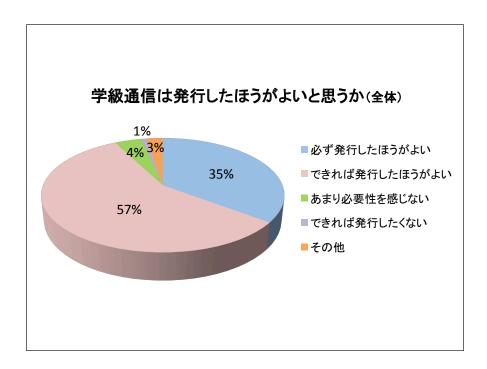


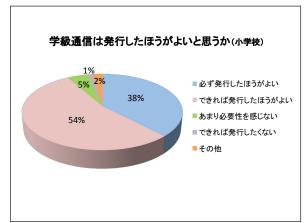
92%の先生が学級通信は「発行したほうがよい」と回答

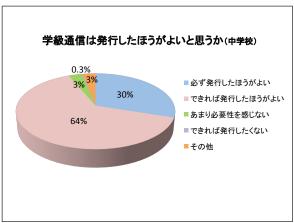
[Q2-② 学級通信は発行したほうがよいと思いますか?]

「学級通信は発行したほうがよいと思いますか?」という質問に対して、「必ず発行したほうがよい」35%、「できれば発行したほうがよい」57%、合わせて92%の先生が「発行したほうがよい」と回答した。「発行したほうがよい」と答えた先生の割合は、小中別にみても、小学校92%、中学校94%とほとんど差異はみられない。

なお、92%の先生が、学級通信は「発行したほうがよい」と回答しているにもかかわらず、 実際に発行している先生の割合は77% (P.17参照) と、15%のギャップが生じている。この要 因については、P.22に示した「学級通信を発行していない理由」が参考になると思われる。





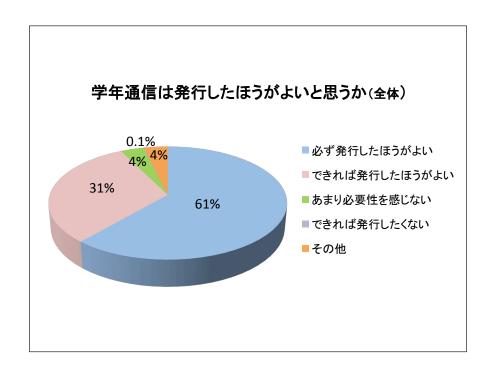


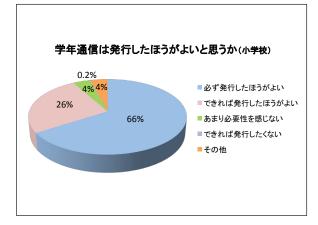
学年通信も学級通信と同様92%が「発行したほうがよい」と回答

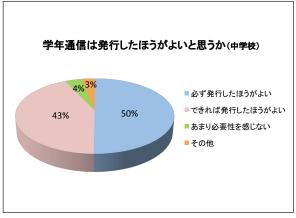
[Q2-③ 学年通信は発行したほうがよいと思いますか?]

「学年通信は発行したほうがよいと思いますか?」という質問に対して、「必ず発行したほうがよい」61%、「できれば発行したほうがよい」31%、合わせて92%が「発行したほうがよい」と回答した。92%は学級通信と同率だが、学年通信では「必ず発行したほうがよい」と「できれば発行したほうがよい」の比率が逆転している。これは学級通信よりも、学年共通の情報を発信する学年通信の必要性をより強く感じている先生が多いからではないかと思われる。ただし実際には、小学校の発行率は75%と高いが、中学校では44%と低率にとどまっている。

P.18で述べたように、「その他」の内容を勘案すると学年通信の発行率は約76%、一方、「発行したほうがよい」とする回答は92%。学級通信と同様、16%のギャップがある。これは、発行したほうがよいとは思うものの、実際には発行しない・発行できない状況があることを示しており、P.23に示した「学年通信を発行していない理由」とも関連がありそうだ。





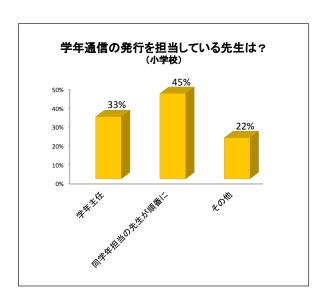


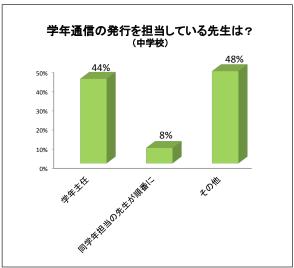
学年通信の担当者は、小学校「同学年の先生が順番に」45%、 中学校「学年主任」44%

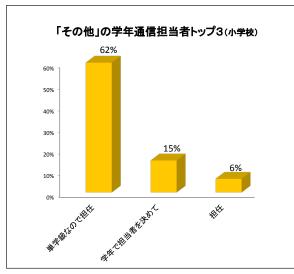
[Q2-④ 学年通信の発行を担当している先生は?]

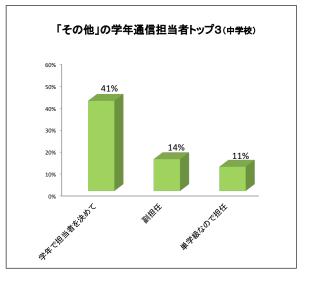
学年通信の発行を担当している先生は、小学校では「同学年担当の先生が順番に」が45%で最も多く、次いで「学年主任」33%。一方、中学校では「学年主任」が最多で44%、「同学年担当の先生が順番に」は8%にすぎなかった。また、「その他」という回答が、小学校で22%、中学校では48%にものぼっており、その内訳をみると、小学校では「単学級なので担任」が最多で62%、次に「学年で担当者を決めて」15%の順。中学校では「学年で担当者を決めて」が41%といちばん多く、続いて「副担任」14%となっている。

このように、小学校では同学年の先生同士で分担制をとっている場合が多く、対して中学校では、「学年主任」「学年で担当者を決めて」「副担任」というように学年内での分掌となっている場合が少なくないことが示された。







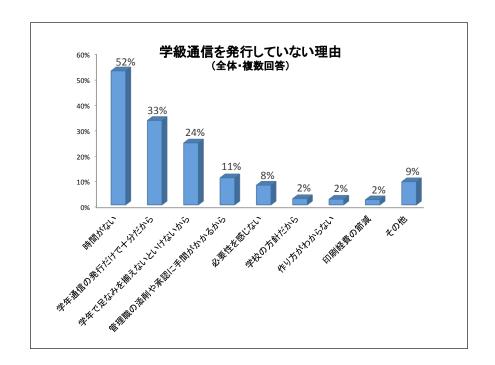


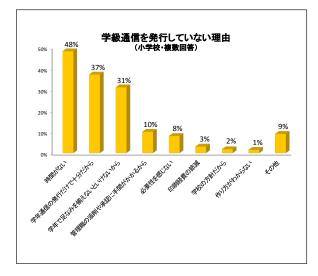
最大の理由は「時間がない」小学校48%、中学校61%

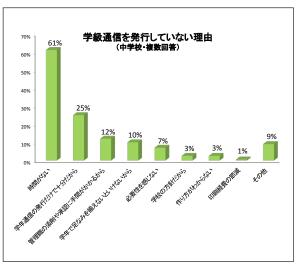
[Q3-① 学級通信を発行していない理由を教えてください(複数回答)]

学級通信を発行していない理由としては、全体で「時間がない」が最も多く、52%である。 とくに中学校では61%が「時間がない」と回答しており、多忙感が強いといえる。

それ以外の理由としては、「学年通信の発行だけで十分だから」33%、「学年で足なみを揃えないといけないから」24%、「管理職の添削や承認に手間がかかるから」11%と続く。小学校では、学年で足なみを揃えなくてはならない割合は31%と高く、自分だけが発行してはいけないという意識がかなり働いていると考えられる。





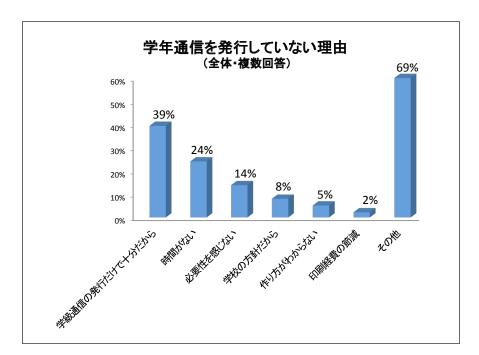


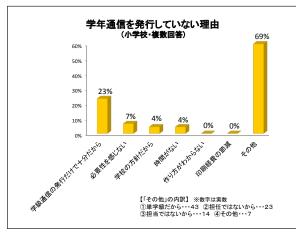
「学級通信の発行だけで十分だから」39%がトップ

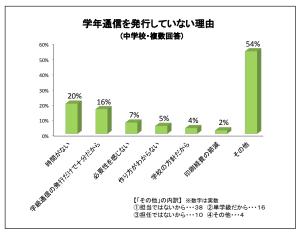
[Q3-② 学年通信を発行していない理由を教えてください(複数回答)]

学年通信を発行していない理由については、「その他」の理由が69%と大半を占めている。 その内訳はおもに2つあり、「単学級だから」と「担当・担任でないから」であった。これは、 単学級のために学級通信が学年通信を兼ねている小規模校のケースと、学年通信は発行してい るが自分は担当者ではないので発行していないと回答した先生が多かったため、数値が高く なったのではないかと推察される。

興味深いのは、前項の「学級通信を発行していない理由」で「学年通信の発行だけで十分だから」が33%(実数150)である一方で、「学年通信を発行していない理由」では「学級通信の発行だけで十分だから」が39%(実数54)となっている点である。実数をみると、一見「学年通信」派が優勢にみえるが、管理職アンケートの「学級通信と学年通信の一本化」に関する回答(P.56参照)もあわせてご覧いただくと、より総合的に学校の現況が把握できると思われる。







学級通信のタイトルは「クラスの合言葉や目標になるもの」「動植物や自然をイメージしたもの」が人気

[Q4-①-1 先生が発行する学級通信のタイトルは?]

タイトルは通信の「顔」であり、発行者である先生は、そこに教育者としての思い(自身の教育観、理想とする子ども像、目指す学級の姿など)を込めていることがアンケートからうかがえる。実に多種多様なタイトルが寄せられた(巻末資料 P.94参照)。

大まかに分類してみると、小中学校で若干の違いはあるが、①クラスの合言葉や目標になるもの、②動植物や自然をイメージしたもの、③笑顔をイメージしたもの、④クラスの和をイメージしたもの、⑤語呂がよく、覚えやすいもの、などが多い。そのほか中学校では、英語のタイトルが上位にランクされている。これらのタイトルは、年度初めにクラスの特色や実態に合わせて決めることが多いと思うが、先生のなかには学校や子どもが変わっても一貫して同じタイトルを通している場合もある。

【小学校】

●クラスの合言葉や目標になるもの……253 (数字は実数。以下同)

チャレンジ/ステップ/ジャンプ/かがやき/はじめのいっぽ/前進/げんき/希望/トライ/夢 他

●動植物や自然をイメージしたもの……193

ひまわり/たんぽぽ/たいよう/わかば/さくら/おひさま/ひだまり/おおぞら/花/一番星/虹 他

●笑顔をイメージしたもの……147

スマイル(すまいる)/Smile/Big Smile/えがお/笑顔/えがおいっぱい/にこにこ/にっこにこ他

●クラスの和をイメージしたもの……116

なかよし/ともだち/なかま/絆/きずな/手をつなごう/チームワーク/わになって/大すき 他

●語呂がよく、覚えやすいもの……105

きらきら/いきいき/キラリ/きらめき/ぴかぴか/ぽっかぽか/わくわく/ただいま/ほんわか 他

● 革語……64

HAPPY / Happiness / COSMOS / DASH / For You / Action! / Assist / BEST! / HERO 他

【中学校】

●動植物や自然をイメージしたもの……91

ひまわり/たんぽぽ/おひさま/ひだまり/銀河/若葉/レインボー/たいよう/春風/ゆずり葉 他

●クラスの合言葉や目標になるもの……82

チャレンジ/挑戦/ジャンプ/いっぽいっぽ/はじめのいっぽ/歩み/かがやき/ひかり/元気 他

●英語……76

ACTION / Harmony / Good Job / infinity / HERE WE 5 / BEST / DREAM / ENJOY / ONE 他

●クラスの和をイメージしたもの……71

なかよし/絆/ハーモニー/なかま/チームワーク/ありがとう/ともだち/だいすき/おかげさま 他

●笑顔をイメージしたもの……63

スマイル(すまいる)/にこにこ/笑顔/にっこにこ/スマイルチャレンジ/ほほえみ/ほがらか 他

※学級通信の全タイトルはP.94参照

学年通信のタイトル、中学校では「英語」「一文字」がトップ5入り

「Q4-①-2 先生が発行する学年通信のタイトルは?]

学年通信のタイトルは、小中学校とも、①学年の合言葉や目標になるものがトップであった。以下、②動植物や自然をイメージしたもの、③友だちの和をイメージしたもの、④語呂がよく、覚えやすいもの、⑤笑顔をイメージしたもの、⑥成長や未来をイメージさせるものなど、学級通信との大きな違いはみられないが、中学校では「英語」のタイトルが2位にランクインし、心、海、風、想、道など「一文字」のタイトルも多くなっている。

また、学年通信ならではのタイトルとして、小学校では「晴れ晴れ3年」「4 you」「吾輩は5年通信である」「やる気満々六年生」「アシストバッチリ6年生」など、学年名を組み込んだものも少なからずみられた。

【小学校】

●学年の合言葉や目標になるもの……224 (数字は実数。以下同)

チャレンジ/チェンジ/ジャンプ/前進/ファイト/かがやき/トライ/レッツゴー/げんき 他

●動植物や自然をイメージしたもの……165

ひまわり/タンポポ/あおぞら/おひさま/クローバー/わかば/サンシャイン/ひだまり/にじ 他

●友だちの和をイメージしたもの……153

なかよし/なかま(仲間)/ハーモニー/ともだち/絆(きずな)/あくしゅ/ありがとう/大すき 他

●語呂がよく、覚えやすいもの……121

きらきら/きらり(キラリ)/きらめき/わくわく/ぴっかぴか/ぽかぽか/はなまる/ルンルン 他

●笑顔をイメージしたもの……119

スマイル(すまいる)/SMILE/えがお/えがお・げんき/にこにこ/にっこにこ/わっはっは 他

●成長や未来をイメージさせるもの……79

ぐんぐん/はばたき/すくすく/おおきくなあれ/のびのび/すこやか/つばさ/きぼう/みらい 他

【中学校】

●学年の合言葉や目標になるもの……56

ホップステップジャンプ/輝き/ステップ/ Step by step / チャレンジ/一歩前進/雨ニモマケズ 他

●英語……25

PRIDE / Bridge ブリッジ/ CANVAS / Diamonds / Elegante- エレガンテー/ Energy / Way 他

●友だちの和をイメージしたもの……24

仲間 (なかま) /友情・努力・ファイト/ side by side /絆 (きずな) /つなぐ/チームワーク 他

●動植物や自然をイメージしたもの……19

たんぽぽ/桜(サクラ)/あしたば/あさかぜ/あおぞら(青空)/一つの花/つぼみ/若竹/春風 他

●一文字……19

心/達/和/続~continue~/海/風/想/繋/天/翔/歩/道/夢/輝/結/新~土台作り~ 他

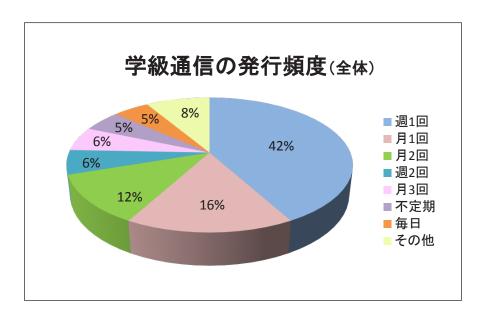
※学年通信の全タイトルはP.108参照

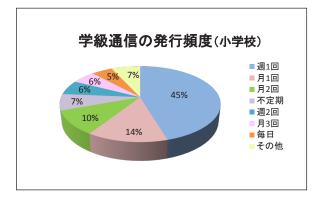
学級通信の発行頻度は「週1回」が42%

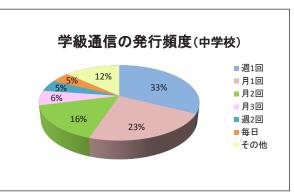
[Q4-②-1 学級通信の発行頻度は?]

学級通信の発行頻度は全体で、1位「週1回」42%、2位「月1回」16%、3位「月2回」12%であった。ちなみに、小学校では「週1回」が45%とほぼ半数を占めるのに対し、中学校では33%と3分の1程度にとどまっている。「毎日」という回答も5%あり、教師の多忙化という現状を考えると驚きを禁じ得ないが、一方、自由記述に「毎日のように発行すると保護者が読むのが苦痛になるとの声も聞いた。週1回くらいが教師の負担も軽くなり、保護者にもよいと思う」という意見があった。多くの先生の声を代弁しているように感じられる。

発行頻度について保護者の回答を集計したところ(P.66参照)、「月1回」が59%で1位、次いで、「週1~2回」24%、「隔週」8%と、先生方の回答とかなりの開きが出た。同じ学校の先生と保護者を対象にしていないとはいえ、このギャップは地域性が反映されたのか、保護者は発行頻度を正確に把握しておらず曖昧な回答により誤差が生じたのか、なんとも断定しがたい結果である。





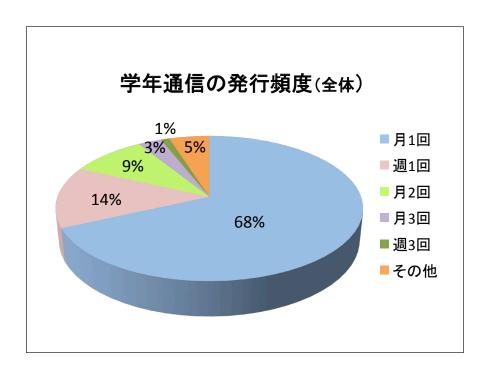


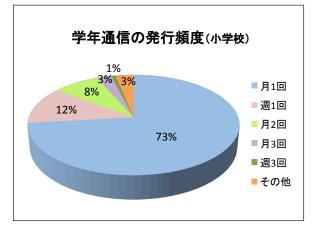
学年通信の発行頻度は大半が「月1回」

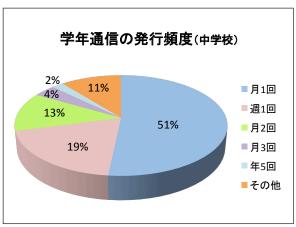
[Q4-②-2 学年通信の発行頻度は?]

学年通信の発行頻度は学級通信よりも少なめで、1位は全体で「月1回」68%であった。小学校ではこの比率が73%とさらに増えていることから、学年通信は「月1回」の発行が平均像と考えてよさそうだ。<math>2位はずっと下がって「週1回」の14%、次いで「月2回」9%、「月3回」3%の順であった。

学年通信は、学年全体を通した大きなくくりでの連絡・報告や情報提供が主となり、予定は 月間サイクルで回ることが多いため、月1回発行という学校が圧倒的に多いのも頷ける。ただ し最近は、先生方の負担軽減策のひとつとして学級通信を廃止し、学年通信に一本化する動き が出てきており、その場合は、従来の学年通信よりも発行回数を増やしたり、学級通信に準ず る頻度にする傾向があるようだ。







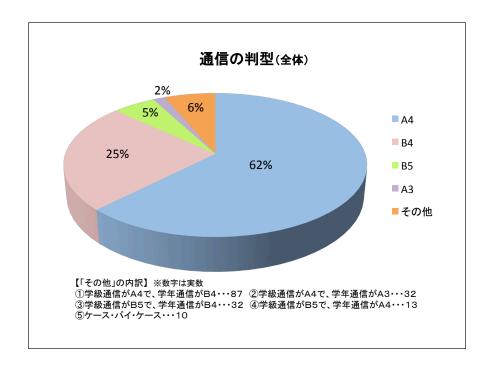
判型はA4が主流

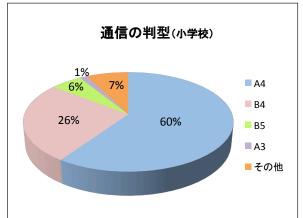
[Q4-③-1 発行している通信の判型は?]

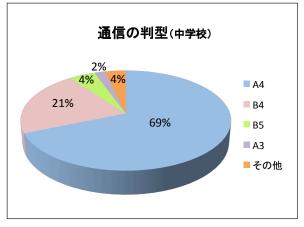
学級通信や学年通信の体裁について質問したところ、「判型」ではA4判が62%(小学校60%、中学校69%)と圧倒的に多かった。かつて、学校における文書類はB判が主流だったが、国際的潮流に対応するため、1993年以降、順次A判化が進められてきた。以来、二十数年を経て、学校でもA判化が定着し、通信も大半がA4判という結果になったのだろう。

とはいえ、B判文化もいまだ健在で、全体でB4判25%、B5判5%と、合計3割を占めている。学校におけるB判の根強いニーズを反映したものだろう。

また、下掲の「その他」の内訳にあるように、通信の種類によって判型を変えているという回答も6%あった。つまり、学級通信はハンディなA4判かB5判、学年通信はB4判かA3判など情報をより多く盛り込める大判サイズと、用途に応じて使い分けているのである。







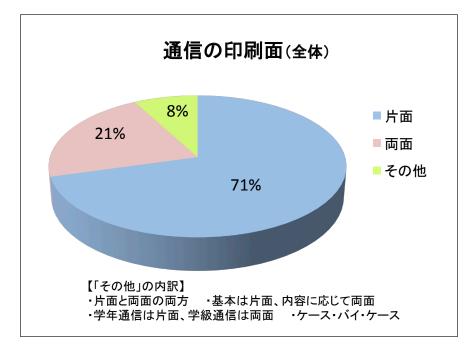
片面印刷71%、面面印刷21%

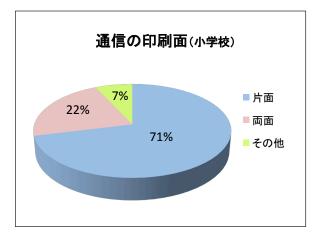
[Q4-③-2 発行している通信の印刷面は?]

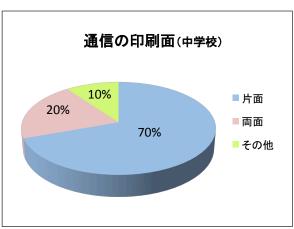
「片面印刷か両面印刷か」という質問に対しては、小中学校ともほぼ同様の結果が得られた。 圧倒的に多いのは「片面印刷」で71%、「両面印刷」は21%である。

かつてグリーン購入が叫ばれ、環境に配慮した製品の購入やコスト削減が学校経営目標に掲げられた頃は、両面印刷が常識であった。その"ブーム"も一段落した現在、それほど両面印刷にこだわらなくなったということか。あるいは、片面を作成するだけで手一杯であり、両面分の情報量を盛り込む時間も余裕もないということかもしれない。

さらに、ハード面の理由として、主な印刷手段である印刷機 (P.32参照) の性能によるところも大きいと思われる。学校における印刷機は機能性が向上し、両面印刷機も導入されてきているが、やはり多くは片面専用の印刷機である。表面に印刷したあとに裏面に印刷を行うという二度手間を考えると、片面印刷で済ませてしまうケースが多いのではないだろうか。



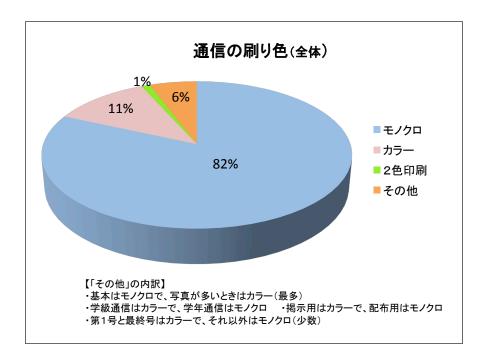


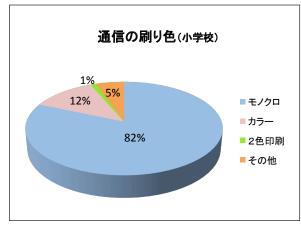


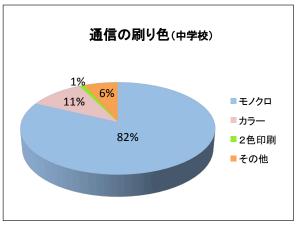
モノクロが8割を占めるなか、カラーも 11%と健闘

[Q4-③-3 発行している通信の刷り色は?]

カラー印刷は、全体で11%と思いのほか多かった。この背景には単学級の増加などにより印刷枚数が減少し、コスト面でカラーOKの学校が増えていることが考えられる。常時カラー印刷が難しい場合でも、下掲の「その他」の内訳にあるように、「基本はモノクロで、写真が多いときはカラー」「学級通信はカラーで、学年通信はモノクロ」「掲示用はカラーで、配布用はモノクロ」など状況や内容に応じてカラー印刷する学校も6%と少ないながらみられた。今後、印刷機本体も含めたカラー印刷に関わるコストが現状の単色印刷機並みになれば、通信への写真掲載のニーズが高まるなかカラー化の割合は飛躍的に伸びるであろう。





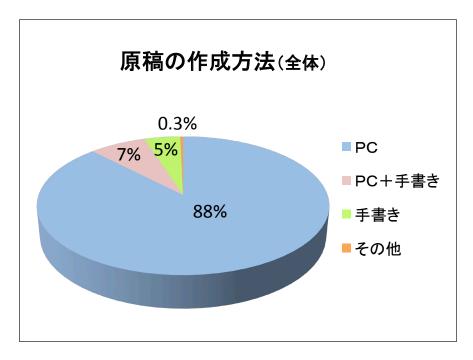


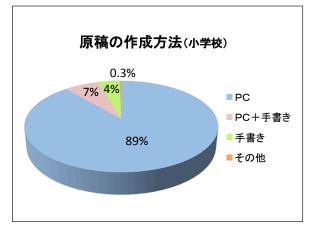
88%の先生が「パソコン」で作成、「手書き」は5%と希少派に

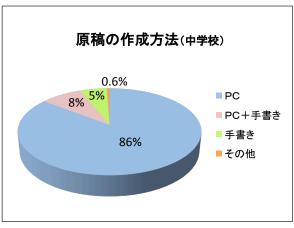
[Q4-④ 原稿の作成方法は?]

「原稿の作成方法」でいちばん多かったのが、「パソコン」88%(全体)であった。いまや通信づくりにパソコンは不可欠といえる。文書作成ソフトはもちろん、新聞作成ソフト、各種テンプレート、デジカメやスマホ、無料ダウンロードできるイラスト・カットなど周辺環境も日々バージョンアップされている。データを保存しておけば、去年の通信を上書き修正するだけで「運動会特集号」が組めるなど、作成時間も大幅に短縮できる。多忙な業務の合間を縫って通信づくりを行う先生方にとって、パソコンが大きな武器となっていることがうかがえる。

一方、かつて通信づくりの主流だった「手書き」は5%と希少派になりつつあるが、今でも 手書き通信を好んでいる保護者は少なくない。中庸をとって、パソコンを基本にして手描きイ ラストなどで手づくり感を加味する「パソコン+手書き」派も7%と健在である。両者合わせ て12%の今後の成り行きが気になるところである。







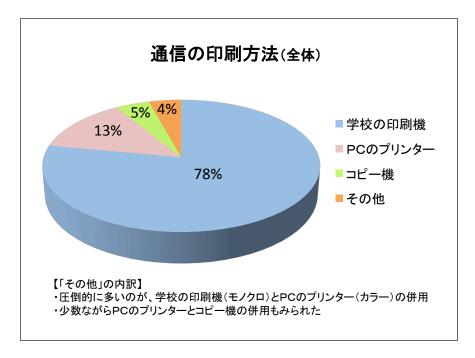
78%が「学校の印刷機」を使用、2台併用で使い分ける先生も

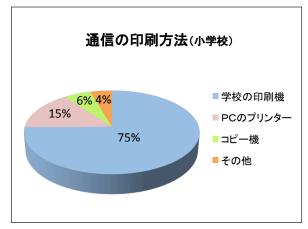
[Q4-⑤ 印刷方法は?]

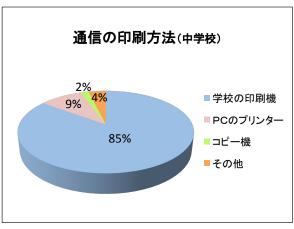
「印刷方法」については、「印刷機」が全体の78% (小学校75%、中学校85%) を占めた。これは昔から変わらない学校の印刷事情である。現在、学校の印刷機は、A3判対応機、B4判対応機、同時2色印刷機、単色印刷機など多様化してきている。

近年はパソコンに対応し、有線や無線LANを介して出力するパソコンのプリンターとして 活用している学校も増えている。前項でふれたようにパソコンによる原稿作成が88%という状 況のなかで、身近にあり高機能な印刷機が多く活用されるのは当然ともいえる。

印刷機に次いで多かったのが「パソコンのプリンター」13%であるが、これはおもにカラー 印刷を目的としたものだろう。P.30の「刷り色」で「カラー印刷」と回答した11%について、 印刷方法を確認したところ、そのほとんどが「パソコンのプリンター」を使用していることが わかった。学校では印刷機並みのコストとスピードを備えたカラー出力機が望まれている。





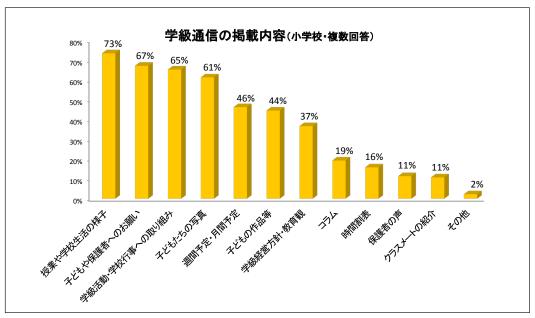


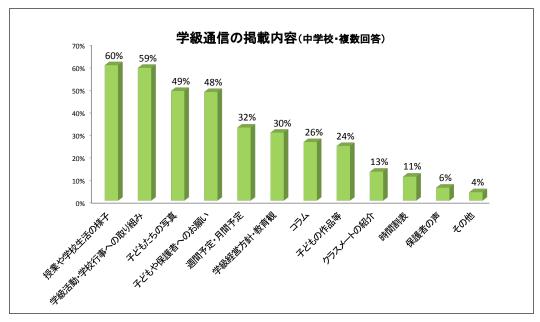
小学校と中学校では、学級通信の掲載内容に微妙な違いが

[Q4-⑥ 学級通信の場合、どのような内容を掲載していますか?(複数回答)]

学級通信の掲載内容について質問したところ、小学校と中学校の回答にやや違いがみられた。トップは小中学校ともに「授業や学校生活の様子」であるが、小学校では「子どもや保護者へのお願い」が2位(67%)であるのに対し、中学校では4位(48%)となっている。小学校では年齢がまだ幼いぶん、その発達段階に応じて子どもたちへの願いを担任がそのつど求めていく傾向が強く、また保護者を巻き込んでの学級経営を担任が自然と意識していることのあらわれとみることもできる。

なお、これらの掲載項目は、多少順位に違いはあるが、保護者アンケートの「学級通信のなかで興味をもって読むもの」(P.69参照)の結果におおむね沿った内容になっている。





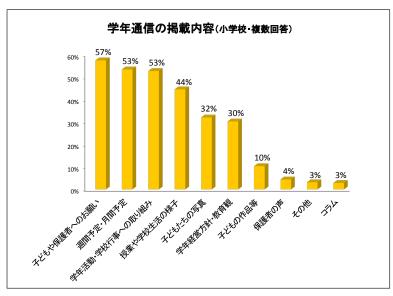
小学校の学年通信では「子どもや保護者へのお願い」が、中学校では「学年活動・学校行事への取り組み」がトップ

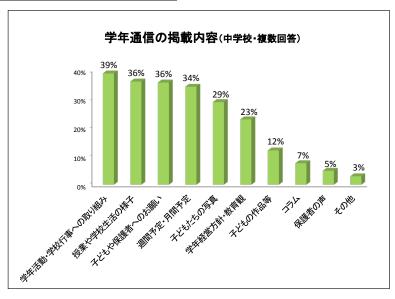
[Q4-⑦ 学年通信の場合、どのような内容を掲載していますか?(複数回答)]

学年通信の掲載内容については、小学校と中学校でかなりの違いがみられた。

小学校では「子どもや保護者へのお願い」「週間予定・月間予定」「学年活動・学校行事への 取り組み」がトップ3になっており、さまざまな連絡事項を保護者に伝えることにより、行事 や学年運営を確実に進めるという学年通信発行の目的が顕著にあらわれているといえる。

一方、中学校では、「学年活動・学校行事への取り組み」「授業や学校生活の様子」「子ども や保護者へのお願い」「週間予定・月間予定」と続く。中学校の学年通信は、行事や学年での 取り組み内容とその結果を報告する場として活用される傾向が強いようだ。小学校のように連 絡事項を伝えるよりも、生徒たちの成長を本人や保護者と共有することが主要な発行目的に なっているととらえることができる。



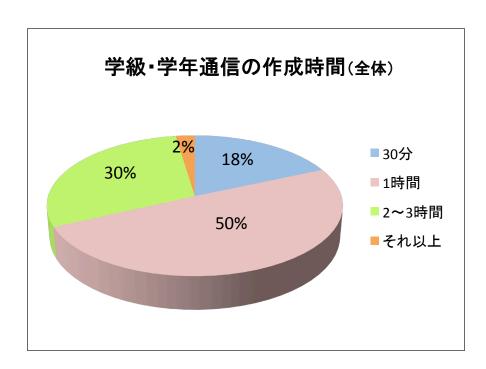


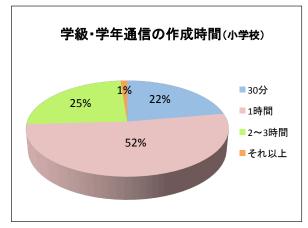
作成時間、小学校は「1時間」が過半数、 中学校は「1時間」と「2~3時間」が拮抗

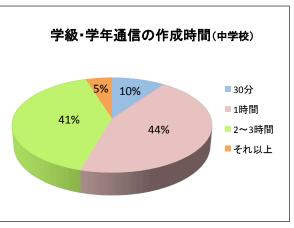
[Q4-⑧ 通信を作成する時間はどのくらいですか?]

学級通信や学年通信の有用性を否定する教師は少ないだろう。問題は、超多忙化のなかで通信作成にそれなりの時間をとられることである。作成時間は「1時間」と答えた先生が50%と最も多く、次いで「 $2\sim3$ 時間」30%、「30分」18%であった。大多数の先生は1時間前後で仕上げているようで、これくらいが適当、というか限界といえるかもしれない。この結果から、「30分以内」で読みごたえのあるものを作るのは難しく、「 $2\sim3$ 時間以上」もかけるのは教師の仕事として「本末転倒」ととらえているように推察できる。

ただし、実際の作成時間は一定ではなく、内容の軽重とも関連しており、特集的に力を入れたい号や難しい課題を取り上げる場合は通常より多くの時間を費やすであろう。そのため、「絶対に〇分以内に仕上げる」とあらかじめ自分に歯止めをかけている先生もいるようだ。





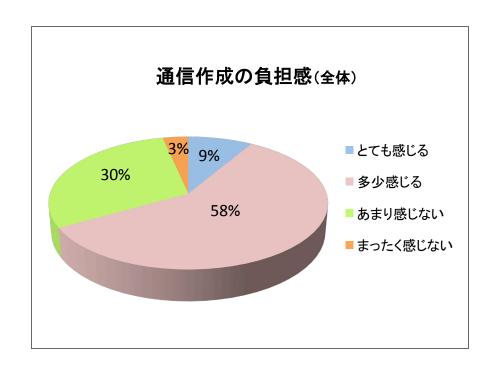


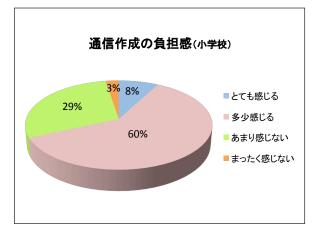
通信作成に負担を「多少感じる」58%

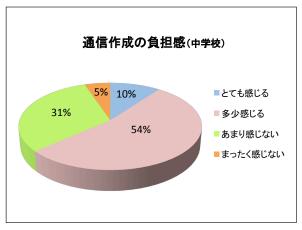
[Q4-⑩ 通信を作成することに負担を感じたことはありますか?]

「通信作成の負担感」については小中学校とも大きな差異はなく、全体で「多少感じる」が最も多く58%、次いで「あまり感じない」30%、「とても感じる」9%の順になっている。数値だけをみると、先生の9割近くがせいぜい「多少」負担に感じる程度なのかと思いがちである。そこで、現場の実感にふれるために「通信づくりに感じていること」という自由記述欄から「通信づくりの負担感」に関するものをいくつか紹介しよう。

「通信は学級経営上、保護者の理解や関心を得るために必要だが、放課後に作る時間もないことが多々ある」「他の業務をこなしながら定期的に発行することが困難に感じられることがある」「ゆっくり通信に向き合える時間がなく、休日や帰宅後の時間を割いている」……。先生が通信の作成に「負担感」を抱く最大の要因は、作成そのものの負担よりも、時間的余裕のないなかで作成せざるをえないという状況にある、といえるのではないだろうか。







作成時間と負担感にはゆるい相関関係が

[Q4-8&⑩ 通信の作成時間と負担感とのクロス集計]

通信の「作成時間」と「負担感」との間には、なにか関係があるのだろうか。「作成時間が長いほど負担感も増す」と考えるのが一般的だが、両者の調査結果をクロス集計してみると、作成時間が「1時間」「 $2\sim3$ 時間」「それ以上」のいずれの場合でも、最も多いのは「多少(負担を)感じる」であった。「30分」の場合は「多少感じる」は2位だが、1位との差は1ポイントにしかすぎない。これだけみると両者の相関関係はほとんどないように思える。

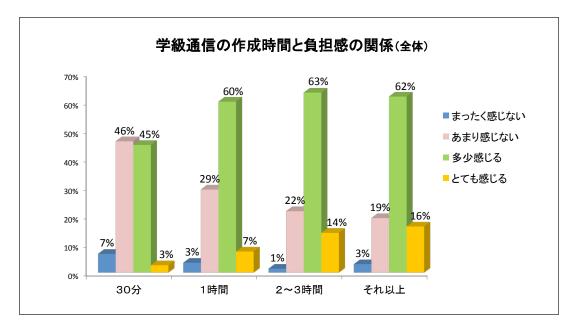
しかし、注意深くみてみると、作成時間が長くなるにつれて、「あまり(負担を)感じない」が46%、29%、22%、19%と減少し、一方、「とても感じる」が3%、7%、14%、16%と増加していくことがわかる。やはり作成時間と負担感にはゆるい相関関係があるといえそうだ。

なお、自由記述欄には「多少負担を感じるが、通信は担任の思いを伝える大切なもので、時間がなくても継続して発行する重要さを感じている」といった意見も散見された。このあたりが先生方の正直な心情を代表しているように思える。

小学校		負担感			
		まったく感じない	あまり感じない	多少感じる	とても感じる
	30分	6%	46%	45%	3%
作成時間	1時間	2%	27%	64%	7%
11八八时间	2~3時間	1%	20%	65%	14%
	それ以上	8%	15%	69%	8%

中学校		負担感			
		まったく感じない	あまり感じない	多少感じる	とても感じる
	30分	9%	48%	42%	1%
作成時間	1時間	8%	36%	49%	8%
11月火时间	2~3時間	2%	24%	60%	14%
	それ以上	0%	21%	57%	21%

全体		負担感			
		まったく感じない	あまり感じない	多少感じる	とても感じる
	30分	7%	46%	45%	3%
作成時間	1時間	3%	29%	60%	7%
TFI及时间	2~3時間	1%	22%	63%	14%
	それ以上	3%	19%	62%	16%



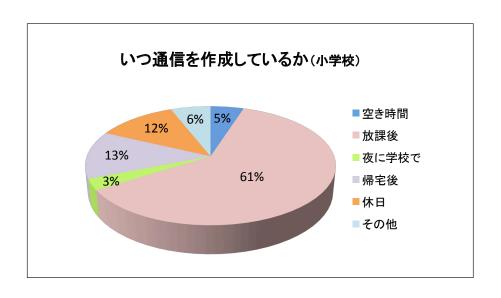
「放課後」が最多だが、4~5人に1人は勤務時間外に作成

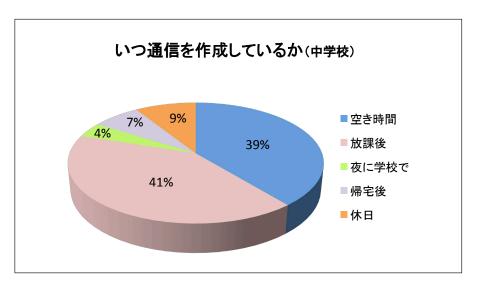
[Q4-9 おもにいつ、どこで作成していますか?]

学級通信や学年通信の発行は職務として定められたものではなく、いわばプラスαの活動である。通信をいつ、どこで作成しているかを尋ねた結果は、こうした通信の微妙な立ち位置を象徴する内容となった。

「夜に学校で」「帰宅後」「休日」に作成すると答えた先生は、小学校28%、中学校20%にのぼった。 $4\sim5$ 人に1人は勤務時間外に作成作業にあたっていることになる。また、小学校では1位の「放課後」61%が群を抜いて多く、それ以外は低率で大きな差はないが、中学校では、1位「放課後」41%と2位「空き時間」39%が拮抗する割合となっている。

中学校の先生方は、放課後に部活で時間を割かれることが多く、教科担任制であることから 授業の合間の空き時間を活用して通信を作成することが多いと推測される。逆に、小学校の場 合は、そもそも「空き時間」がほとんどないという実態が垣間見える。



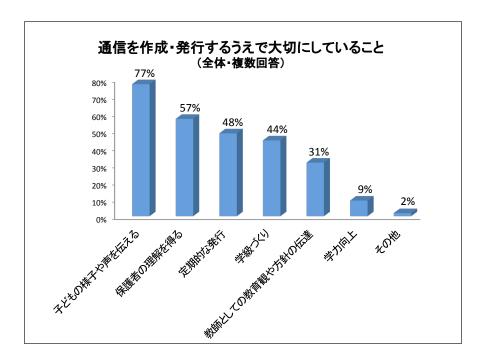


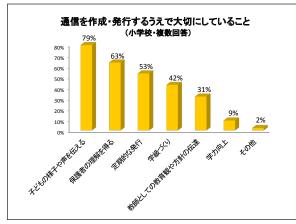
学級通信の発行目的や役割が浮き彫りに

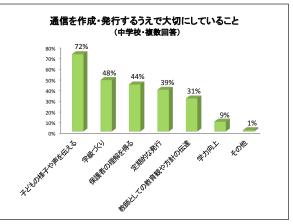
[Q4-① 通信を作成・発行するうえで大切にしていることは?(複数回答)]

この質問は、学級通信の発行目的や役割を浮き彫りにするものである。トップは「子どもの様子や声を伝える」77%、次いで「保護者の理解を得る」57%、「定期的な発行」48%、「学級づくり」44%。この結果から、多くの先生方が、「学級づくりの一環として、保護者の理解を得るために、定期的に、子どもの様子を伝える」ことを目的に通信を発行していることがわかる。

小中学校を比較すると、いずれも「子どもの様子や声を伝える」がいちばん多いが、中学校では「学級づくり」がこれに次ぎ、その割合も小学校より高い。中学校の場合、小学校のような学級担任制でないだけに、「学級づくり」に費やせる時間が少ない。そのため学級通信を発行するにあたって、学級づくりの役割がより意識されやすいのではないかと思われる。一方、小学校では「保護者の理解を得る」が2位にランクされていることから、子どもの様子や声を伝える対象者(読者)として、保護者がより意識されているといえよう。





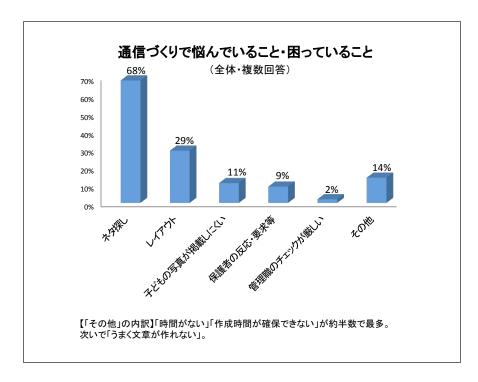


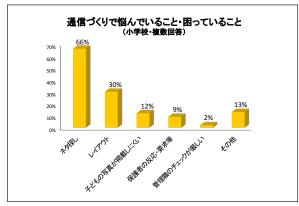
悩みのトップは「ネタ探し 168%

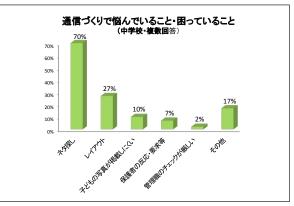
[Q4-12] 通信を作成・発行するうえで悩んでいること、困っていることは?(複数回答)]

「通信を作成・発行するうえで悩んでいること、困っていることは?」という質問に68%の 先生が「ネタ探し」と答えた。学級通信などの通信類は、定期的な発行を期待されており、そ のつど新しいネタを準備しなければならない。それがいちばんの悩みというわけだ。ただし、 その苦労が思わぬメリットをもたらすこともあるようで、「通信のネタを探すために、自分の 眼を子どもに向けるきっかけになっている」との書き込みも多数みられた。

なお、「その他」と回答した14%のうち約半数の先生が「時間がない」「作成時間が確保できない」など、忙しくて通信にまで手が回らない状況を悩みにあげていた。「業務が増えてきてどうしようもなくなり、まず生徒と交わしていた個人の交換ノートをやめ、次に学級通信もやめざるをえなくなった」など厳しい勤務状況もみえてきた。今回の回答の選択肢に「忙しくて時間がない」という項目があれば、結果はまた違っていたかもしれない。





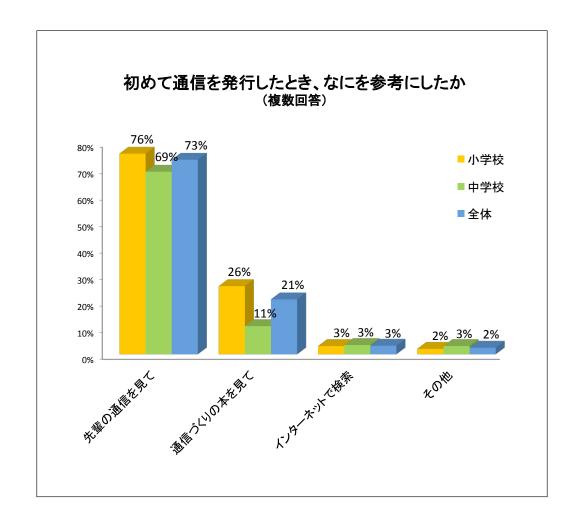


初めての学級通信は73%が「先輩の通信を見て」作成

[Q4-③ 初めて通信を発行したとき、なにを参考にしましたか?(複数回答)]

学級通信の発行は、先生の職務として義務づけられているわけではない。大学の教職課程に 通信づくりに関する講座はなく、初任者研修で作り方を学ぶ機会を設けている教育委員会もき わめて少ない。にもかかわらず、多くの先生方は教職に就いた初年度から、あるいは数年のう ちに学級通信の発行に挑戦する。それだけ日本の教育文化として定着している活動といえる。

初めて通信を発行したとき、なにを参考にしたかという質問に、全体で73%の先生が「先輩の通信を見て」と回答した。次いで「通信づくりの本を見て」21%、「インターネットで検索」3%。ネット情報が1割にも満たないのは意外だった。いずれにしても多くの先生方は、組織的・体系的に学ぶ機会を得られないまま自力で参考になるものを探し、見よう見まねで作成してきたというのが実態だろう。小学校のときの担任が印象深い通信を出してくれたか、赴任校に親身にアドバイスしてくれる先輩がいたかなど、"運"に左右されることも多いようだ。

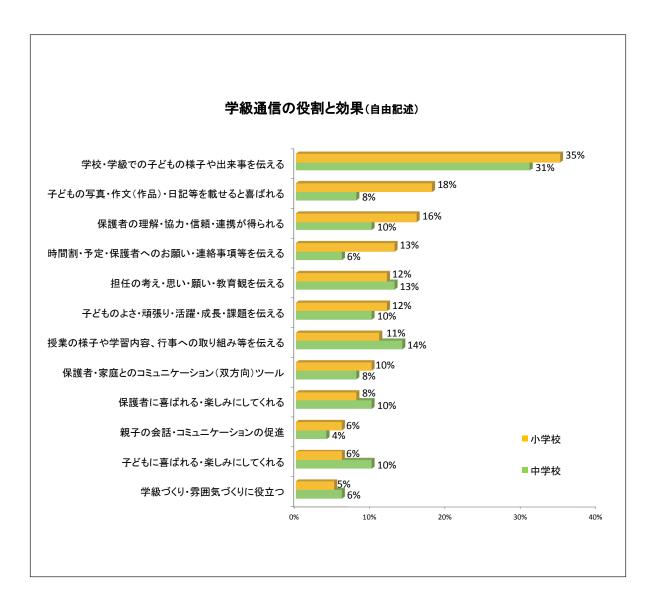


通信の役割・効果は2位以降で小学校と中学校の違いが顕著に

[Q5 通信づくりについて感じていること考えていることなど(自由記述)]

アンケートの最後に「通信づくりについて感じていること考えていること」を自由に書いてもらった。そのうち「学級通信の役割と効果」についてふれた記述を集約したところ、トップは「学校・学級での子どもの様子や出来事を伝える」小学校35%、中学校31%であった。続く、小学校の2位「子どもの写真・作文(作品)・日記等を載せると喜ばれる」18%、3位「保護者の理解・協力・信頼・連携が得られる」16%、4位「時間割・予定・保護者へのお願い・連絡事項等を伝える」13%は、中学校との差が目立つ結果となった。これらの項目は、中学校ではさほど重視されない、子どもが幼い小学校ならではの役割・効果といえる。

一方、中学校では、2位「授業の様子や学習内容、行事への取り組み等を伝える」14%、3位「担任の考え・思い・願い・教育観を伝える」13%など、授業の内容や先生の教育観などを伝えることが優先的な役割となっていることがわかる。



管理職を対象とした アンケート調査結果

有効回収数:小学校 1,197

中学校 642 合 計 1,839

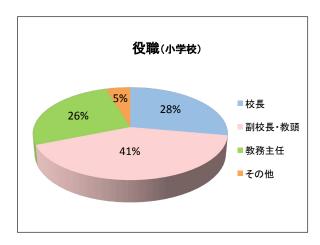
小学校95%、中学校93%の管理職が、 担任だった頃、学級通信を発行していたと回答

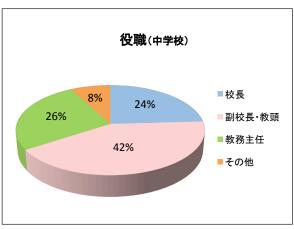
[Q1 先生のプロフィール(役職など)について教えてください]

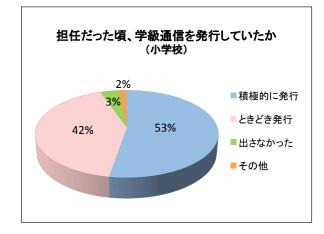
管理職を対象としたアンケートでは、まず、①現在の役職(校長、副校長・教頭、教務主任等)と、②担任をしていた頃、学級通信を発行していたかどうか、について質問した。その内 訳は以下のグラフのとおりである。

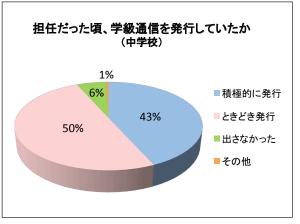
管理職は学校経営のプロでありリーダーであるだけでなく、豊富な教職経験をもつ教育活動の先達であることも期待されている。専門とする教科についてはもちろんだが、さまざまな校務分掌についても高い見識と指導性を発揮してほしい存在だ。通信活動についても同様であり、管理職自身が担任時代に学級通信を発行した経験があるかどうかは、自校における通信活動を指導・助言するうえで、少なからず影響があるだろう。

本調査では、「積極的に発行」と「ときどき発行」を合わせると、小学校で95%、中学校で93%の管理職が発行経験をもっているという結果が出た。日本の学校教育における通信づくりの伝統と普及ぶりを再確認できる数値といえるだろう。自身の学級通信づくりの経験を、ぜひ自校で生かしてほしいものだ。







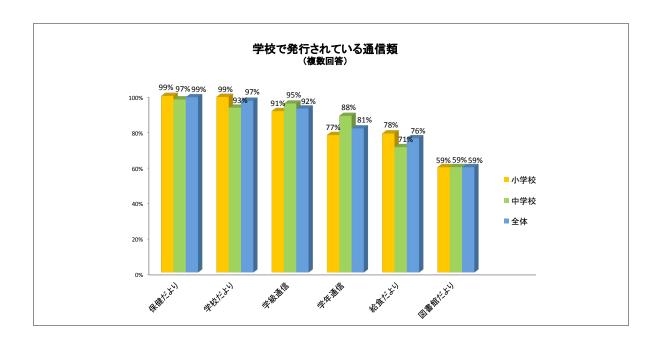


発行率99%の「保健だより」をはじめ、学校は通信の宝庫

[Q2-① 先生の学校では、どんな通信が発行されていますか?(複数回答)]

各学校ではどのような通信が発行されているのだろうか。保護者や児童生徒向けのさまざまな通信のうち代表的な通信類の発行率(全体)として、「保健だより」99%、「学校だより」97%、「学級通信」92%、「学年通信」81%、「給食だより」76%、「図書館だより」59%という数値が出た。ただし、この内容についてはいささか吟味が必要である。

「保健だより」のようにどの学校にも必ず保健室があり1校1種類の通信が出ているものと、「給食だより」のように給食がない学校や業者委託の場合もあるものでは、同列には論じられない。「図書館だより」の発行率が予想より低いのも、小規模校で司書教諭や学校司書など専任の担当者を配置できない場合があるからかもしれない。学級通信についても、その学校で1学級でも出していれば「発行している」と回答するであろうから、全体の発行率とは断定できない。学級通信の発行率については、一般教諭対象のアンケート結果(P.17参照)のほうが信頼度が高いと思われる。



●学校で発行されているその他の通信……学校だより(画像版)/校長室の窓から(教職員向け)/進路だより/生徒指導通信/教頭だより/主幹教諭通信/教務だより/研修だより/研究部報/校内の研究通信/職員室通信/職員週報/特別活動通信/外国語通信/国語通信/算数通信/体育だより/家庭科通信/道徳通信/絆だより(道徳・人権)/情報教育だより/食育だより/栄養ニュース/学び合い通信/自然教室だより/ふれあい通信(動物広場だより)/特別支援教育だより/学力向上だより/学力保障だより/体力向上だより/学習だより/家庭学習だより/スクールカウンセラーだより/教育相談だより/さわやか相談室だより/通級教室だより/安全指導だより/部活動通信/合唱部だより/鼓笛部通信/音楽だより/吹奏楽部通信/金管バンドだより/陸上部通信/サッカークラブだより 他

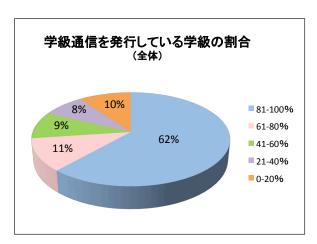
学級通信の発行率81~100%の学校が6割超

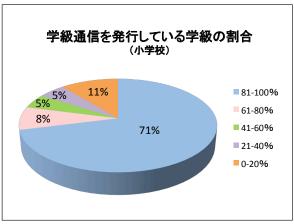
[Q2-② 学級通信を発行している学級の割合は?]

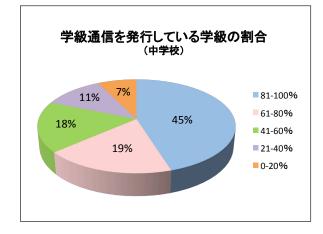
管理職に「学級通信を発行している学級の割合」を聞いた結果、予想を上回る高い数値が 出た。調査対象となった小学校548校、中学校297校、計845校9,190学級のうち、81~100%の 割合で学級通信を出している学校が、小学校で391校71%、中学校で134校45%、全体で525校 62%にも達していた。

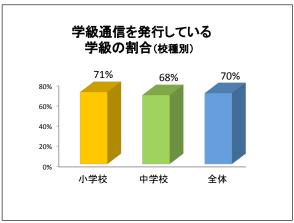
全学級数に占める学級通信を発行している学級の割合も、小学校71%、中学校68%、全体で70%となっている。これは、学校現場が置かれている現在の厳しい状況を考えたとき、実に心強い数値といえるだろう。逆境のなか、「学級通信いまだ健在なり」といえるかもしれない。

その一方で、学級通信を発行していない学級が、小学校29%、中学校32%、全体で30%、つまり、ほぼ3分の1の割合で存在することも忘れてはならないだろう。発行していない理由については、一般教諭対象のアンケート結果(P.22)を参照されたい。







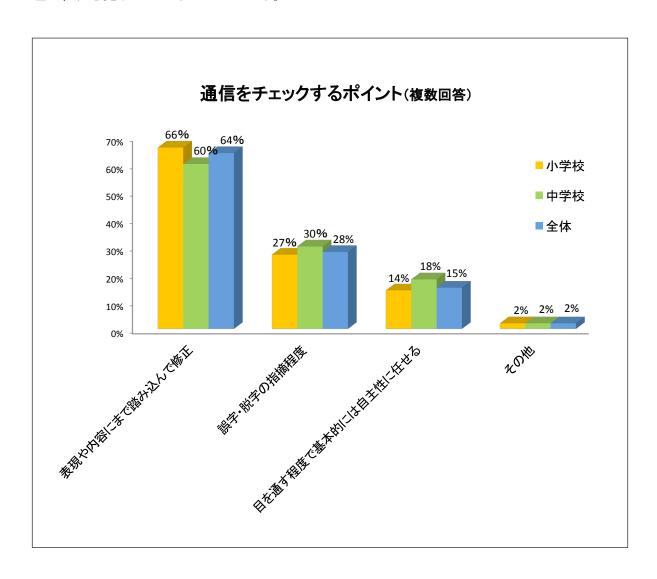


64%の管理職が「表現や内容にまで踏み込んで修正」と回答

[Q2-③ 通信類を事前にチェックする際のポイントは?(複数回答)]

学校で発行される通信類をチェックする際のポイントについて管理職に尋ねたところ、「表現や内容にまで踏み込んで修正」が多くを占め全体で64%、「誤字・脱字の指摘程度」28%、「目を通す程度で基本的には自主性に任せる」は15%であった。小中学校ともにほぼ同様の結果で、違いはほとんどみられない。

通信類には、校長名が紙面の先頭に示されているものも少なくなく、管理職としては誤字・ 脱字に限らず、内容に至るまで自分の責任としてとらえ、通信の内容についてもしっかりと管理し、目を光らせていることがわかる。



学校だよりのタイトルトップ3は、 ①学校名、②動植物や自然、③地名・歴史にちなんだもの

[Q3-① 学校だよりのタイトルは?]

学校だよりのタイトルは、学級通信や学年通信のタイトルとは趣が違う。後者は、教師の個人的な思いや信条からネーミングされたものが多く、学年が変わるとタイトルも変わる例が少なくない。これに対して学校だよりのタイトルは、いわば学校の「顔」であり、子どもや保護者だけでなく地域住民、他校、行政関係者等も見ることから、それなりに格調のあるものでありたいし、一度決めたらよほどのことがないかぎり変更できない。伝統的な名称を新たに赴任してきた校長が変えたり、現職員の意向で決めることもほぼ不可能だ。

アンケートであげられたタイトルを分類してみると、①学校名等にちなんだものが最も多く、②学校や地域になじんだ動植物・自然、③地名・歴史等、④学校の合言葉や目標、⑤同じく目標や心得となる二字・四字熟語等、⑥子ども同士の和や連帯をイメージしたもの、などが続いている。これらの分類に属さないユニークなものもあるが、数はそう多くはない。

【小学校】

●学校名等にちなんだもの……96 (数字は実数。以下同)

葵/赤見っ子/愛宕原/いいね!八幡/いきいき黒田の子/応其の風/琴の海/さわやか東谷 他

●動植物や自然をイメージしたもの……71

アカシヤ/あじさい/さぎそう/山桜/はまゆう/ユーカリ/わたぼうし/みどりは萌えて/若竹/ほなみ/きささげ/けやき/たちばな/プラタナス/若杉/年輪/白鳥/わかあゆ/さやかぜ/潮風/やまびこ/南風/緑の風/やまなみ/砂丘/岬/清流/せせらぎ/みずうみ/海原/北極星/いちばんぼし 他

●地元の地名・歴史等にちなんだもの……55

御前山/早池峰/望海岩/こだまが丘/五十鈴の丘/舞岳おろし/ほんざか道/こすもすろ~ど/天霧/ 葦の葉/麻野の里/新宮の杜/しなねの森/あゆみの松/みどり野/あしつき/うまのせ 他

●学校の合言葉や目標になるもの……16

かがやき/らしく/夢に向かって/やさしくたのしくたくましく/花いっぱい本いっぱい歌いっぱい 他

【中学校】

●動植物や自然をイメージしたもの……37

薄雪草/クローバー/石楠花/水芭蕉/公孫樹/白樺/すずかけ/菩提樹/椋の木/大樹/若杉/オオル リ/白鳥/若鮎/大空と大地の中で/新風/颯風/真澄の空/雲海/暁雲/東雲/海鳴り/北極星 他

●地元の地名・歴史等にちなんだもの……30

安芸太田の風/秋津野/あずまね/いぶき/甍の風/入らずの森/鼎タイムズ/鴨川だより/ござ野/常 清滝/しろやま/汐見ヶ丘/するぎはら/穂波平/鷹の巣/桃華/はびろ/もみじ太鼓/ゆたたり 他

●学校名等にちなんだもの……30

あしだ/いぶき/うめなん/湖南の風/湖畔の桜/コマサン便り/至誠の人/城東ドリーム/菅生交流/ 北斗につなげ/みなみかぜ/南十字星/MONOBE TIMES/山桜/やま輝た/山前中は今 他

●二字熟語……13

耕心/克己/初心/翠巒/積善/拓心/飛翔/鵬翼/躍進/雄飛/養生

※学校だよりの全タイトルは P.116 参照

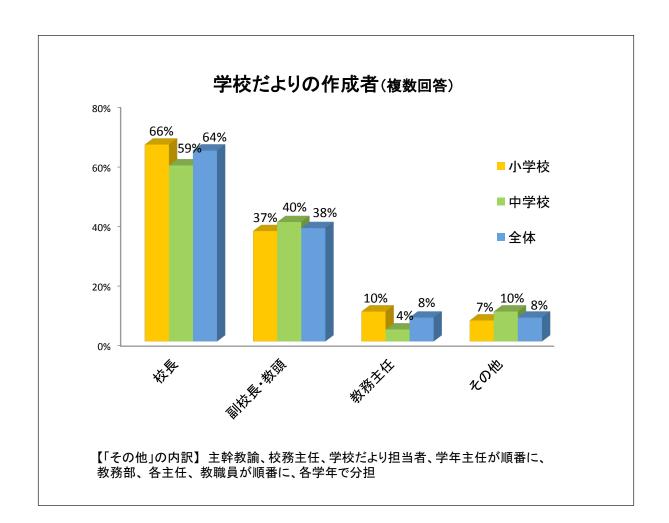
大半が校長(64%)か副校長・教頭(38%)が作成

[Q3-② 学校だよりを作成している先生は?(複数回答)]

学校だよりを作成しているのはそもそも誰なのか。調査の結果、「校長」64%(小学校66%、中学校59%)、「副校長・教頭」38%(小学校37%、中学校40%)という回答が得られた。この両者が大多数を占め、以下は、「教務主任」8%、「その他」8%と1割に満たない。

「その他」については、「主幹教諭」「校務主任」「学校だより担当者」との書き込みがトップ3であり、そのほか、「学年主任が順番に担当」「教職員が順番に担当」などの書き込みもみられたが、いずれもごくわずかである。

結局のところ、学校だよりに関しては、多くの場合、管理職である校長、副校長・教頭が自 ら作成しており、この点については、小中学校ともに数値も含めてほぼ同様の状況であること が明らかになった。

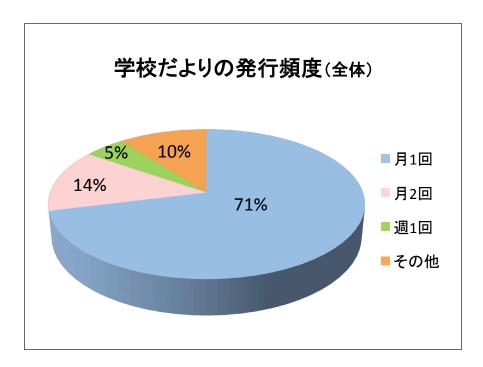


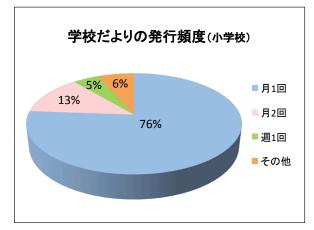
学校だよりの発行頻度は「月1回」が多数派

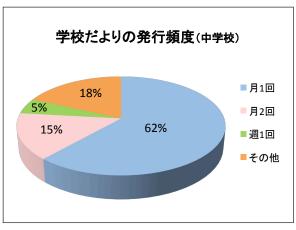
[Q3-③ 学校だよりの発行頻度は?]

学校だよりの発行頻度について質問したところ、「月1回」が全体で71%と最も多かった。とくに小学校では「月1回」が76%と4分の3を超え、中学校ではこれより下回るものの62%とほぼ3分の2を占めていた。

学級通信で最も多かったのは「週1回」(42%)であり、これに比べればかなり少なめではあるが、主として子どもたちの日々の様子や週間予定、準備物等の連絡事項を伝える「学級通信」と、より大きな視点から学校全体を俯瞰してその取り組みや行事予定・事後報告などを伝える「学校だより」では、おのずと目的が異なる。その意味で、「月1回」という学校だよりの発行頻度は、おそらく妥当なラインであるのだろう。





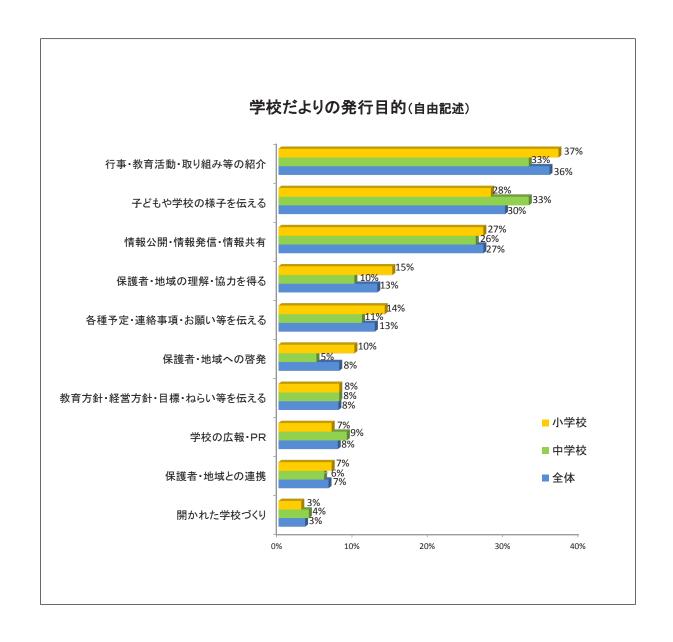


より公的な学校の広報としての目的が明確に

[Q3-④ 学校だよりを発行する主な目的は?(自由記述)]

学校だよりの発行の目的は、自由記述で記載されたものである。それらを分類したうえで、多くみられたものは、順に、「行事・教育活動・取り組み等の紹介」36%、「子どもや学校の様子を伝える」30%、「情報公開・情報発信・情報共有」27%であった。小学校・中学校ともに、これら3項目の目的が多い。

先に一般教諭の場合、学級通信の目的・役割は「学級づくりの一環として、保護者の理解を得るために、定期的に、子どもの様子を伝える」ことであるとしたが (P.39参照)、学級通信における「保護者の理解」という側面については、学校だよりでは「保護者・地域の理解・協力」および「情報公開・情報発信・情報共有」という表現となっている。より公的な意味での学校の広報としての役割が意識されていることがうかがえる。



学級通信・学年通信との棲み分けを意識

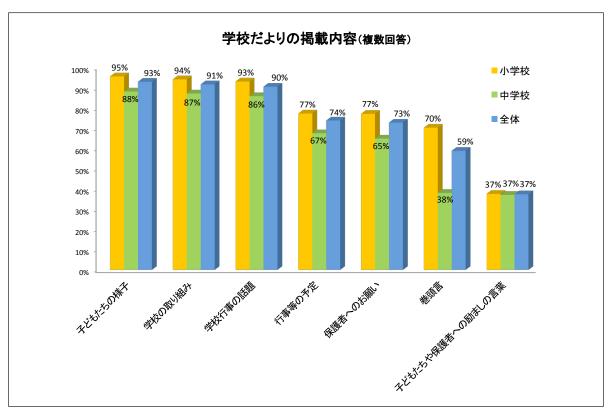
[Q3-⑤ 学校だよりの掲載内容は?(複数回答)]

学校だよりの掲載内容では、「子どもたちの様子」「学校の取り組み」「学校行事の話題」が トップ3で、いずれも9割を超えていた。次いで、「行事等の予定」「保護者へのお願い」が7 割程度、「巻頭言」が約6割、「子どもたちや保護者への励ましの言葉」が約4割となっている。

学級通信や学年通信の掲載内容と比べてみると、学級通信では「授業や学校生活の様子」「子どもや保護者へのお願い」「学級活動・学校行事への取り組み」「子どもたちの写真」「週間予定・月間予定」(P.33参照)。また、学年通信では「子どもや保護者へのお願い」「週間予定・月間予定」「学年活動・学校行事への取り組み」「授業や学校生活の様子」「子どもたちの写真」の順となっている(P.34参照)。

学校だよりは、「子どもたちの様子」がトップである点で学級通信に似るが、「学校の取り組み」や「巻頭言」が盛り込まれていること、学校行事の話題や予定、保護者へのお願いなどが多く、この特徴は学年通信に近い。ただし、学校の管理者として全体を見通した視点で通信が作られており、そこでの棲み分けができていると考えられよう。

なお、小学校に比べ、中学校のほうが各項目の割合が低い傾向にある。これは、学校だより は小学校のほうが総花的であり、一方、中学校では学校により強調される内容が異なるため選 択されない項目が多くなり、その結果、各項目の割合が下がる傾向として示されたのかもしれ ない。



※同一学校からの複数回答はひとつに絞っています。

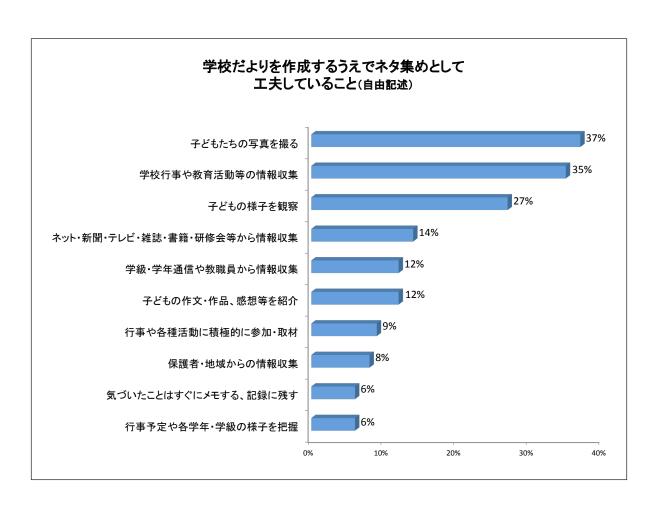
ネタ集めは「写真撮影」と「情報収集」がポイント

[Q3-⑥ 学校だよりを作成するうえでネタ集めとして工夫していることは?(自由記述)]

一般教諭が学級通信を作成するうえで最も悩んでいるのは、「ネタ探し」68% (P.40参照) であった。管理職も同様の悩みを抱いていると想定し、「学校だよりのネタ集めで工夫していること」をテーマに、自由記述式のアンケートを実施し、回答を分類した。

トップ3は「子どもたちの写真を撮る」37%、「学校行事や教育活動等の情報収集」35%、「子どもの様子を観察」27%であった。また、1位と3位については「デジカメを持って授業や学級活動を見てまわる」などの書き込みも多いことから、写真撮影と子どもの観察はセットになっていると考えられる。

写真の使用・管理については、個人情報保護の観点からも慎重を期さなければならず、また 保護者への写真使用の可否確認も必要であるが、それらを踏まえても「子どもの写真を撮る」 ことは最重要項目になっているようだ。



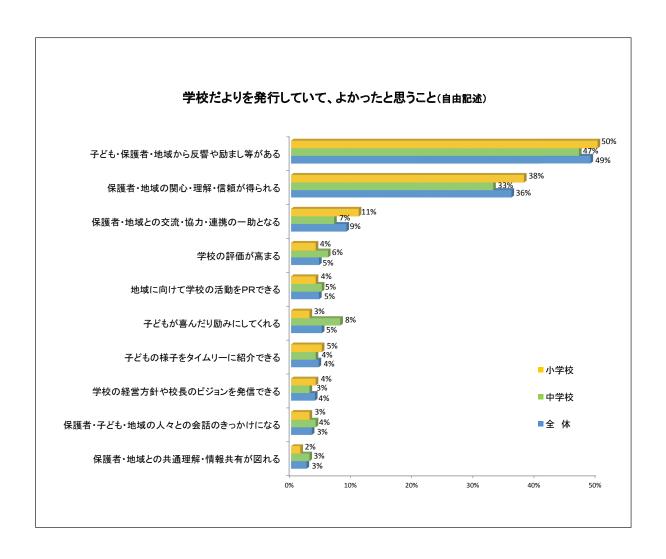
「反響や励ましがある」と「関心・理解・信頼が得られる」 が2大メリット

[Q3-⑦ 学校だよりを発行していて、「よかった」と思うのはどんなことですか?(自由記述)]

学校だよりを発行していてよかったと思うことを自由記述式で尋ね、回答を分類したところ、「子ども・保護者・地域から反響や励まし等がある」が小学校50%、中学校47%と、ともに約半数を占めてトップとなった。 2位は「保護者・地域の関心・理解・信頼が得られる」小学校38%、中学校33%で、この上位 2項目が飛び抜けて多かった。

時間と手間を費やして作成した通信に「反響や励まし等」があればうれしいのは当然であり、反響や励ましは、読んでくれている、伝えたいことが伝わっている証拠でもある。 2 位「保護者・地域の関心・理解・信頼が得られる」は、まさに学校だよりの発行目的そのものといえる。

小学校と中学校の違いで目立ったのが「子どもが喜んだり励みにしてくれる」で、中学校が 小学校を5ポイント上回っている。学校全体のことを伝える通信のなかで、たとえば自身の活 躍や学級・部活の頑張りに関連する記事が掲載されることで、多感な時期の子どもが素直に喜 びを表出することは、発行する管理職にとっての喜びでもある。



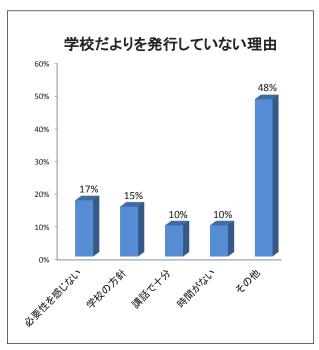
紙媒体からホームページやブログへ移行する動き

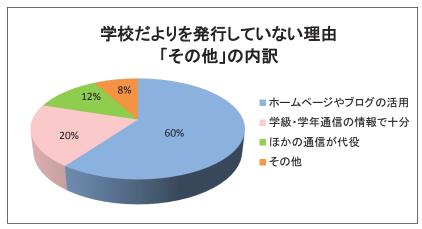
[Q4 学校だよりを発行していない理由を教えてください]

今回の調査で、97%の学校が「学校だより」を発行しており、発行していない学校は3%ときわめて少数であることがわかった(P.45参照)。発行していない学校にその理由を聞いたところ、「必要性を感じない」17%、「学校の方針」15%、「講話で十分」10%、「時間がない」10%という結果であった。

ただし、「その他」の理由が48%もあり、そのなかで「ホームページやブログの活用」が6割を占めた。実数も15校で、「必要性を感じない」の9校より多い。つまり、この質問の選択肢自体が不備だったということである。「その他」の次点である「学級・学年通信の情報で十分」(5校)も同様で、ともに初めから選択肢のひとつとしてあげておくべきであった。

現在は、紙の「学校だより」と Web 版のそれとを並行して発信している学校が大部分だと 思うが、これからは Web 版に統合される傾向が強まるかもしれない。





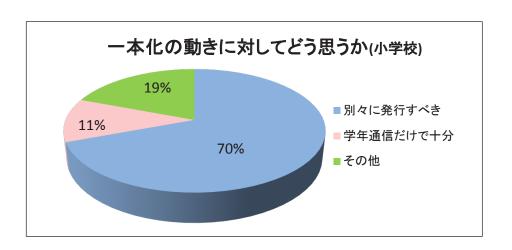
学級通信と学年通信は「別々に発行すべき」が 7割超

[Q5-① 最近、学級通信を学年通信に一本化する動きがみられますが、どう思いますか?]

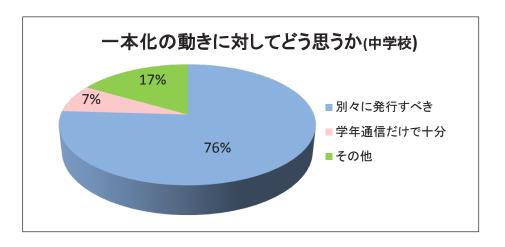
学級通信を学年通信に一本化する動きについてどう思うかという質問に対して、小学校70%、中学校76%の管理職が「別々に発行すべき」と回答した。「学年通信だけで十分」は、小学校11%、中学校7%にすぎない。

「その他」の内訳(書き込み)をみると、「単学級・複式学級である」が38%と最も多く、以下、「学級数・学校規模等による」19%、「先生の自主性に任せる」8%、「先生の負担に配慮して判断」6%、「学級通信だけで十分」5%となっている。

少子化にともなう単学級の増加で、「学級通信=学年通信」化している状況は否めない。しかし、教師の多忙化解消が叫ばれる現在、先生の負担を気にしつつも、管理職の7割以上が「別々に発行すべき」としていることは、同じく7割を超える管理職が、学級通信を「学級経営をサポートする重要なメディア」と位置づけていること(P.61参照)と結果的に重なった。



一本化に対する「その他」の内訳トップ5							
単学級・複式 学級である	学級数・学校 規模等による	先生の自主性 に任せる	先生の負担に 配慮して判断	学級通信だけ で十分			
38%	19%	8%	6%	5%			



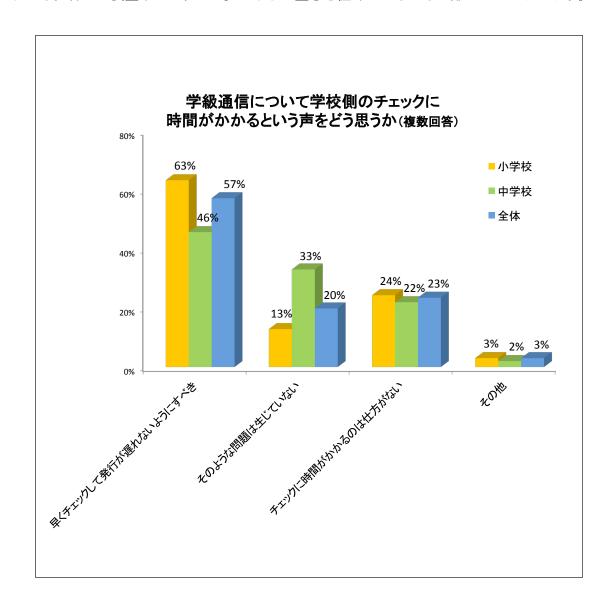
「早くチェックして発行が遅れないようにすべき」57%に対し、「チェックに時間がかかるのは仕方がない」23%

[Q5-② 学級通信の掲載内容について、「学校側のチェックに時間がかかりすぎる」という声があるが…]

学級通信の掲載内容について、「学校側のチェックに時間がかかりすぎる」「タイムリーに発行できない」といった声もある。これについて管理職はどう思っているのだろうか。

1位は「早くチェックして発行が遅れないようにすべき」57%、次いで、「チェックに時間がかかるのは仕方がない」23%、「そのような問題は生じていない」20%。なお、「その他」の書き込みには、「先生に任せている」「チェックしていない」「初任者のみチェック」など基本ノーチェック派の学校、「データでチェックするのでスピーディに進む」という学校もみられた。

一方、P.47で紹介した「通信をチェックするポイント」では、64%の管理職が「表現や内容にまで踏み込んで修正」と回答しており、通信類にはしっかり目を通すのが自らの責務と考えている管理職が多いことがわかる。先生を信頼して任せるか・統括的に管理するか、タイムリーな発行か・慎重なチェックか。どちらに重きを置くかはなかなか難しいところだろう。

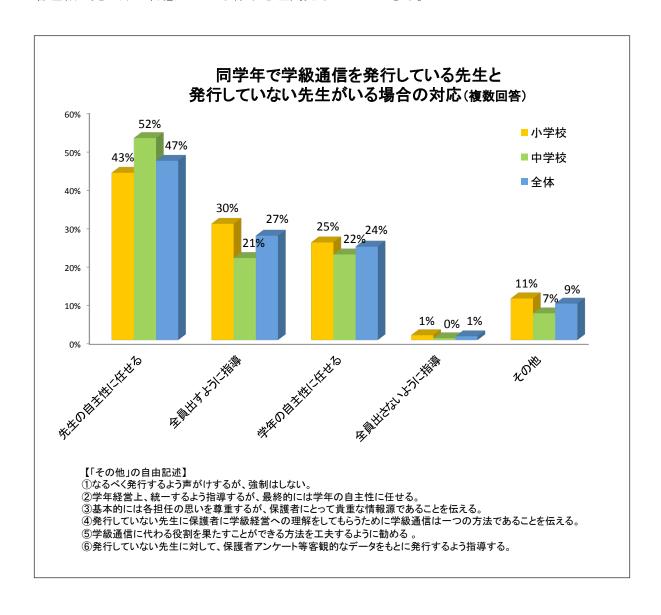


「全員出すように指導」より「自主性に任せる」

[Q5-③ 学級通信を発行している先生と発行していない先生がいる場合の対応は?(複数回答)]

同学年で学級通信を発行している先生と発行していない先生がいる場合、管理職はどう対応しているのだろうか。最も多い対応は「先生の自主性に任せる」だが、小学校43%、中学校52%と、中学校のほうが自主性に任せる割合が高い。この傾向は、「全員出すように指導」が小学校30%、中学校21%と逆転するのと対応している。小中の違いが顕著といえよう。

「学年の自主性に任せる」は小中学校ともに24%前後。注目すべきは「全員出さないように指導」が1%ときわめて低率だったこと。最近、「保護者の評価が割れるので全員出さないように管理職に言われた」という声を聞く機会が増えているので、この結果はプラスの予想外れであった。「その他」の書き込みに、「なるべく発行するように声がけするが、強制はしない」「統一するよう指導するが、最終的には学年の自主性に任せる」「基本的には各担任の思いを尊重するが、保護者にとって貴重な情報源であることを伝える」などがあり、この問題に対して管理職の先生方が苦慮している様子を垣間見ることができる。



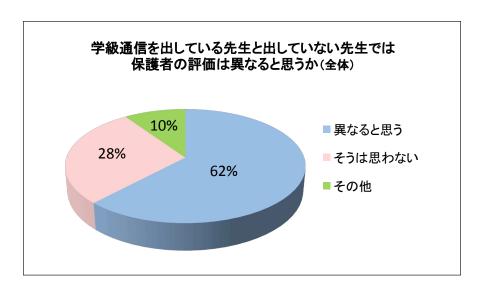
保護者の評価は「異なると思う」62%、「そうは思わない」28%

[Q5-@ 学級通信を出している先生と出していない先生では、保護者の評価は異なると思いますか?]

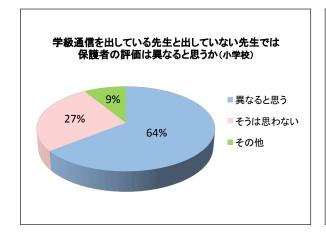
保護者との連携は学校経営・学級経営の要であり、学級通信の発行によって担任に対する保護者の評価が高まれば望ましいことではある。とはいえ、学級通信を出すか出さないかによって先生が評価されるとなれば、それはそれで息苦しい感じもする。

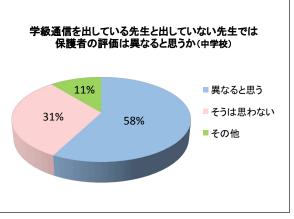
「学級通信を出している先生と出していない先生では、保護者の評価は異なると思いますか?」と聞いたところ、「異なると思う」(62%)という回答が「そうは思わない」(28%)の倍以上の数値を示した。なお、「その他」(10%)という回答もあり、その理由を書き込んでいる管理職もみられた。これについては次ページで詳述する。

一方、保護者アンケートの結果 (P.83参照) をみると、「評価につながる」「つながらない」 の割合は逆転している。保護者は、学級通信を出す出さないよりも、その内容に注目している ようだ。また、「発行してほしいが、先生の負担が気になる」という声も多かった。



「その他」トップ7								
評価の一部 にはなる	質による	他で補えば よい	ー概にはい えない	保護者次第	保護者は嬉 しいはず	学級経営の 助けになる		
40%	21%	16%	13%	11%	4%	3%		





「学級通信を出している先生と出していない先生では、保護者の評価は異なると思いますか?」という質問に対して、「その他」と回答した管理職の多くが、その理由を書き込んでいる。そのなかから興味深い記述を以下に示した。

目立つのは、「担任の力量は学級通信のみで判断されるものではない」「通信も含めて総合力で評価される」「情報発信の点では良い評価かもしれないが、総合的な評価はそれだけでは決まらない」など、学級通信はあくまで「保護者の教師に対する評価の一部」という見方である。また、「通信の内容にもよる」「内容により、マイナスの評価をされることもある」「発行していなくても信頼される教師がいる。その反対の教師もいる」「学級通信以外に保護者と連携する術を持っていない場合には、異なるかもしれない」など、なかなか厳しい意見もみられた。今や「通信を出してさえいればよい先生」という時代ではない、ということだろう。

「その他」の象徴的な記述

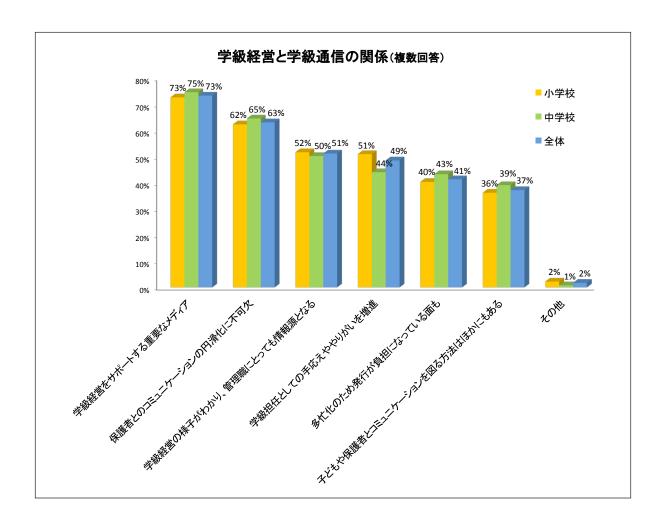
- ・熱心に読んでいる保護者は学級通信によって評価することがあると感じる。
- ・保護者の教師に対する評価の一部だと考える。
- ・評価が異なる場合もある。例えば、兄弟姉妹関係で、上の子にあって、下の子にないなどの声(評価)を聞くことがある。
- ・それぞれの先生の持ち味があるので、一律に判断できない。
- ・通信も含めて、総合力で評価される。
- ・情報発信の点では良い評価かもしれないが、総合的な評価はそれだけでは決まらない。
- ・通信だけで評価するわけではないと思うが、少しは影響があると思う。
- ・評価とまでいかないと思うが、子どもたちの様子を伝えてもらうことは保護者にとってうれしいことだと思う。
- ・一概には言えないが、同じ先生が発行したときと発行しないときでは、発行した方が良い評価を受けると思う。
- ・評価する人もいれば、しない人もいるので、どちらかに言い切ることはできない。
- ・そう思うが、発行しているほうが必ず良いとは限らず、内容などにより異なる。
- ・担任の力量は、学級通信のみで判断されるものではない。また、学級通信の内容により、マイナスの評価をされることもある。
- ・内容によっては、信頼を失う場合もある。
- ・発行している通信の内容にもよる。発行していなくても高評価の場合もある。
- ・発行していなくても信頼されている教師がいる。反対の教師もいる。
- ・学級通信以外に保護者と連携する術を持っていない場合には、異なるかもしれない。
- ・学校の状況を捉えていない保護者、来校しない保護者には、ややその傾向があると思われる。
- ・一概には言えないが、保護者、児童との人間関係が上手くいけば、通信を発行していないから評価が悪くなるとは限らない。
- ・発行していない先生でも、保護者とよく連絡をとり、学校の様子を伝えている場合は影響はないのでは。
- ・学級通信以外の取り組みで、その役割を果たすものがあればよいと思います。
- ・家庭訪問や電話での対応による連携の頻度にもよる。
- ・発行しないことに保護者は違和感を持つと思いますが、担任との信頼関係が築かれれば関係ないと思います。
- ・学級通信の発行のみで評価が決まるわけではないが、発行した方が担任の思いが伝わり協力を得やすいと思う。
- ・学級通信によって評価されるような方向に持っていかないように、保護者に対応するのは管理職の仕事。
- ・それだけの評価というのはないと感じる。保護者の中には、「そんなに出されても読まない」という方がいるのも事実。

「学級経営をサポートする重要なメディア」を筆頭に、 小中学校ともまったく同じ順位

[Q5-⑤ 学級経営と学級通信の関係についてお答えください(複数回答)]

学級経営と学級通信の関係について管理職に尋ねたところ、1位「学級経営をサポートする重要なメディア」73%、2位「保護者とのコミュニケーションの円滑化に不可欠」63%、3位「学級経営の様子がわかり、管理職にとっても情報源となる」51%、4位「学級担任としての手応えややりがいを増進」49%という結果であった。多くの管理職が、学級通信を学級経営や保護者とのコミュニケーションに欠かせないメディアととらえていることがわかる。

一方、「子どもや保護者とコミュニケーションを図る方法はほかにもある」と考えている管理職が37%、つまり3人に1人の割合でいることも明らかになった。「その他」を選択した管理職の書き込みを見ても、「学級通信は学級経営のひとつの手段だが、重要な部分はほかにある」「学級経営のひとつとして通信を重要視する教師もいるし、別の方法で進める教師もいる。どのような方法でもよいと思う」「話が上手な人は子どもと話をして距離を縮めればよい。文章が得意な人は通信を出せばよい。自分の持味を生かすことが大切」との意見が少なからずみられた。



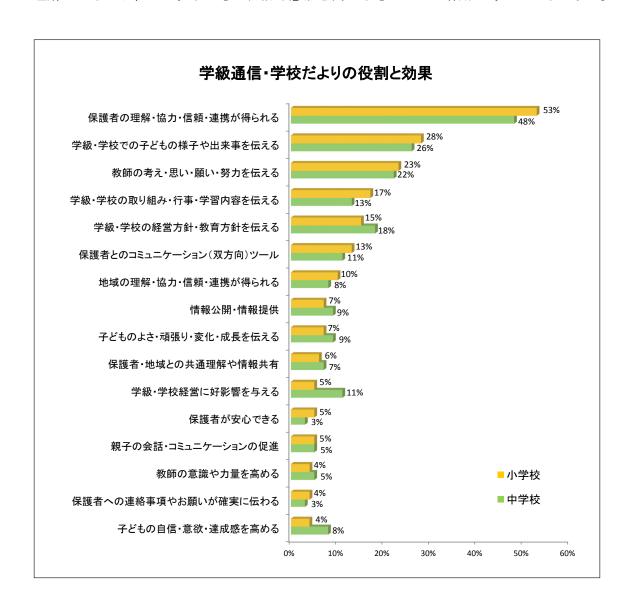
多岐にわたる学級・学校経営への好影響

[Q5-⑥ 学級通信(学校だより)は、学級経営(学校経営)にどんな効果があると思いますか?(自由記述)]

学級通信(学校だより)を出すことによる学級(学校)経営への効果について自由記述で答えてもらったところ、多種多様な回答が得られた。それらを分類すると、「保護者の理解・協力・信頼・連携が得られる」が小学校53%、中学校48%と、他に大差をつけて1位となった。

2位以降をみても、「学級・学校での子どもの様子や出来事を伝える」「教師の考え・思い・願い・努力を伝える」など、「~を伝える」という項目が上位を占め、伝える対象としての保護者を強く意識していることがわかる。

小学校と中学校の数値の差が全体的に少ないなか、「学級・学校経営に好影響を与える」では中学校が小学校より6ポイント高かった。また、「学級・学校の経営方針・教育方針を伝える」「子どもの自信・意欲・達成感を高める」でも中学校の比率が高くなっている。中学校の管理職は、通信を介した保護者とのコミュニケーションが学級・学校の経営方針や教育方針の相互理解につながり、また、子どもの自信や意欲を高めるものとして有用と考えているようだ。



保護者を対象とした アンケート調査結果

有効回収数:小学校 332(男性196/女性135/不明1)

中学校 209 (男性113/女性96)

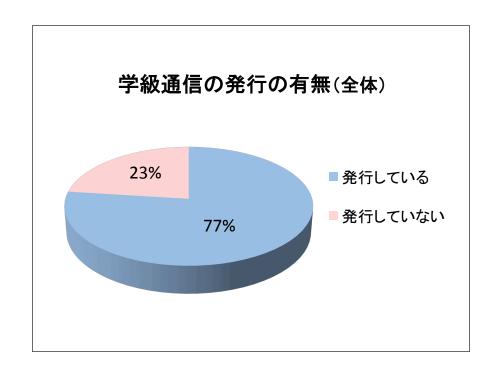
合 計 541 (男性309/女性231/不明1)

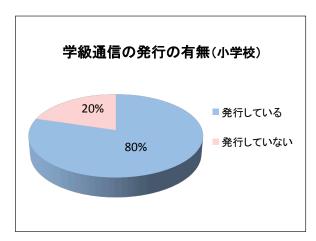
77%の保護者が「学級通信を発行している」と回答

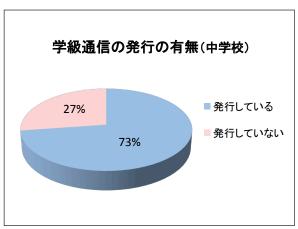
[Q1 お子さんの学校では、学級通信(単学級の場合は学年通信)を発行していますか?]

「お子さんの学校では、学級通信を発行していますか?」という質問に対して、保護者の回答は、「発行している」小学校80%、中学校73%、「発行していない」小学校20%、中学校27%であった。小中学校全体でみても、「発行している」は77%にのぼっている。

この77%という数値は、一般教諭の「発行率」についての回答とまったく同じであり(P.17 参照)、学級通信の発行率の数値としては、かなり信憑性が高いものであるといえる。





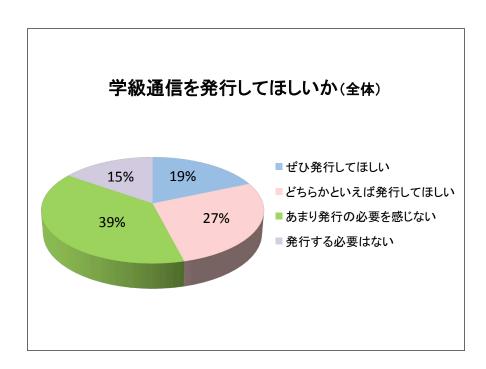


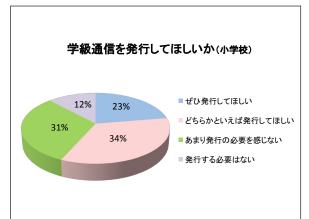
「あまり発行の必要を感じない」+「発行する必要はない」で54%

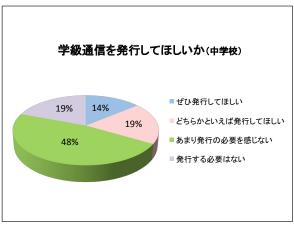
[Q2 お子さんの学校で学級通信を発行していない場合、発行してほしいですか?]

Q1 (前ページ参照)で、学級通信を「発行していない」と答えた保護者に対して、「学級通信を発行してほしいですか?」と質問したところ、「ぜひ発行してほしい」19%、「どちらかといえば発行してほしい」27%、「あまり発行の必要を感じない」39%、「発行する必要はない」15%という結果となった。中学校では、実に48%の保護者が「あまり発行の必要を感じない」と回答している。

さまざまなメディアによって教師(とくに中学校)の多忙化が報じられるなか、学級通信が発行されないことを、「先生は忙しいから仕方がない」と考える保護者が多いのだろうか。あるいは、学級通信を発行しない先生が担任になることが続いて必要性を感じなくなっているか、学級通信がない状態が"普通"であるととらえているのではないかと推察される。この質問に対する答えは、保護者がこれまで経験した担任によっても異なってくるといえるだろう。





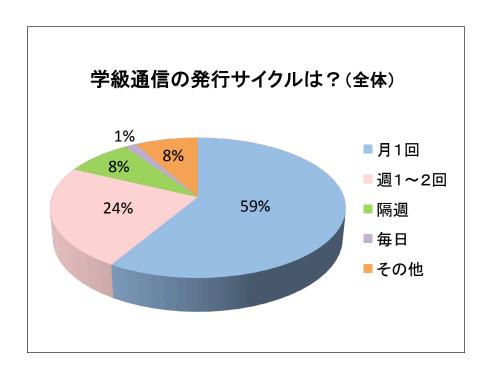


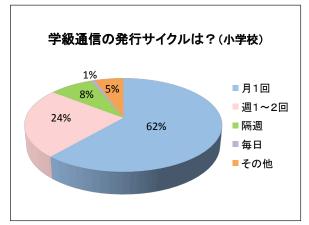
発行サイクルは「月1回 159%、「週1~2回 124%

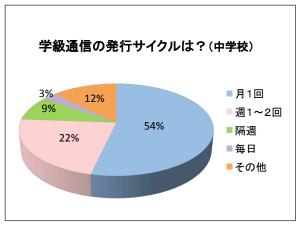
[Q3-① 学級通信の発行サイクルはどれくらいですか?]

学級通信の発行サイクルについて、保護者の回答は、1位「月1回」59%、2位「週 $1\sim2$ 回」24%であった。一方、一般教諭の回答は、「週1回」42%、「月1回」16%となっており (P.26参照)、発行サイクルの認識が保護者と異なっていることが示されている。

こうした食い違いの理由としては、まず、本アンケートに回答した先生方が学級通信の発行について積極的な意識をもつ人が多かったのではないか。また、読者である保護者は、発行者である先生ほどには発行サイクルを意識しておらず、長期休暇中には手元に届かないこともあって、印象としては実際よりも頻度が少なく感じられるのではないか。回答者の半数以上(57.2%)が父親であり、発行頻度について正しく把握されていない可能性は高いと思われる。





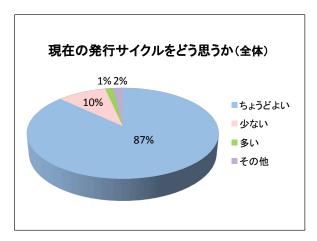


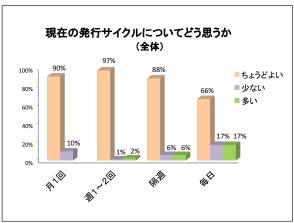
発行サイクルの多少にかかわらず「ちょうどよい」が圧倒的多数

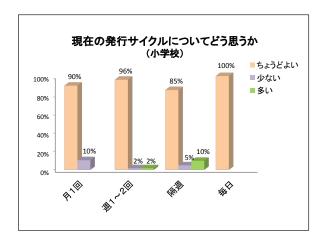
[Q3-② 現在の発行サイクルについてどう思いますか?]

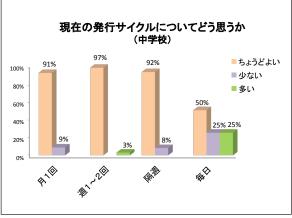
現在の発行サイクルについては、「ちょうどよい」という回答が87%と圧倒的多数を占め、「少ない」はわずか10%であった。これらの回答と前ページの発行サイクルをクロス集計した結果が、以下の棒グラフである。発行サイクルが「月1回」でも、「週1~2回」あるいは「隔週」でも、いずれも「ちょうどよい」がダントツに多いことがわかるだろう。発行サイクルの多少にかかわらず、保護者が現状に満足している様子がみてとれる。なお、発行サイクルが「毎日」の場合でも「少ない」という回答があるが(全体17%、中学校25%)、これは実数でいえば1件にすぎず、おそらく回答者の記入ミスによるものと思われる。

また、Q3-9 (P.76参照) で学級通信への不満や要望について自由記述式で尋ねているが、そこでは「発行頻度をもう少し多くしてほしい」との要望がみられた。希望するサイクルは「週1回くらい」「せめて月1回」など幅があり、件数としてはさほどではないものの、現状よりもう少し頻繁に出してほしいと感じている保護者も確実にいるようだ。







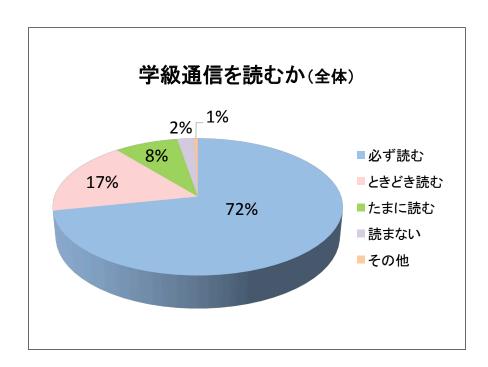


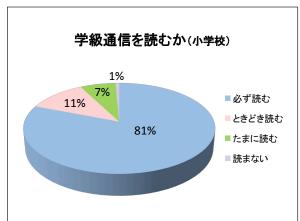
「必ず読む」が小学校81%に対し、中学校56%

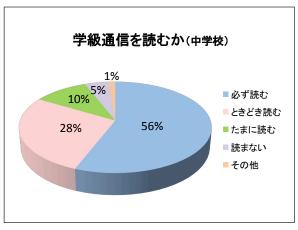
[Q3-③ 学級通信は必ず読みますか?]

「学級通信は必ず読みますか?」という質問に対して、小中学校ともにいちばん多かったのが「必ず読む」であった。ただし、その比率には大きな開きがあり、小学校では81%と 5 人中4人の割合であるのに対し、中学校では56%(2 人中1 人)とガクンと減る。2 位以降は、これが逆転し、「ときどき読む」小学校11%、中学校288%、「たまに読む」小学校17%、中学校18%、「読まない」小学校19%、中学校19%、中学校19%、「意まない」小学校19%、中学校19%。

理由として考えられるのは、まず、中学校では部活動があり、下校も小学校よりはるかに遅い。また、塾に通う子どもも小学校より多いことから、学級通信が保護者のもとへ届きにくい状況があるのかもしれない。さらに、反抗期を迎える時期でもあり、学級通信をはじめとする学校からの配布物を親に見せない、渡さないというケースも増えてくる。その結果、このような小中学校の回答の違いがあらわれたのではないだろうか。





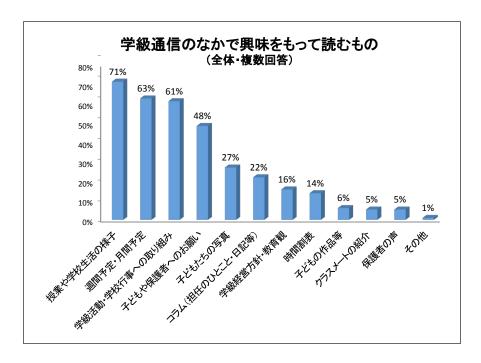


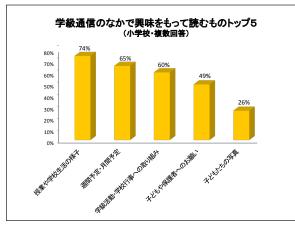
小学校2位、中学校3位に「週間予定・月間予定」

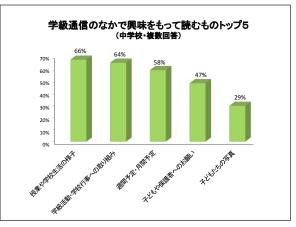
[Q3-④ 学級通信のなかで興味をもって読むものはなんですか?(複数回答)]

学級通信のなかで興味をもって読むものを保護者に質問したところ、1位は小中学校ともに「授業や学校生活の様子」、次いで「週間予定・月間予定」(小学校2位、中学校3位)、「学級活動・学校行事への取り組み」(小学校3位、中学校2位)の順であった。保護者に読まれる学級通信を目指すなら、この上位3項目が必須要件といえるかもしれない。

興味深いのは、先生が回答した実際の掲載内容 (P.33参照) と保護者の回答に微妙なズレがあることだ。たとえば、保護者では2位の「週間予定・月間予定」が先生の回答では5位、「子どもたちの写真」は先生の回答では小学校61% (4位)、中学校49% (3位) と高い比率を占めていたが、保護者では意外に振るわず27% (5位)。こうした保護者と先生の認識のズレは本調査において少なからず出てきており、ともすれば自己満足に陥りがちな学級通信づくりを振り返る意味でも、再度、保護者の意識やニーズを見直す必要があるかもしれない。





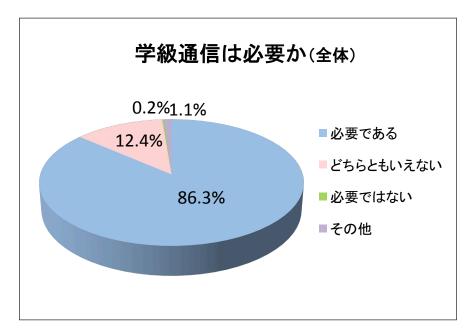


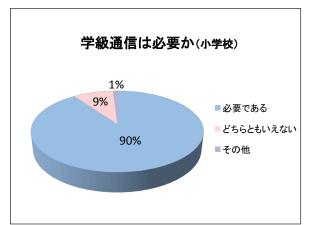
学級通信は「必要である」86%

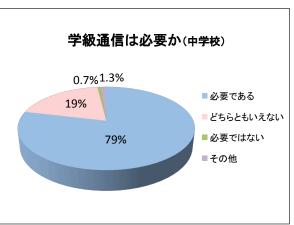
[Q3-⑤ 学級通信は必要ですか?]

「学級通信は必要ですか?」という質問に対して、86%の保護者が「必要である」と回答した。次いで、「どちらともいえない」が12%、「必要ではない」はわずか0.2%にすぎなかった。とくに小学校では、「必要である」が90%と圧倒的多数を占め、「必要ではない」は0%、つまりひとりもいなかった。学級通信の発行が保護者から支持され期待されていることをあらためて確認できる結果となった。

中学校では「必要である」が79%と小学校より11ポイント下回っているが、これは子どもの年齢と関係があるかもしれない。小学校(とくに低学年)では子どもがまだ幼いことから、クラスの取り組みや行事予定、連絡事項など必要な情報が子どもから直接保護者に伝わりにくい。また、低学年の場合、わが子が学校でどのように過ごしているかを知りたい気持ちも強いと思われる。そのため学級通信の必要度もおのずとアップするのではないかと推測できる。





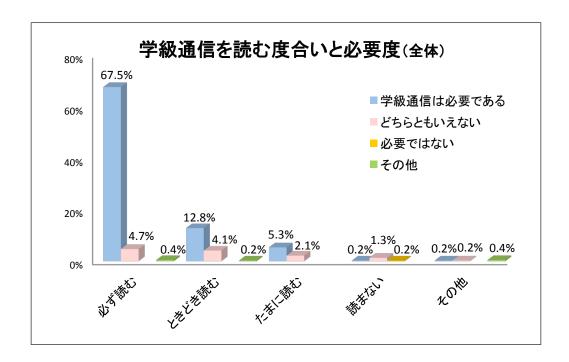


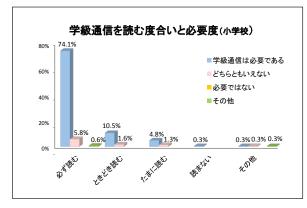
「必ず読む」人は、学級通信が「必要」な人

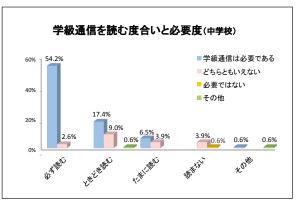
[Q3-③&⑤ 学級通信を読む度合いと必要度とのクロス集計]

Q3-⑤ (学級通信は必要か/P.70) とQ3-③ (必ず読むか/P.68) の結果をクロス集計したところ、学級通信を読む度合い (必ず読む・ときどき読む・たまに読む・読まない・その他) と学級通信の必要度(必要である・どちらともいえない・必要ではない・その他) には明らかな相関関係があり、「必ず読む」と答えた保護者ほど、「学級通信は必要である」と回答する比率が高いことがわかった。必要と思うから読むのであって、当然といえば当然の結果であるが、「必ず読む」保護者が「必要である」と回答する比率は、下掲のグラフのように小学校74.1%、中学校54.2%と群を抜いて高い。

ちなみに、読む度合いと必要度を並べてみると、小学校:必ず読む81%<必要である90%、中学校:必ず読む56%<必要である79%と、小中ともに読む度合いが必要度よりも低い。おそらく、必要と思いながら読めないときもあるという現実が背景にあるのだろう。共働き世帯が6割を超える現在、先生方と同様、保護者も多忙な日々を過ごしていると思われる。







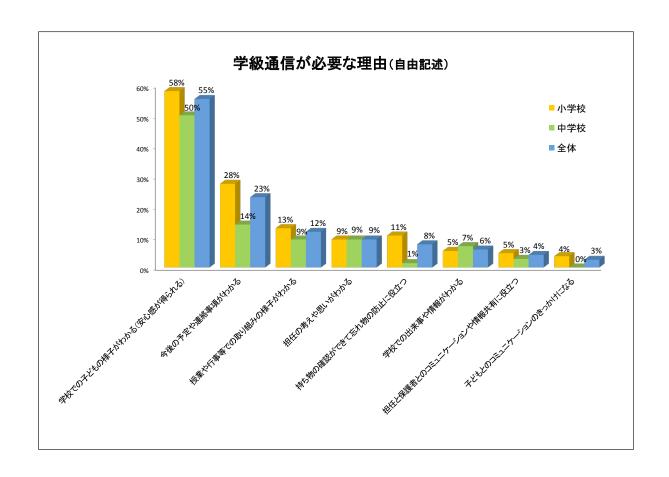
「必要な理由」で浮き彫りになった、保護者が学級通信に期待する役割

[Q3-⑥-1 学級通信は「必要である」と答えた理由を教えてください(自由記述)]

保護者は学級通信になにを求めているのだろうか。保護者にとって学級通信が「必要である」理由を尋ねたところ、最も多かったのは「学校での子どもの様子がわかる」であり、それによって「安心感が得られる」という書き込みであった。半数以上の保護者がこう書いており、2位の「今後の予定や連絡事項がわかる」を大きく引き離した。

小学校低学年では学校での様子が子どもから伝わりにくく、一方で、学年が上がり思春期に差しかかると親と口をきかなくなるという状況がある。学級通信によって学校での様子がわかることは、保護者が期待する共通の情報ニーズといえるだろう。P.69で紹介した「学級通信のなかで興味をもって読むもの」の1位も「授業や学校生活の様子」であり、学校での子どもの様子を家庭に伝えることが、学級通信の最も基本的かつ重要な役割であることを再確認させられた。

なお、P.42で述べたように、学級通信の役割として先生方が重視している「担任の考え・思い・願い・教育観を伝える」や「保護者・家庭とのコミュニケーション(双方向)ツール」といった面は、保護者にはさほど期待されていないというギャップも浮き彫りになった。実際の通信を読んで保護者がそう感じたとすれば、発信者として検討すべき課題であろう。



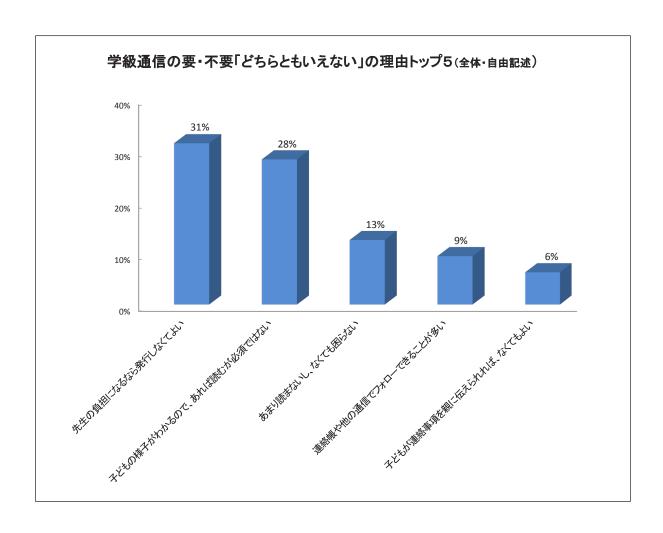
発行してもらえればうれしいが、先生の負担が心配

[Q3-⑥-2 学級通信の必要性について「どちらともいえない」と答えた理由は?(自由記述)]

「学級通信は必要ですか?」という質問に対して大多数の保護者が「必要である」と回答したことはすでに述べたが、「どちらともいえない」(12%)が2位にランクインしたことは予想外であった(P.70参照)。着目すべきはその理由である。

理由のトップは「先生の負担になるなら発行しなくてよい」31%。いいかえれば、発行してくれればうれしいが先生の負担を考えると無理は言えない、というわけである。2位は「子どもの様子がわかるので、あれば読むが必須ではない」28%。この回答のなかには「あってもなくてもかまわない」といった発行する側にとっては残念な意見もある一方、「あればありがたいが、必要性を強く感じるほどではない」という消極的肯定派も含まれる。

そのほか、「あまり読まないし、なくても困らない」「連絡帳や他の通信でフォローできることが多い」「子どもが連絡事項を親に伝えられれば、なくてもよい」等の意見があったが、これらに共通するのは、学級通信を「事務的な連絡事項が書かれたもの」ととらえる視点である。実際の通信がそうであるのか、保護者がそうした情報のみを求めているのかは定かでないが、仮に学級通信が事務連絡の伝達手段にすぎないのであれば、「他の方法でフォローできれば必要ない」といわれても仕方がないのかもしれない。



小学校は「忘れ物防止」策として活用、中学校は「わが子の写真や作品」が人気

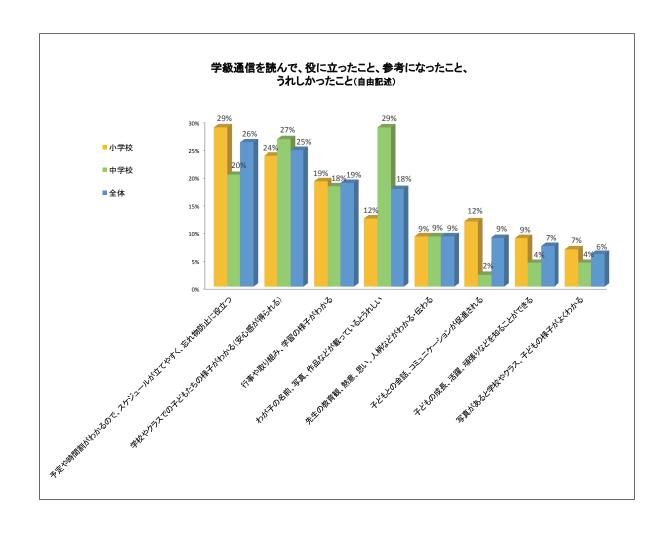
[Q3-⑦ 学級通信を読んで、役に立ったこと、参考になったこと、うれしかったことは?(自由記述)]

「学級通信を読んで、役に立ったこと、参考になったこと、うれしかったことなど」を自由 記述で記載してもらったところ、小学校と中学校の回答に違いがあらわれた。

たとえば、小学校の1位「予定や時間割がわかるので、スケジュールが立てやすく、忘れ物防止に役立つ」(29%)は、中学校では3位(20%)。また、中学校の1位「わが子の名前、写真、作品などが載っているとうれしい」(29%)は、小学校では4位で12%にすぎない。

小学校では、今後の予定や持参物など大事な連絡事項が子どもから伝わりにくい状況がある と思われる。一方、思春期に入った中学校では、親子の会話が少なく、子どもから学校の様子 を聞く機会も少ないのであろう。わが子の様子(名前、写真、作品など)が学級通信に掲載さ れるとうれしいという回答が中学校のトップであることは注目すべき結果である。

なお、2位は小中学校ともに「学校やクラスでの子どもたちの様子がわかる(安心感が得られる)」(小学校24%、中学校27%)であった。これまでくり返し述べてきたように、やはり「学校での子どもの様子」は学級通信の掲載記事として根強い人気があるようだ。

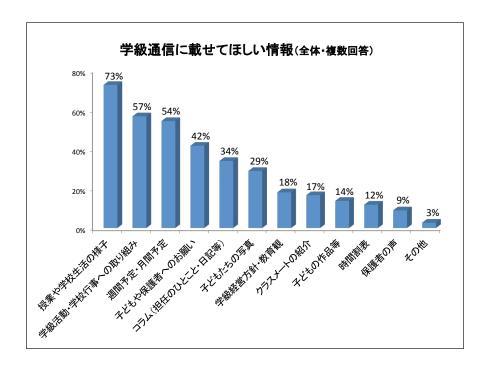


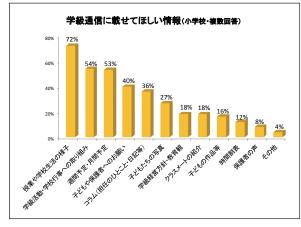
小中学校とも載せてほしい情報トップ4は実際の掲載内容と合致

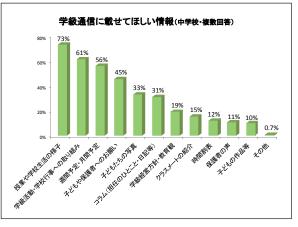
[Q3-⑧ 学級通信には、どんな情報を載せてほしいですか?(複数回答)]

保護者が学級通信に載せてほしい情報トップ5は、「授業や学校生活の様子」73%、「学級活動・学校行事への取り組み」57%、「週間予定・月間予定」54%、「子どもや保護者へのお願い」42%、「コラム」34%の順であった。

これら保護者の回答と実際の掲載内容(一般教諭へのアンケート、P.33参照)を比べると、上記トップ4までは順位は多少異なるものの実際の掲載内容と重なっており、保護者の希望をおおむね満たしているといえる。ただし、さらに詳しくみていくと、多くの先生方(小学校61%、中学校49%)が重視する「子どもたちの写真」を保護者はそれほど欲しておらず(29%)、一方、保護者の3分の1が担任の生の声や考えが伝わる「コラム」の掲載を望んでいるのに対し、先生はあまり重きを置いていない(小学校19%、中学校26%)ことがわかった。







発行頻度から内容、希望の発行日まで多様な不満・要望

[Q3-⑨ 現在の学級通信について不満や要望はありますか?(自由記述)]

現在の学級通信に対する不満や要望を自由記述式で尋ねた。先に述べたように全体としての発行サイクルへの満足度が高いためか(P.67参照)、この質問への書き込みは100件足らずと少ないうえ、内容も多岐にわたり、分類すると37項目にも及んだ。

主だった項目をみると、いちばん多かったのが「発行頻度をもう少し多くしてほしい」であった。そのほか、「先生からの連絡だけでなく、子どもの様子や写真、先生の思いなども載せてほしい」「情報を多くしたり、重要なポイントをしぼって内容を充実させてほしい」「クラスによって発行頻度が異なることが不満」などが続いた。

このように不満や要望は全体として少ないものの、発行頻度や内容の充実に関わる声がある ことがわかった。

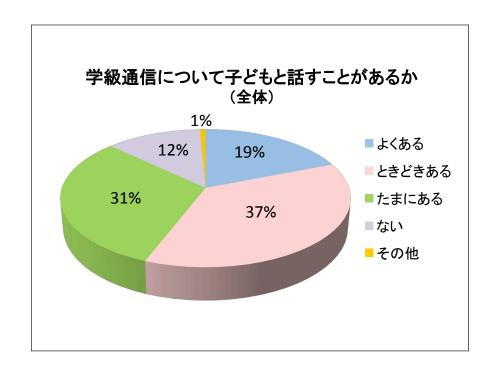
- ※本設問に関する記述は100件足らずのうえ、記述が多岐にわたりグラフ化する意味がないと判断し、主だった項目を列挙するにとどめた。()内の数字は実数。
- ○学級通信の発行頻度をもう少し多くしてほしい(12)
- ○先生からの連絡だけでなく、子どもの様子や写真、先生の思いなども載せてほしい (7)
- ○情報を多くしたり、重要なポイントをしぼって内容を充実させてほしい(6)
- ○クラスによって発行頻度が異なることが不満(5)
- ○もっと写真を多く載せてほしい(5)
- ○学級通信を発行してほしい(3)
- ○クラスのトラブルやちょっとした出来事など学校の様子を率直に知らせてほしい(3)
- ○子どもが学級通信を持ってこない、見せてくれない(3)
- ○保護者の声を載せてほしい(2)
- ○教科の単元でどんな授業をやるのか具体的な説明を載せてほしい(2)
- ○時間割にそれぞれの授業の開始時間と終了時間を明記してほしい(2)
- ○掲載内容が定型化しているので、新しい編集の視点がほしい(1)
- ○カレンダー形式の月間予定が学年によって日曜始まりと月曜始まりがあるので、統一されていると見やすい(1)
- ○情報を詰め込みすぎて読みにくい(1)
- ○月1回の発行ならもっと情報を多くしてほしい(1)
- ○金曜日に発行してもらって、1週間の予定を知りたい(1)
- ○紙で発行されているが、Web でも見られるとうれしい(1)

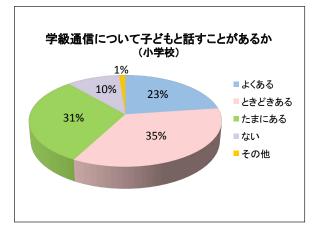
学級通信の内容について子どもと話をすることが 「よくある」+「ときどきある」で 56%

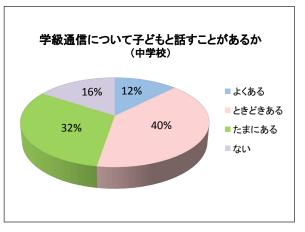
[Q3-⑩ 学級通信の内容について、お子さんと話をすることがありますか?]

学級通信の内容について子どもと話をすることがあるかという質問に対して、「よくある」と「ときどきある」を合わせると56%となり、半数以上の家庭で学級通信が話題にのぼっていることがわかった。とくに「よくある」では、小学校23%、中学校12%と小学校が1割強多く、小学生のいる家庭のほうが学級通信について親子で話をする機会が多いことがわかる。

学級通信が親子の話題にのぼる頻度について、子どもの学年別にさらに詳しく分析したところ興味深い結果が出た。これについては次ページを参照されたい。







学級通信が親子の話題にのぼる頻度について、学年別にその傾向をみるために、「よくある」から「ない」までを3ポイントから0ポイントの4件法の順序尺度で重みづけした。その結果、ポイントが高かったのは、小学1年生2.0ポイント、6年生1.8ポイント、そして中学3年生1.7ポイントであった。いちばん低いのは、中学2年生の1.4ポイントである(下表参照)。

小学校に入学したての1年生は、学校の情報をめぐって子どもとの対話が進むようであり、 最高学年の小学6年生と中学3年生は、進路情報や卒業に向けた重要行事などもあり、子ども と保護者が学級通信をもとに話し合う傾向が強まると考えられる。これに対して中学2年生は 第二次反抗期に相当し、親子の会話が全体として少なくなることも関係するのか、学級通信に ついて話す機会が少なくなる傾向にあるといえそうである。

学級通信の内容について、お子さんと話をすることがありますか?

	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	合計
よくある	10	10	6	6	13	16	7	5	11	84
(×3p)	30p	30p	18p	18p	39p	48p	21p	15p	33p	
ときどきある	16	10	21	13	10	23	17	29	17	156
(×2p)	32p	20p	42p	26p	20p	46p	34p	58p	34p	
たまにある	4	12	15	10	19	21	16	17	15	129
(×1p)	4p	12p	15p	10p	19p	21p	16p	17p	15p	
ない	3	6	2	5	7	5	4	13	5	50
(×Op)	Ор	Ор	Ор	Ор	Ор	Ор	Ор	Ор	Ор	
合計	33	38	44	34	49	65	44	64	48	419
	66p	62p	75p	54p	78p	115p	71p	90p	82p	
平均p	2.0 p	1.6p	1.7p	1.6p	1.6p	1.8 p	1.6p	1.4p	1.7 p	
全学年平均p	1.7p						1.6p			

^{※「}よくある」を3ポイント、「ときどきある」を2ポイント、「たまにある」を1ポイント、「ない」を0ポイントとして計算。 学年ごとに、合計ポイントと平均ポイントを算出。

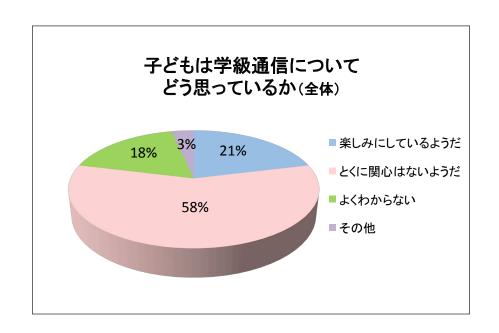
[※]ポイントが高いほど、「学級通信の内容について子どもと話す頻度が高い」ことを示す。

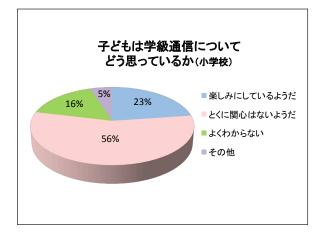
「楽しみにしている」21%に対して、「とくに関心がない」58%

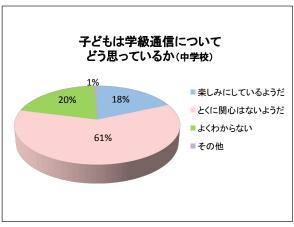
[Q3-⑪ お子さんは学級通信についてどう感じていると思いますか?]

子どもは学級通信についてどう感じていると思うかという質問に対し、「楽しみにしているようだ」21%、「とくに関心はないようだ」58%と、後者の回答が圧倒的に多かった。先生の多くは通信を介して親子の会話が弾む効果を期待している。この数字をどうみたらよいのだろうか。

現場の教師の感覚からいえば、子どもは学級通信に強い関心をもっている。通信を配ると、 教室はいろいろな声が飛び交って騒がしくなる。自分が登場していればもちろんだが、友だち の話題でも無関心ではない。家庭で関心がないようにみえる第1の要因は、教室ですでに反応 してしまっているからではないか。第2に、親の前でそのことを語るのは照れくさい。学年が 上がるにつれて「シラケ」た風を装うのはむしろ自然ではないか。第3に、だから親のほうか ら上手に通信をネタにして話題を振ったり一緒に楽しむようにしていく必要があるというこ と。もちろん教師のほうも、親子共通の話題になりそうな書き方を心がけるべきだろう。







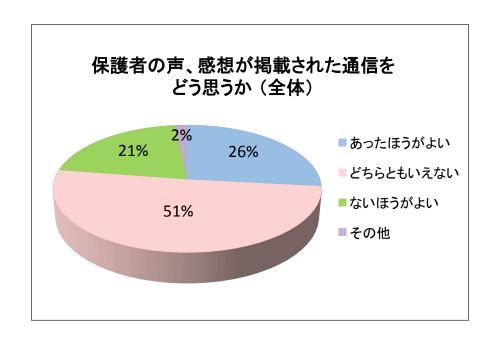
双方向性のある通信について、51%が「どちらともいえない」と回答

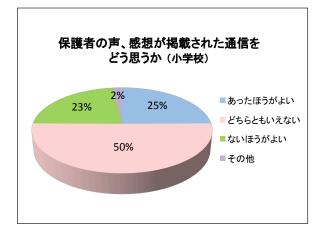
[Q3-⑫ 保護者の声や感想が載っている学級通信についてどう思いますか?]

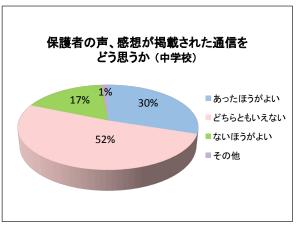
学級通信を、教師からの一方的な情報提供にとどまらせず、保護者との相互理解と交流を促すツールとしたいと願っている先生は少なくない。「双方向性のある通信」の実現である。その重要性は、教師対象の研修会や通信づくりの書籍などでも強調されている。

ところが肝心の保護者には、こうした先生方の意図や願いは十分には届いていない、さほど 支持されていないという結果が出た。保護者の声や感想が載っている通信について、「あったほ うがよい」26%、「ないほうがよい」21%、「どちらともいえない」が51%と半数を超えている。

支持されない要因の第1は、感想などを「書かされる」側としては、「書くことが苦手」「面倒」「恥ずかしい」という感情があるのかもしれない。第2に、実際の通信で双方向性が効果的に実現できている例が乏しい、そういう通信に出合った経験がない、ということもあるだろう。第3に、同じ保護者の文章が続いたりすることへの反発もあるかもしれない。





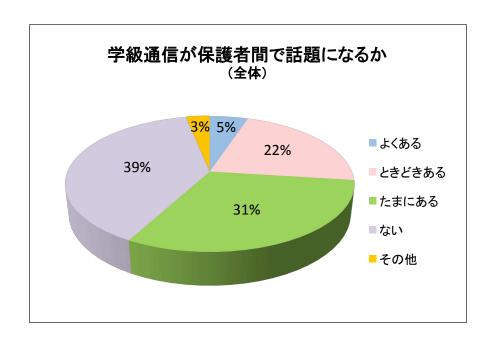


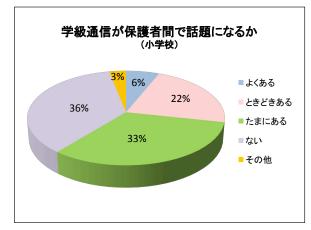
保護者間で話題になることが 「よくある」+「ときどきある」+「たまにある」で58%

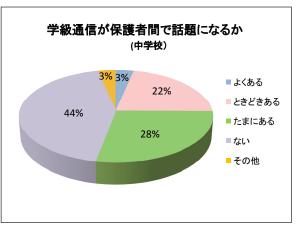
[Q3-③ 学級通信の内容が保護者の間で話題になることはありますか?]

学級通信の内容が保護者の間で話題になることがあるかという質問に対して、「よくある」 5%、「ときどきある」22%、「たまにある」31%、「ない」39%という結果が出た。先生への 調査では、学級通信が「教師と保護者との会話のきっかけになる」との書き込みもみられた が、保護者同士ではそれほど話題にならないようだ。この結果を「がっかり」とみるか、「ま、そんなもんだろう」とみるか、「いや、けっこういいんじゃないの」とみるか。

この問題を考える前提として、「目指したい通信の姿」を考えてみたい。通信の機能として、 ①起きたことを記録し報告する→②これからのことを予告し提起する→③問題や課題を明らか にし考えさせる、がある。究極的には③の機能で「風を起こす」ことが理想だが、そんな話題 は「たま」にあればよいほうだろう。①の報告が主ならば、保護者も「あ、そう」で済んでし まい、話題にすることもない。そう考えれば、この数値は十分頷けるのではないか。







根強い人気、「紙の学級通信のほうがよい」が過半数

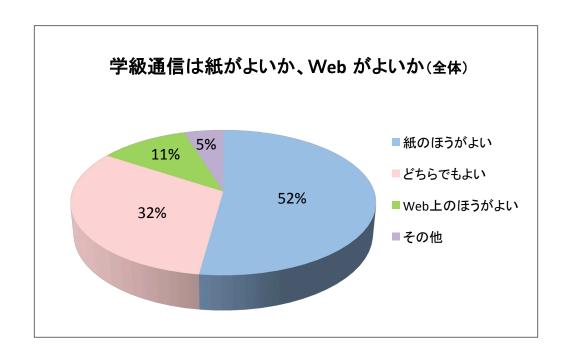
[Q3-14] 学級通信が紙媒体ではなく、Web上で見られるようになったらどう思いますか?]

携帯・スマートフォン等95%、パソコン73%――家庭における情報端末機器の普及は目覚ましく(総務省、2017年版情報通信白書)、学校の情報発信のあり方も転換を迫られている。こうした状況を踏まえ、保護者対象アンケートでは「学級通信が紙媒体ではなく、Web 上で見られるようになったらどう思いますか?」という質問を設けた。

結果は、「紙のほうがよい」52%、「Web 上のほうがよい」11%、「どちらでもよい」32%。 やはり長年なじみのある紙の人気は根強いようだ。しかし、見方を変えれば、「Web 上のほう がよい」「どちらでもよい」の合計43%が、「Web でもよい」と考えていることになる。

紙派の理由で多いのは「子どもから手渡しされる」「一緒に見る」という行為に意義があるとする意見。一方、Web派は「子どもが渡し忘れるので」「どこでも読める」「写真がカラーで見られる」などの理由が多くを占めた。

では、作り手側の先生方はどう考えているのか。自由記述欄をみると、「紙媒体からメルマガなどに移行する流れがあってもよいかと思う」というWeb 志向の先生がいる一方で、「紙だけではなくブログも利用することで、手軽に学級通信を発信することができるようになった。連絡やお知らせは紙で、子どもたちの様子はブログ上での写真でと使い分けている」という併用派の先生もいる(P.90参照)。ちなみに、保護者の書き込みにも「紙とWebの併用」を望む声が散見された。

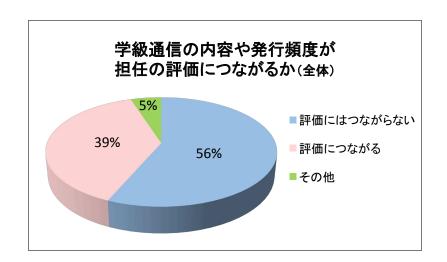


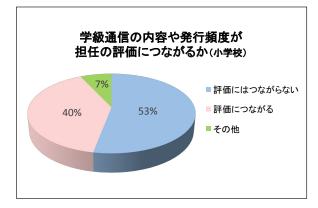
学級通信の内容や発行頻度は、「先生の評価にはつながらない」が56%

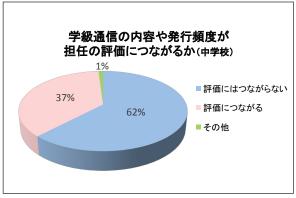
[Q3-15] 学級通信の内容や発行頻度の多さが、担任の先生を評価することにつながりますか?]

どの保護者も、わが子は「よい先生」に受け持ってほしいと願っている。「よい先生」の基準はそれぞれ異なるだろうが、そのなかで担任の発行する学級通信の内容や発行頻度は先生の評価にどの程度つながるのだろうか。この回答は、管理職の見方(P.59参照)とは明らかな対照をなしている。すなわち、「学級通信を出している先生と出していない先生では、保護者の評価は異なる」と考える管理職が62%もいたのに対して、「学級通信の内容や発行頻度の多さが、担任の評価につながる」と答えた保護者は39%にとどまっている。逆に、「評価にはつながらない」は全体で56%、中学校ではなんと62%にのぼる。

おそらく管理職は、複数の担任を横並びに見てそのデコボコ (ある項目をやっているかやっていないかという比較) で評価しがちで、保護者も同様だろうと思っているのに対して、保護者のほうは他の先生との比較ではなく、担任がわが子をよく見てくれているか、効果的に教育してくれているかを評価しようとしているのではないか。その意味では、保護者は教師に対して案外冷めた客観的な評価を下していると考えることができるだろう。







1位「学級通信の発行を続けてほしい」、2位「先生の負担にならない程度で」

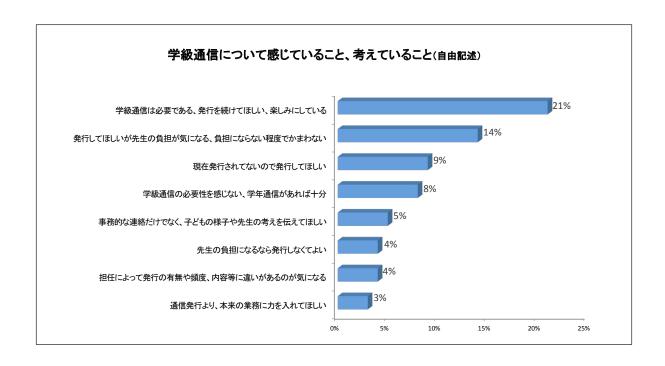
[Q4 学級通信について感じていること、考えていること(自由記述)]

先に述べたように、保護者の72%が通信を必ず読み、17%がときどき読む。実に9割近くの保護者が通信を読んでいるとの調査結果が出た(P.68参照)。

保護者アンケートの最後には、「学級通信について感じていること、考えていること」を自由に書いてもらった。それらを分類したところ、いちばん多かった回答は「学級通信は必要である、発行を続けてほしい、楽しみにしている」であった。先の通信を読んでいる保護者の多さが反映された結果ではないだろうか。

また、2番目に多かった「発行してほしいが先生の負担が気になる、負担にならない程度でかまわない」という声もまた、保護者が教師の多忙な状況を察し、頻度を落としてもかまわないが発行は続けてほしいとの願いのあらわれとも考えられる。

その一方で、「先生の負担になるなら発行しなくてよい」「通信発行より、本来の業務に力を 入れてほしい」「学級通信の必要性を感じない、学年通信があれば十分」との回答があったこ とも事実であり、学級通信づくりと学級経営とのバランスが問われているといえよう。



【補足】

アンケートの自由記述欄より

通信の発行に関する課題や問題点

一般教諭による自由記述欄には、通信の作成・発行について先生方が日々感じている悩み、 迷い、疑問、葛藤、要望など、さまざまな現場の声が書き込まれていた。通信発行に関する課 題や問題点の一端を示すものとして、これらの数値化できない"声"をお伝えしたい。

- ●今は学校からの通信過多で**あまりにも多くの情報発信**となっている。要望が多く、メリットがあることもわかるが、**必ず発行すべきという風潮には疑問**を感じる。(小学校)
- ●学級通信を定期的に出すことが負担になり、教材研究の時間がなくなったり、自分の生活の時間がなくなったりして苦痛を感じるようになってほしくないです。内容も個人情報についてあれこれ言われ、 記事も書きにくくなっている部分もあると思う。(小学校)
- ●子どもたちは毎回楽しみに読んでくれている。保護者からも毎週ありがたいと言ってもらうことがあった。ただ、その時間をもっと子どもを見る時間に使ってほしいという保護者の声もあった。(小学校)
- ●「昨年の担任の先生は頻繁に学級通信を発行していてよかった」と**保護者の方に比較されることを負担に感じた**ことがあります。(小学校)
- ●**多くの号数を出す先生=良い先生という考え**の保護者や管理職もおり、それがプレッシャーになっている先生方もいる。それより**子どもに手をかける教師が必要**だと思っている。(小学校)

.....

- ●前任校では毎日通信を発行していました。書き始めるとネタはいくらでも湧いてくるし、その効果も生徒や保護者の反応から感じていました。しかし今は、他のクラスと足並みをそろえる意味もあり、 頻度が激減してしまいました。減ってしまった今でもなお、発行の意義は強く感じています。(中学校)
- ●「学級通信」の発行回数について管理職から、「必要最小限の発行にして、その分の時間を教材研究などに有効に使うようにしましょう」と指示されたこともあるし、たくさん発行することを良しとする場合もあるので混乱します。(小学校)
- ●子どもの様子を伝えるツールとして、学級通信はとても重要だと感じています。しかし、毎週行事や **目立ったことがない場合には、ネタ探しに悩みます**。普段の行事では、写真が撮れなかったり、通信 に載せられそうなことがない場合、それだけ時間がかかります。(小学校)
- ●**どれだけの保護者がしっかりと読んでいるか疑問**に感じる。こちらのつくり方にも問題があると思っていますが…。(中学校)
- ●各学級で発行している**通信を互いに交換し合って、自分の刺激・参考にできる職員関係を持ちたい**と思っています。(中学校)

多忙感や負担感を超えるメリットの大きさ

多忙化は教育現場の最大の課題のひとつであるが、一般教諭の自由記述を読み、あたらめて確認できたのは、「通信の作成・発行が多忙化につながっている」と考えている先生は少なく、「他の業務に追われ、通信の内容を充実させたり、こまめに発行する余裕がない」ことを残念に感じている先生が多いことであった。さらに、そのような状況においても、「定期的な発行が望ましい」「発行頻度を増やしたい」と思い、「短時間での作成」「時間の節約」を心がけて発行しつづけている先生が圧倒的に多いという事実である。

これは、通信のメリットを実感している先生がいかに多いかを物語っているといえよう。

- ●他の事務処理や雑務もあり、**勤務時間外に作成することもあります。通信は大事だと思うので時間を割くことにしんどさはありません**が、最近、事務的な書類が急激に増えて時間をとられるのがしんどいので、その部分の人員がほしいです。(小学校)
- ●放課後にやるべきことが多く、ゆっくりと学級通信に向き合える時間がない。ゆっくりと作るには休日の時間を割いたり、帰宅後の時間を割く必要がある。しかし、通信は児童に担任の思いを訴えかける大切なものなので、時間がなくても発行しつづける大切さを感じている。(小学校)
- ●平日は作る時間がなく、土日に作ることが多いため、多少負担に感じることはあります。しかし、**子** どもたちは自分の写真や作品が載っているととても喜びますし、保護者の中にも通信の感想を連絡帳 に書いてくださる方もいらっしゃるので頑張って作成しています。(小学校)
- ●参観日後の懇談会や個人面談などでは参加人数が限られたり、短時間であったりして、自分の思いや子どもたちの様子を十分伝えきれないが、通信なら伝わる。(小学校)

「生徒に話をする時間がうまく取れないときに、通信で伝えることがある (中学校)」という 記述もあり、多忙化時代だからこそ、子どもや保護者とのコミュニケーションを図るために、 通信を有効活用しようと考える先生が多いことがわかる。

通信発行の効果やメリットはそれだけではない。

- ●思春期は学校での出来事について、**子どもから親にはなかなか伝わらない時期なので、情報発信としての効果**はある。(中学校)
- ●ネタ探しの一環として子どもをしっかりと見る目が養われ、子どものよさを発見することにつながる。中学生は親に学校のことを話さなくなるので、通信は親子の会話を促すネタにもなる。学級活動の記録としても残り、子どもの成長や変化がわかったり、学級経営の振り返りとしても使える。(中学校)

管理職は学級経営・学校経営への効果を意識

管理職の自由記述からも、通信発行にさまざまな効果を感じていることが読みとれる。 なかでも、「学級経営」「学校経営」への効果・好影響に言及する書き込みが目立ち、管理職 という立場ならではの視点が感じられる。

●学級通信を発行するためには、**日頃から子どもたちをどれだけ見て、どれだけ一緒に活動し、どれだけ必要に応じた指導を行っているかということが必要**になってきます。そういう意味で、学級経営には大きな効果があると思います。(中学校・管理職)

•

- ●学級経営や担任の指導方針を保護者に理解してもらう→協力が得やすくなる。担任の思い(やる気)が伝わり、信頼や親しみを得やすくなる。問題行動が起きても、スムーズな対応がしやすくなる。児童の頑張りや良かったことを紹介することで、児童の意欲向上につながる。(小学校・管理職)
- ●教育のねらいを生徒や保護者に伝えることができるとともに、**発行者にとっては取り組みを振り返り、 総括する機会ともなる**。その作業を積み重ねていくことで、コミュニケーションの円滑化を図ることができると思われる。(中学校・管理職)

「教育のねらいを生徒や保護者に伝えることができるとともに、発行者にとっては取り組みを振り返り、総括する機会ともなる」という書き込みにもあるように、通信は、読者である子どもたちや保護者のみならず、発行者である先生にもさまざまなメリットをもたらしてくれる。

こうしたメリットについては、「ネタ探しの一環として子どもをしっかりと見る目が養われ、子どものよさを発見することにつながる」(前ページ参照)など、担任として学級通信を発行している先生方も実感しているようだ。

そのほかにも、以下のような多様な効果、メリットに関する記述がみられた。

- ●学級通信は各学級の取り組み状況や経営状況などが把握しやすくなり、**学校経営方針がどのように、 どの程度、具現化されているかを知る手がかりのひとつとなる**。(小学校・管理職)
- ●学校だよりは発行前に全職員に回覧し、加筆修正をお願いしている。**学校だよりの内容が学校経営の方向性を示し、具現化へのアプローチである。内容を全職員が理解することで学校に一体感が生まれる。**(中学校・管理職)
- ●話し言葉も大切であるが、一過性のもので記憶にとどまらないことが多い。**通信はその点で、ずっと 残るものであるし、単なる情報発信のみならず、記録となる**。(中学校・管理職)

継続のコツは「無理なく楽しみながら」

学級通信の発行頻度は「週1回」が42%と最も多かったが、「毎日」発行している先生も5%と少数派ながらいることがわかった(P.26参照)。日々の業務に追われて時間の余裕がないなか、なぜ毎日発行するのかという疑問に答えてくれるのが、以下のような書き込みである。

- ●とくに**1年生を担任するときは、自分の考えを知ってほしくてなるべく毎日発行**するようにしている。 1年生の親は子どもの様子を知りたい気持ちが強いので、写真を多く使って作っています。(小学校)
- ●幼稚園や保育園では、先生と保護者が毎日のように会って1日の出来事を話すそうです。小学校になるとそれが途絶えるので、**保護者は毎日の学校の様子を知りたいと思っている**ようです。(小学校)
- ●学級通信は学級づくりや家庭とのかけ橋として、私の教員人生で絶対に必要なものでした。子どもたちの日記を載せることで、仲間が何を考えているのかわかり、学級が自然といい方向にまとまっていきます。家庭でも、家族間での話題になったり、学級の様子や担任の思いが伝わったりします。そのため、私は基本的に毎日発行していました。(中学校)

ただし、通信の発行頻度については、さまざまな考え方があるようだ。また、「無理のない範囲で」「楽しみながら」発行することの大切さを説く記述も多数みられた。

- ●毎日のように発行すると保護者にとって読むのが苦痛になるという話も聞いたので、週に 1回を守る くらいが、こちらの負担も軽くなり、保護者にもいいと思う。(小学校)
- ●毎日発行することで負担になってしまう先生もいると思います。それでは本末転倒なので、**週に1回、 曜日を決め、決めた曜日には欠かさず出すことが、信頼という意味でも大事**かと思います。(小学校)
- ●次週の予定を載せる関係で、必ず金曜日に1枚は出すと決めている。(小学校)
- ●負担にならないように通信を作りたいとき、保護者や子どもに伝えたいことがあったとき、**作れる時間があるときに通信を作ればよい**と思います。(小学校)
- ●授業に支障がない範囲内で、**自分は自分、人は人のペースで**。(小学校)
- ●気楽に出すこと。**「出せない日もある」と割り切って無理をしないほうがよい**と思います。(小学校)
- ●出さなければ…ではなく、出して伝えたいと思った時に出したほうがよいと思います。(小学校)
- ●無理なく楽しみながら発行するスタンスがよいと思う。(小学校)

そのほか、通信づくりの基本ともいえる具体的なアドバイスも多かった。

●子どもの写真や作品などを紹介するときは、かたよりのないよう年間を通してほぼ同じ掲載回数になるように名簿につけています。(小学校)

......

- ●先輩や前年度の通信を参考にする。(小学校)
- ●はじめは「マネ」から。だんだん自分の型ができてくる。(小学校)
- ●リアルタイム、タイムリーな記事を掲載する。(小学校)
- ●レイアウトを固定化したり、必ず載せるものなどを決めておくと効率的です。(小学校)
- ●良いこと8割、辛口2割をユーモアを交えて伝えること。(小学校)

ホームページやブログとの役割分担を考える

本調査において、「学級通信を発行していない理由」の第1位は「時間がない」52%であり (P.22 参照)、学級通信の作成について負担感を「とても感じる」「多少感じる」と答えた先生が 67% もいることがわかった (P.36 参照)。

これらの問題を解決するひとつの方策として、ホームページやブログと通信との併用に踏み切った学校もある。それについて現場の先生方はどう感じているのだろうか。主だったものを自由記述欄から拾ってみた。

- ●子どもの様子は、日々更新しているブログでお知らせしており、できるだけシンプルにという学校の 統一事項もあるため、学級通信は週予定表としての扱いです。前任校では、予定表+写真・子どもの 様子を載せていたので、作成に 1 ~2 時間かかり、かなり負担でした。本校のスタイルはとてもあり がたいです。(小学校)
- ●紙だけではなくブログも利用することで、手軽に学級通信を発信することができるようになった。連絡やお知らせは紙で、子どもたちの様子はブログ上での写真でと使い分けている。(小学校)

電子媒体の活用により、紙媒体の通信は簡素化され、作成の手間が軽減された、楽になったという感想である。さらには、以下のように「紙は不要」となった学校もあるようだ。

●タブレット端末が子ども 1 人に 1 台整備されているので、**通信も電子化され、家庭に持ち帰ってタブ レットで見ることができます**。紙は不要です。(小学校)

教師の負担軽減のためにも、通信の電子化を進めたほうがよいという意見もあった。

●教員の世界にICTが広がれば、もっと効率的に活用できるようになると思います。現状では時間もかかるし、発行しなくてもいいのなら、しないという先生も多い。とてもいい物なので少しでも発行しやすい体制にした方がいいと思う。(中学校)

●紙媒体からメルマガなどに移行する流れがあってもよいかと思う。(小学校)

その一方で、「紙の通信ならではのよさ」を感じている先生もいる。

●負担感はあるが、保護者に理解・支援を求めていくためには必要なツールだと思う。ホームページもあるが、紙媒体の通信の影響は大である。(小学校)

「紙」か「Web」か、については、保護者からも多数の書き込みがあった。これについては、次ページで紹介したい。

紙かWebか、保護者は学級通信になにを求めているのか

保護者対象のアンケートでも、「紙かWebか」について多くの書き込みがあった。そこから明らかになったのは、「紙の通信」に対する根強い人気である。

- ●定期的に発行して頂けることで安心感を得ることが出来る。**紙で必ず目を通すことが出来る仕組みが 大事だと思います。Web やメールでは見ないことが増える**と思います。(小学校・保護者)
- ●web 上だと自分から見に行く必要がありますが、紙媒体は手元に届き、自然に目に入るので学級通信はまだまだ紙媒体の方が良いと思います。(保護者)
- ●何もかもがデジタル化にされていく時代、**紙で手書きの学級通信に温かみを感じます**。(小学校・保護者)
- ●学級通信は、web で見られるようになっても紙で配って欲しいと思う。すべて保存しておくわけではないが、卒業アルバムと一緒に置いておきたいものもあると思うので。(小学校・保護者)
- ●学校の状況などを知る上で**紙として残ることが大事**。(中学校・保護者)
- ●紙の学級通信は学校の状況を知るため(webとは違った意味で)継続して欲しい。(中学校・保護者)
- ●伝達手段の web化は進めてもいいと思うが、webだけでは不十分。紙媒体は絶対必要。併用が望ましいと思う。(小学校・保護者)

·

「紙の通信がよい」とする理由として、子どもから手渡されることで親子のコミュニケーションにつながるという意見も目立った。

- ●「紙」で頂くことで子どもとのやり取りになるので web 上ではなく、現状のまま今後も続いて欲しいと思います。(小学校・保護者)
- ●web でも見られることは働いている身としてはじっくり見ることが出来て便利ではありますが、同時に紙媒体でないと、子供からプリントとして手から手へ受け取る時のコミュニケーションも減ってしまう懸念が考えられると感じました。(中学校・保護者)
- ●親はWeb上でも良いが、**子供も持ち帰って一緒に見るという行為として意義がある**と思うので、紙媒体で発行した方が良いと思います。(小学校・保護者)
- ●やはり、紙ですとじっくり読めるし、**子供から手渡されるので子どもも嬉しそう**。ぜひ、学級通信は続けていって欲しいです。(小学校・保護者)
- ●小中学校では、連絡手段として紙媒体が多いようです。以前よりそれに慣れている面もあります。最近では webメールも普及している様で連絡手段の一つと思いますが、子どもとのコミュニケーション、メモ追記など学級通信(紙媒体)のメリットもありそうです。(小学校・保護者)
- ●中学校で学級通信をもらったことはありませんが、小学校ではよくありました。毎日、手書きで発行してくれた先生もいました。その中から、「今日はこんなことがあったんだな。」と知り、子供達との会話にもつながりました。言葉数の減ってくる中学生こそ、学級通信があったらいいなとも思います。お手紙がなかなか届かない、中学生男子ですが。(中学校・保護者)

「紙派」が多くを占めるなか、少ないながら「Web派」もいる。学校が発信する通信やお知らせなどが多く、「紙の無駄」「エコではない」という視点は一考に値するかもしれない。

●書類 (手紙・宿題・アンケート) 等紙が多く無駄なことが多い (エコではない)。(小学校・保護者)

- ●紙の無駄も感じる(中学校・保護者)
- ●この時代、紙に印刷して配らなくても学校のホームページにでも載せればいいと思う。(中学校・保護者)
- ●紙はやめて欲しい。(小学校・保護者)

紙か Web かの二択ではなく、両者の併用を望む声もある。

- ●紙で配布されているが、電子データもほしい。Web で見ることができるとよい。(小学校・保護者)
- ●親が学校を知るためのツールとして必要と思います。**紙だけではなく、e メール等、両方活用してい けば良い**と思います。(中学校・保護者)

さらに、紙の通信発行による先生の負担を心配する声もあった。

- ●一般的なニュースでも、先生の時間の取られ方(残業)など言われている中で、**先生の労力を考えると、学級通信はいらない**と思う。発行する回数が少なければ、保護者会でも様子がきけるので十分である。 小学生のうちは手紙も親に出すが、中学生になると出さなくなることもある。もし、学級通信を発行するならば、ホームページを使うと有効だと思う。(他の学年、学級の様子もわかる、比較することが出来る)。(小学校・保護者)
- ●学級通信があると、クラスでどんな事をしているのか等、様子が分かることもあると思うので、読んでみたいと思いました。ただ、今の先生方は多忙な方が多いため、**通信を作成するとなると、先生方の負担も増えるのでは**…とマイナス面もあるのかな、と。先生と子どもたちが授業の一貫として作成するのがいいですね。紙媒体、Web上どちらも見れるのがベストです。(小学校・保護者)

紙媒体かWebか、両者の併用か、今後の通信はどうあるべきなのか。子どもたちと保護者、そして先生方にとって、お互いに無理のない、よりよい情報発信のかたちを求めて、これからも学校現場での試行錯誤は続くだろう。

巻末資料

通信名一覧:学級通信 学年通信

学年通信 学校だより

調査用質問紙:一般教諭対象

管理職対象 保護者対象

【学級通信・小学校】

●動植物や自然をイメージしたもの

ひまわり (31)

ひまわり通信(2)

向日葵

たんぽぽ (14)

ダンデライオン

SUNFIOWER (2)

サン・フラワー

3フラワー

さくら (4)

さくらキッズ

桜の木の下で

サクラ咲く日まで

クローバー (3)

クローバー9

ハッピークローバー

四つ葉のクローバー

よつば

スイトピー

すずらん

なのはな

花(3)

花は咲く

Flowers

Tsubomi

あかかし

あすなろ(2)

アララギ

いちい

いちょう通信

すずかけ

つくし

たけのこ

わかば (5)

若葉

ふたば

わかくさだより

はやぶさ

ひばり

むつごろう

たいよう (9)

太陽 (3)

心に太陽

おひさま(4)

Sun

Sun Sun

さんさん (3)

SUN3

3sun 通信

サンシャイン(2)

SUNSHINE (2)

サンライズ

Rising Sun

ひだまり(4)

陽だまり

サニーキッズ

目指せ! Sunny 学級

風

そよかぜ

みなみかぜ

明日の風

明日への風

文の風

風を感じて

NEW WIND

青空

青い空

あおぞら(5)

あおぞら通信

あおぞらだより

大空 (3)

おおぞら

おおぞら通信

ブルースカイ

海の星

一番星(3)

いちばん星

スター (2)

スターズ

stars (2)

オールスターズ

銀河

シリウス

スピカ

六等星

虹(3)

にじ (5)

にじいろ(3)

にじいろダイアモンド 1 年 2 組

にじ色のクレヨン

なないろ(2)

にじっこ 虹のかけはし Rainbow (2) レインボウ/れいんぼう (2) レインボースペシャル レインボーキッズ

●笑顔をイメージしたもの

スマイル/すまいる(27) Smile(15) smile-50-スマイル 2 スマイル 7 スマイル 2 組 スマイル4年生 スマイルキッズ よこたスマイル スマイルだより

スマイル通信 スマイルフェイス スマイルパワー

スマイルパワー!ぐん

スマスマ~スマイル × スマイル

2-2 Smile 通信

ALL SMILE

The smile

Big Smile (2)

Happy smile

Happy Smile 〜助け合い協力し合って爆笑学級〜

Shining Smile

Smile·協力·Happy

えがお (23)

笑顔 (4)

えがおいっぱい(2) えがおいっぱい3年生

えがおがいっぱい

えがおでなかよし

みんなの笑顔

みんなえがお

みんな笑顔で☆Let's 5!!

いつも笑顔で元気です

100% 笑顔

笑顔 100%

笑顔で Go

えがお通信

笑顔の花

みんなやさしくえがおいっぱい

にこにこ (16)

にっこにこ(4)

にっこり (3)

にっこにっこ2・3年生

にこにこ 1 年生

にっこりにくみ

にこにこ丸 パート2

にこにこレンジャー

にこりん

にこにこえがお

にこにこキラキラ

にこにこさんさん

にこにこつうしん

にこにこ通信(2)

にこにこフレンズ

こんしゅうのニコニコ

ほほえみ(2)

あっはっは!

わっはっは

●クラスの和をイメージしたもの

なかよし (24)

なかよし通信

みんななかよし

なかよしいっぱい

なかよしスクラム

ともだち (3)

友だち

Friend (2)

Best Friends!

なかま(10)

な・か・ま

仲間 (3)

Buewos Amigos すてきななかま

つながるなかま

えいえんのなかま

なかまはたから

みんな

みんなをすきに

みんなのこ

みんな一生笑えるように

みんないっしょに

みんなではくしゅ

みんなで三組

みんなで GO!

絆(10)

きずな/キズナ(4)

絆 seven

ダイヤモンド☆絆

強い絆と心

日本一絆が強いクラス~クラスを一つに~

14歳の強き絆~一人はみんなのためにみんなは一人

のために~

手をつなごう

てをつなごう

つながる

つなぐ―時を越えて笑顔を―

団結 3A!

○年○組最強宣言

チームワーク(3)

チーム 4 年生

TEAM (2)

Team☆6-1

For the Team ~助け合え仲間~

Eースピリッツ

パズル

パズル~一つ一つが輝き、一つの絵に~

わになって(3)

1つの輪

わと輪と和

和・輪・わ!!!

わ

大すき (3)

だいすき

だ・い・す・き

もっともっとだいすき

ありがとう(4)

thanks

おかげさま

●クラスの合言葉や目標になるもの

チャレンジ(21)

チャレンジ GoGo

チャレンジ&チェンジ

チャレンジャーズ★

ちゃれんじゃー

トゥ チャレンジ

Challenge (6)

Challenger

挑戦 (3)

挑戦-Challenge-

挑戦者

挑戦 先輩らしく

チェンジ(3)

change ~変わらないために変わり続ける~

チャンス

chance!

Let's take a chance

トライ (3)

Try (3)

レッツトライ!!

Let's Try

レッツゴー!

レッツ GO

レッツゴー Go!

Let's 5!

さあ行こう

5 GO!

5 GO 5

GO! GO! GO!

ごー! Go! Great!

びっくりばこ GOGO

keep going

Just Keep going!

Go for it

Ready go!

ジャンプ (15)

JUMP (5)

ジャンプアップ

ホップ

ホップステップ

ホップステップジャンプ(4)

Hop step jump!

HOP Step Number 1! ~笑顔·協力·団結~

ホップステップスマイル

はじめのいっぽ (6)

はじめの一歩(4)

一歩一歩 (4)

いっぽいっぽ(3)

いっぽ、一歩

ONE ~一歩一歩~

いっぽずつ

いっぽ(3)

一歩先へ

一歩前へ

一日一歩

一步

仲間との一歩

ステップ/すてっぷ(5)

Step by step (4)

ステップ バイ ステップ (2)

step up (3)

ステップアップ(3)

Step

ステップ 21

A single step makes...

希望(3)

希望(貴望)

きぼう (3)

希望のタネ

Hope (2)

夢と希望

夢と希望の6年生

夢(3)

Dream (3)

夢チャレンジ

ゆめいっぱい (2)

夢いっぱい

かがやき (15)

かがやけ

かがやく!!

輝き (5)

輝く(2)

輝け!3組 sunshine

輝け3年みんなが主役

輝け!スマイル☆11人の深い絆☆

Shine (2)

げんき (3)

元気(2)

げんきっこ(3)

元気玉

げんき玉

みんな元気

元気はつらつ

元気いっぱい

元気です!

きょうも元気!

きょうもげんき

すぅぱぁげんき

げんきな子

がんばれ元気組

明るく、楽しく、元気よく

元気、勇気、感謝、笑顔

やる気いっぱい笑顔いっぱい元気いっぱい

すこやか (2)

すこやかに太く

はつらつ

前進(5)

前進~昨日より今日、今日より明日へ~

ぜんしん

全員、全力、全進

前を向いて

いまからここから

いまを生きる

はじまり

Full power

120%

がむしゃら

しゃかりき

いっしょうけんめい

自己ベスト

熱くなれ

どすこい! 3A 親方~横綱級の存在感と包容力で~

天までとどけ(2)

天空に手をかけろ

共に高みへ

てっぺん (2)

TEPPEN

テッペンとるどー

日本一

ふじ山

●成長や未来をイメージさせるもの

ぐんぐん (12)

ぐんぐん!2年生

たけのこぐんぐん

ぐぐっと2年3組

のびのび (5)

すくすく(5)

すくすく通信

おおきくなあれ(2)

大きくなあれ

大きくなあれ通信

伸びる

はばたき(3)

はばたけ!三年生

はばたけ!白鳥

つばさ (3)

明日に向かって

そして未来へ…

未来の扉(2)

●語呂がよく、覚えやすいもの

いきいき

いきいき 1組(2)

かちかち

きらきら/キラキラ (15)

キラ☆**キ**ラ (3)

Kira Kira

きらっきら

キラッと!

きらり/キラリ(14)

きらり 3-2

キラリ、光る

きらら

きらきらぼし

きらきら星

きらぼし

きらきら光る

きらきらあおぞら

煌き

きらめき (2)

光れ

ひかり

どきん

どきどき☆どーん

はればれ

ぴかぴか (3)

ぴっかぴか

ぴかぴか一組

ぽかぽか

ぽっかぽか (3)

ぽっかぽっか(2)

ぽっかぽっかでただいま ポレポレ

まんまん

もえもえ通信

ランラン

りんりんと

るんるん♪

ワイワイ通信

わくわく (7)

わくわくいちねんせい

わくわく一年生

わくわくにこにこ4の2

わくわくもりもりにこにこ

わくわくふぁいや一ず

あっぷっぷ

ぐーちょきぱー

このゆびとまれ

あのね

ただいま(3)

ひとつひとつ

ほんわか(3)

わっしょい

のろりん

てんこもりもり

ざっくばらん

そのまんま

ぐりり

あいうえお

いろは

●四字熟語

一期一会(10)

切磋琢磨(4)

百花繚乱(3)

不撓不屈(2)

一生懸命(2)

一所懸命(2)

一笑健明

一笑謙明

一命懸命

一意専心

一致団結

威風凛然

英姿颯爽

桜梅桃季

花鳥風月

喜努愛楽

好球必打

三位一体

七生報友

昇龍奮起

進取澄明

真剣勝負

晴耕雨読

青天白日

全員集合!

全力疾走

天真爛漫

点滴穿石

二人三脚

百万一心

不言実行

凡事徹底

勇往邁進~虹~

輪輝愛逢

和衷協笑

●一文字

志 (2)

窓(2)

道(2)

礎

ιĽν

想

種 翔

力

光

瞳 拓

結~ゆい~

希 (まれ)

羊

π

●二字熟語

飛翔 (4)

満望(2)

青竹

鉛筆

感謝

喫茶

光華

考動

克己

疾風

心動

専心

全力

大志

任侠

飛躍

邁進

真心

夢進(むしん)

陽光

●三字熟語

向上心 (2)

覚醒魂

紙風船

燦然輝

守破離

心・技・体

伝言板

飛行船

無限大

無限大∞

夢限大

夢友光

孟宗竹

羅針盤

●マンガ・アニメ・テレビ番組等にちなんだもの

ワンピース(2)

one piece (2)

アンパンマン

365 歩のマーチ

進撃の2年生

ドラえもんのポケット

どれみふぁどん!

勇気 100%

●輝く個性

十人十色(4)

十人十色~混ざれ 13人の力~

十一人十一色

16人16色

22人22色

色えんぴつ

色鉛筆

色鉛筆~一人につき一つの color ~

canvas

colorfull (3)

ハーモニー (9) ハーモニー〜みんな違ってみんないい音〜

はあもにい

Harmony (4)

ひびき

響き

みんなちがってみんないい

みんながたからもの

宝物

たからもの

たから

たからばこ(2)

たからじま

総持ち

●クラスの人数にちなんだもの

32 の瞳

五十四の瞳

二十八の瞳

35hearts

25 progress

八重の34(三銃士)

ゴーゴー11

クリエーター 24

なまか32

Team22

YDK32

41 子つうしん

28分の1

●英語

Accumulation

Action!

ACTIVE

Adjust

Advance

Amigo

Amile

Assist

Be ambitious!

Believe in Yourself!

BFST!

Brave

Bright Heroes

Climax

Concerto

Connect

COSMOS (2)

create

DASH (2)

Do! Do!! Do!!!

DOOR

Do your best

EPIC

For You (2)

FRIENDSHIP

HAPPY (4)

HAPPY 2-2

Happiness (2)

Heartful

HERO

Independence

Keep Walking

Let's do our best

Lucky Days

My Road

one self

ONLY ONE

 $PK \sim Powerful Kids \sim$

pure

roughーラフー

spark

Sparkle!

Story

Success!

Take Off

The last season

TIME OUT

Together as us

Tomorrow

Trumpet!!

Try to be the only one.

Weekly Llfe

Win-Win ~ 12 人全員が勝者になろう!~

Yes, I can!

Yes! We can.

vou

You can do it.

●カタカナ英語など

アクセル

アシスト!

ア・ラ・カルト

エール (2)

オアシス

オンリーワン

グッジョブ(2)

クリエイト

サムデイ

ジグソーパズル(2)

じょいふる!

ジョイナス!

スイッチオン

すとろんぐ

スパート

ダッシュ

トライアングル (3)

ニュースブライト

ハッスル (2)

ハッピー (2)

ハッピー☆

ハピネス

パワーアップ (2)

パワフル (2)

ピース

ビューティフル

ビリーヴ

ファイト

ファイト一発

ファンタジスタ

プライド

プレミアム

プロセス

プロミネンス

ポッシブル

ミラクル

メロディー(2)

ルート

ループ

●方言、地域名、学校名等にちなんだもの

あずましい

榎魂

おらほの学級

SHIMOKAWAGUCHI 2015

スカイツリーフレンズ

てだのふあ

なだっこ

なんくるないさー

ひきとおし (郷土料理)

日向

ふなっし一クラス

われら八重小サブリーダー GUTS!

●語呂合わせ、言葉遊び、流行語等にちなんだもの

1183 (いいやつ)

1年3組学級通心

楽級通信 TEAM SHIN!

くらすくらす

元六時代

笑進笑明

大胆不定期 大沢中学校3年3組学級通信てつかだ

より「翼」

団GO屋

10才(てんさい)

日本一の常識・常笑・上昇~ Thirty – One ~

ぼうけんじゃー

3んなが2っこり新聞

●食べ物にちなんだもの

赤林檎诵信

おでん

おにぎり

カルシウム

こんぺいとう

サラダボウル

すきやき

たこやき

たまご

とんかつ

バームクーヘン

みかん通信

●スポーツにちなんだもの

スタート スタートライン(2) ゴール ナイス・シュート イレブン キャッチボール Catch Ball ノーサイド よーいどん!! エース Button Half Time スクラム/すくらむ(11) One for all, all for one (6) all for one (2) ALL for ONE ワンフォアオール

●担任の名前にちなんだもの

ウド・せんせーションズ 大野通信 がんばり RiNa のぞみ学級通信 のりこえ〜る3年生 のりっこ ふくだより Hotta Special よっし一通信

●ことわざや教訓など

藍より青し 麻につるる蓮 団結は奇跡を呼ぶ 念ずれば花ひらく 花よりも、花を咲かせる土になれ 本物は続く、続ければ本物になる!

●ほめ言葉

いいね! (3) あっぱれ きみならできる ドンマイ ドンマ〜イ はなまる (2) はなまる Friends 百点はなまる まる。 まんてん (3)

●クラスの記録・軌跡

あしあと(5) 2 くみのあしあと 歩み(2) あゆみ(2) きせき/キセキ(3) 3-B のキセキ

●その他

あくしゅ(3) ねっこ (2) ステキ通信 てじな通信 らぐぼう日記 タイガース通信 ことばの教室だより 天才万十レベル 10 さん いのち かなめ き・ず・き しるし じとべ せれん できた ともす ねごこ まきた みなほ やかぜ りぼん あいのて きっちり ぐり★ふる ことのは つづける まごころ まっすぐ めざそう もんこも わかとら おもいやり きわめっ子 のひゆかん ぽぽんた2 みちしるべ みつけたよ みっつけた めぐりあい ゴゴゴゴ

動く!

愛の花

青き炎

架け橋

その時

勇と藍

心~こころ~♡

COCORO

うれしい気持ち

合いことば

小馬さんと馬せん人

こだま films

自分の言葉で

そらとび~ねがいはきっとかなう!!~

尊敬できる人に…

伝説の HEROES

旗ものがたり

めざ6

ザ☆キム

2いきらり☆

3-1 Tube

4(For)STEP

4シーズンズ

EIGUMINOOTO

tutti

YDC

募集制

子どもの好きな言葉

児童に決めてもらいかえています

毎回変更

【学級通信・中学校】

●動植物や自然をイメージしたもの

ひまわり (9)

たんぽぽ(8)

たんぽぽ通信

ダンデライオン

さくら (2)

CLOVER

なずな

ひなぎく

フラワー

花咲き山

花さき山

大輪

いちょう

オレンジ

なしの木通信

ぽぷら

南天

ゆずり葉

いなほ

若葉(2)

わかばだより

若木

若竹

ふたば

サルビアのつぼみ

Bocciolo (イタリア語で「つぼみ」)

あひる

かたつむり

ジンベイザメ

ひよこ

たいよう(2)

太陽の子

いつも心に太陽を

おひさま(5)

おひさまぽかぽか

お日さま

さんさん

サンサンサン

サンサンニコニコ

sun sun な毎日

ライジングサン

ひだまり(5)

陽だまり

ひなた

そよ風

そよかぜ

春風

はるかぜ

青空

あおぞら

晴れたらいいね!!!

あかつき

銀河 (3)

一番星

シューティングスター

スター☆7

ポラリス

流れ星

流星群

六連星

にじ

レインボー (2)

●笑顔をイメージしたもの

スマイル/すまいる(17)

スマイル通信

スマイル・UP

スマイルチャレンジ

Smile (6)

Smile ~えがお~ Smile & Smile Happy Smile

笑顔(4) えがお(2) えがお33 えがおまんかい えがおいっぱい1年生 えがお・げんき1-4 えがおでぐんぐん えがおをやる気2ねん2くみ 笑顔、元気、夢一つなぐー いつも笑顔で元気 笑った顔

にこにこ(8) にっこにこ(2) にこにこセブン にこにこ Happy!! にこにこ 1 組 にこにこ 2 組 にこにこ TIMES ほほえみ~青空~ ほがらか 恵比寿様 ゲラゲラ rainbow

●クラスの和をイメージしたもの

なかよし(10) なかよしあくしゅ みんななかよし なかよし物語 なかよし BOYS 仲よく元気に楽しんで ともだち(2) Best friend なかま(3) なかま×2↑ 仲間(なかま) 仲間と団結 仲間、全力、協力、絆=1-C

みんなで みんなでいっしょに みんなあったか 絆(5) きずな(4) つながり つながる1の3 TEAM チーム3・4年 チーム2☆5 チームワーク(3) ハーモニー(5) ひびき 四重奏(カルテット) オーケストラ(級訓) ひとつ屋根の下 心を一つにする合言葉「せ~の!」

わ 和 輪 輪和話 WA わ WA! final Ring カラビナ

だいすき (2) ありがとう (3) おかげさま (2) おかげさん あくしゅ

●クラスの合言葉や目標になるもの

チャレンジ(6)
Challenge(2)
CHALLENGE 〜挑戦〜
CHALLENGE & CHANCE
優しくチャレンジ本気でチャレンジ 挑戦(2) 挑戦〜チャレンジ〜 トライ やってみる

Let's go! レッツ GO! 5 ジャンプ (4) JUMP (2) 1、2、ジャンプ

いっぽいっぽ(3) 一歩一歩 step by step はじめのいっぽ(3) はじめの一歩 踏み出す一歩 歩み(2) 歩み〜ねだるな!つかみとれ! もっと遠くへ 前へ まえへまえへ ステップアップ

かがやき(3) かがやき通信 かがやく 2 年生! 輝け

シャイニング

SHINE

ひかり (3)

元気 (2)

げんき

元気いっぱい(2)

元気大切!

はつらつ

げんきはつらつ

げんき、えがお、やさしさ、いっぱい

楽しいのびのびクラス〜笑顔・元気・協力〜

元気いっぱい、笑顔いっぱい、パワフル5年生!

元気と笑顔

元気勇気やる気

やる気スイッチ

がんばるっコ

がんばりっこ

ガッツだぜ!

加油2(中国語で「頑張れ」)

きぼう

まえむき

つらぬく

ZENSHIN

富士山

てっぺん

イチバン

No. 1

天までとどけ 1・2・3!

●成長や未来をイメージさせるもの

ぐんぐん (4)

ぐんぐんのびろ

ぐんぐんぐん

ぐん!

のびのび (3)

のびる

のび一るくん

すくすく

すこやか

明日への一歩

未来へ(3)

未来への一歩

Mirai 1 号

ゆめのにじをわたって

はばたき(2)

はばたけ

●語呂がよく、覚えやすいもの

あいあい

いきいき (2)

ウキウキ

キラキラ/きらきら (12)

きらきらぼし

きらきら3組

きらきら☆スマイル

キラキラ SMILE 2-7

きらきらキッズ2

キラキラセブン~感動のフィナーレ~

キラメキ

キラリ/きらり(3)

キラリ☆青春☆6 組

きらり 1 組

スイスイ

ぴかぴか

ぴかぴか1の1

ふかふか通信

ふわりん

ポカポカ

ぽかぽか

ほっかほか

ポレポレ (2)

めらめら

わくわく (4)

わく×2

わくわく にこにこ

らんらん通信

るんるん

むすんでひらいて

じゃんけんぽん

いちにのさん

どれみ2の1

えいえいおー!

せーの

ファイトオー

ケセラセラ

●四字熟語

一期一会(3)

一期一会~出会った仲間と悔いのない一年を~

切磋琢磨(3)

威風堂々(2)

遮二無二 (2)

一球入魂

一生懸命

一心精進

一致団結

五転八起

実践躬行

初志貫徹

新健笑舞

前進家族

全力投球

●一文字

●二字熟語

希望(3) 一一選気原散燦心展 である点歩 塚心展 でなんさん である。

成青前善全団道珠春進心力結標

道標~ミチシルベ~

本気 魅力 黎 和協

●三字熟語

交差点

深呼吸 心信進 本気力 友・勇・優 友・優・遊

●マンガ・アニメ等にちなんだもの

おでんくん TOY STORY 2-1! アンパンマン べいまっくす

●輝く個性

十人十色(3) いいとこたくさん イイトコメガネ 1ー4〜無限にあるよ君のいいと こ、みんなのいいとこ〜 いろいろ〜十人十色〜 ナンバーワンよりオンリーワン One Way みんながワンダフル からーず

●クラスの人数にちなんだもの

42 の瞳 情熱大陸~31 人の戦い~ 元気はつらつぅ?スマイルレンジャー41 32 人の仲間たち 35 人がゆく!

●英語 ACTION (2) Be vourself! ~あなたらしく~ BEST+~最高の1年をともにすごそう~ Bloom brave Brillamte・ゴスペル・SAKURA **CANVAS** Colorful Colorfull ~彩り~ cosmos **CREATE** Dear DIAMOND Do My Best! **DREAM** Energy Engine

ENJOY FIGHT! 3-1 Fly High! For you GO! GO! TRAIN Good Job (2)

GROW

GROWTH

Guts & Peace

HAPPY

Happy Stories ~たいやきの具の力~

Harmony (3)

2組の Harmony

Heart on

HERE WE 5 (2)

HEROES!

High-Five

HOME

HOME ROOM

HOP

Hop step jump!

Infiniity (2)

JOY

Just do it

LEGEND

No Limit!!

ONE

One direction

Our Song

Power of dreams

PRIDE ~プライド~

Progress

Revolution21

ROUTE ~ルート~

Seize the day ~今を生きる~

SENSE OF WONDER

Sketchースケッチー

SOWING

Splash!

star

STAR BOW

START

Symphony

Thank you! ~いつも笑顔で「ありがとう」

The final year of elementary school

TRUNK

Warm & Bright Heart

we are Heroes!

Weekend 7&7

Wings

With you

WONDER

Yell

You can do it!

●カタカナ英語など

アタック3年生

イーハトーブ

ウィークリープラン

ウルトラレジェンド

エンジョイ

ガッツ

カラフル

グッドラック

スタートライン

ダイヤモンド(2)

ちゃんぴおん

トライアングル

ドリーム

トレジャー

ネットワーク

ネバーギブアップ

パズル

はっぴい

ハッピーターン

ハッピーニュース

ハピネス

はぴねす

パワーアップ

パワフル

パワフルパワー

ピース (2)

ぴいす

ビーナス

ヒーロー

プラス

フルスイング

プレゼント

フレッシュ 13

ぽこ あ ぽこ

ランナー

リバーサイド

レジェンド

ワン・ツー・どん!

●方言、地域名、学校名等にちなんだもの

おがれ

かでる

ガマだしもん

なまらパワー!! 2年8組

ぼちぼちいこか

●語呂合わせ、言葉遊び、流行語等にちなんだもの

あいうえ0K!

151Aーイチゴイチエー

—期 1 A

1-3代目 AYR Brothers

エスカル GO

緣 JOY

顔晴れ

こもび A Common Best

ごりまっちょ

3SHINE 創志想愛 チャンスの神様 ほっとライン みしのたくかにと ロクネンジャー

●食べ物にちなんだもの

いただきます! おあげ じゃがいも(学級目標) たこやき 煮しめ ぶたじる(学級目標) ほうれんそう わかめ

●スポーツにちなんだもの

One for all, all for one (2) one for all そして all for one スクラム組んで スクラム 15 はっけよい

●担任の名前にちなんだもの

うめだより 小原塾 とざわん家 hamady's メモ ひなこぼっこ

●ことわざや教訓など

やればできる(2) あきらめなければ必ず道はある 後を見るな!前も見るな!今を見ろ! 継続は力なり 桃栗三年柿八年 山あり谷あり 笑う3組福来たる(学校目標) 我以外皆我師也

●ほめ言葉

はなまる (2) はなまる 4 組 いいね いいね! まんてん まんてん 3 年生 YD1 ~やればできる 1 組~

●クラスの記録・軌跡

あかし あしあと キセキ 道のり メモリーボックス

●その他

あいのて(2) こころ (2) 気まぐれだより 桜坂通信 さくら組だより 天晴れ 天晴新聞 まっしろ通信 ホワイト通信 ことばだより 今週の2年4組 今日の4の1 九年生(小中一貫校) あと一年大切に、、、。 小さなアップ また明日 たから たからじま 宝箱 架け橋 かけはし はなたば ひろば ひらけ 今を生きる いまからここから 毎日が記念日 ☆足音~ Be Strong☆ くさび 根っこ 自分から ひとつ まごころオルゴール マクド め~ちゃん きいろいぼうし 海の子 かたちのない贈り物 それ大事! じょうねつのばら これでいいのでは? はっぴーばーすでー 水はゆく

努力の水

透明な水

いずみ

ぐう

にらめっこ

ニライカナイ

ミチシルベ

ミエナイカ

1 bee.

エステル (クラス名)

エリヤ

イザヤ通信

サムエルだより

MOANA

RTG

HOKULAN1

ETOK

WEB

TAME

「○○○育て」など

生徒に書かせている

生徒が決める

年の学級目標

毎回変わる

【学年通信・小学校】

●動植物や自然をイメージしたもの

ひまわり (21)

サンフラワー

3フラワー

たんぽぽ (19)

クローバー (7)

四つ葉

みつばだより

あさがお

さくら

なのはな通信

ひなぎく

ライラック便り

フラワー

あすなろ (2)

いちょう

つくし (3)

つぼみ

たけのこ

どんぐり

わかば(6)

若葉

つくしんぼ (3)

ひよこ

たいよう (9)

太陽(3)

太陽サンサン3年生

おひさま(8)

お日さま

お日様ぽかぽか

サン

サンサン(2)

SUN SUN

サンサンサン

3 SUN 太陽

SUN 桟 3 年生

SUN サンハート

サンサンスマイル

サンシャイン (5)

3シャイン(2)

サンライズ

3ライズ

ライジングサン

さわやか SUN ひだまり(6)

そよかぜ (2)

そよ風

はるかぜ

あおぞら(8)

青空(4)

おおぞら (2)

cielo

にじ (3)

にじいろ(3)

虹 (2)

虹~心の架け橋~

レインボ (3)

レインボう

レインボスペシャル

銀河(2)

ORION

キラ星

Meteor Stream

流れ星

●笑顔をイメージしたもの

スマイル/すまいる(41)

SMILE (3)

Smile

スマイル3年生

スマイル4年生

もっとスマイル

スマイルパワー!ぐん

スマイルフェイス

SMILE -スマイル-

ALL SMILE

えがお(27) えがおに 笑顔が E-4 年 笑顔がいっぱい 3 年生 えがお・げんき えがおいっぱい 1 年生 えがおきらり みんなえがお みんなやさしくえがおいっぱい げんきいっぱいえがおいっぱい

にこにこ(19) にっこにこ(2) にこにこえがお にこにこきらり みんなにこにこ にこにこレンジャー にこにこ通信 にこびょんだより ほほえみ わっはっは(2) ゲラゲラ

●友だちの和をイメージしたもの

なかよし (48) なかよしクレヨン ともだち(8) フレンド(2) フレンズ Friends Friendship (2) フレンドシップ ステディー Hand in hand (2) 友情 なかま (19) 仲間(3) なかま×2↑ つながるなかま つながり (2) えいえんのなかま ファミリー

絆(6) きずな(4) kizuna きずなの木 チーム 5 チーム 5年 チーム 6

ハーモニー (12)

Harmony オーケストラ 響き ひびきあい たすけあい こころあわせて WA!! わになって(2) わになろう あくしゅ(4) ありがとう(4) Thank you!~いつも笑顔で「ありがとう」 ムルツメスク かんしゃ 大すき (2) だいすき (2)

●学年の合言葉や目標になるもの

みんなをすきに

みんなあったか

あったかハート

あつまれ!! 4年生

チャレンジ (29)
チャレンジ!
Challenge (3)
CHALLENGE
challenge more
チャレンジ 3 年生 (2)
チャレンジ4年生 (2)
チャレンジファイブ
チャレンジャー (2)
チャレンジ&チェンジ
変化・挑戦
チャレンジ チェンジ
チェンジ (4)
change ~変わらないために変わり続ける~

トライ (3) トライ! レッツトライ Let's try! Let's 5 Let's try! レッツトライ!!

GO! (2) GO! GO! GO! (2) GO! GO! 5! (2) GO! GO! 5 年生 (3) GO☆ゴー☆5年生 GOGO ファイブ ゴーゴー6年 GO! GO! 通信 Let's GO Let's 5 レッツゴー (3) レッツ5 レッツゴー5 Let's GO 5 ★ レッツ GO! 5 レッツゴー 2 年生 Ready GO! みんなで GO! マッハ GOGOGO! GO ahead Going

ジャンプ (12)
JUMP (4)
ジャンプ! (3)
ジャンプアップ
ジャンプUP
ホップ・ステップ・ジャンプ (4)
Hop step JUMP (2)
明日へジャンプ

いっぽ 一歩 いっぽいっぽ(2) いっぽいっぽ 1 年生 はじめのいっぽ(13) はじめの一歩(3) すてきな一歩 あきらめない一歩 Step by step(2) ステップ (4) ステップアップ (4) STEP UP ホップ! ステップ!

かがやき (24) 輝き (4) 輝き輝け Shining 輝

ホップ (2)

元気 元気!! げんき(3) 元気いっぱい(2) げんきいっぱい2 元気いっぱい2年生 元気っ子 げんきっこ ハイ!元気です はいっ、元気です! 明日も元気 明るく、楽しく、元気よく あかるくやさしくつよい さわやか さわやかやわらか

パワー パワーップ (6) フルパワー パワーふる

ファイト (4) 気合い ガッツ 全力ガッツ 全力プレー やるときはやる 熱くなれ 夢中になって 本気だましい3年 躍進 4 年生 完全燃焼~この一年やりきる!!思いのこすこと はもうない~ 自信、前進、そして躍進 Aggressive

●成長や未来をイメージさせるもの

ぐんぐん(22) ぐ〜ぅんぐん ぐんぐんだより たけのこぐんぐん

のびのび(4) のびのび一年生 のびっこ のびるひかりの子 のびよ のびる すくすく(6) すこやか(2)

おおきくなあれ(6) つばさ(2) TUBASA はばたき(9) はばたけ 17

ゆめのとびら ゆめれっしゃ 夢機関車 きかんしゃ 夢と希望 きぼう (2) 光の子 ひかり

みらい

みらいへ 未来へ そして未来へ… Future あした トゥモロー 明日への風 明日に吹く風

●語呂がよく、覚えやすいもの

ずんずん(2) きらきら/キラキラ(17) きら☆きら きらっきら きらきらろる きらきらろる きらきらろをもうまかよし きらり/キラリ(10) きらり☆4年生 きらりん きららら キラッと! きらめき(3) キラ☆にこ

わくわく (11) わくわく通信 わくわくげんき わくわくにこにこ わくわくふぁいや一ず わくわく二年生 わくわく 3 年生 ルンルン どきどき

びかぴか/ピカピカ(2) ぴかぴか 2 ぴっかぴか(3) ぴかっと/ピカット(2)

ぽかぽか (2) ぽかぽか太陽 ぽっかぽか ふわふわ あいあい

いきいき VI もっといきいき はなまる (2) あいうえお いちにサン いちにのサン ワンツー 3!! わっしょい ドッコイ笑

●四字熟語

一期一会 一日一善 七転八起 日々是新 上昇気流(2) 勇往邁進 百花繚乱 以心伝心

●一文字

力道礎響光煌極凛扉心へ

●二字熟語

希望 (4) 前進(3) 朝風 漸進 飛翔(2) 飛躍 満点 楽笑 鼓動 草心 足跡 大樹 大地 道標 道標~ミチシルベ~ 挑戦 競争 夢進(むしん)

●三字熟語

大黒柱 夢限大 飛行船 守破離 新・信・進

友・優・遊(2)

●マンガ・アニメ・テレビ番組等にちなんだもの

ワンピース ぼうけんじゃー

●輝く個性

十人十色(2) なないろ みんなちがってみんないい 自分は自分の主人公2 主人公 スター STAR オールスター

●学年の人数にちなんだもの

十一人十一色 SUN シャイン 41 79 の笑顔輝く YGK98

●英語

Adventure
Be Great Thinkers
Believe (2)
Believe over yourself!!
BRAVE ~挑戦~
Bright Heroes
Concert
Do my Best!
Do your best!
Dream

FINE Four Star GOLD grow up

Engine

GUTS!

Hope

Independence Just do it!

Let's Begine

LIFE

NEVER GIVE UP On your mark (2)

peace PEACE piano PIECE Ring
Shine
SMART
spark
Splash!
Trumpet!!
Try! For yourself
up
Voyager
YELL (2)

●カタカナ英語など

Yes, We can.

アレグリッシモ カウントダウン クライマックス ゴール (2) サクセス ジグソーパズル(2) スキップ(3) スピリッツ スプラッシュ ダッシュ (3) トライアングル (2) ドリーム (2) ドリームキッズ ネバーギブアップ パズル ハッピー ハッピーニュース ハピネス (2) ハミング パレット (2) ピース ビリーブ メロディー

●方言、地域名、学校名等にちなんだもの

なんくるないさー おらほの学年

●語呂合わせ、言葉遊び、流行語等にちなんだもの

和気♡愛 わんだ4 元六時代 スゴ6 スクラ6 V6 楽年通信 か

楽年通信 かがやき

笑進笑明

●スポーツにちなんだもの

キャッチボールスクラム(19)

One for all, all for one (3) 1 for all all for 1 ワンフォアオール All for one All for one,One for all ワンオール オールフォーワン ワンフォーオール フォー♡オール

●その他

3年かわらばん 3サンだるま 晴れ晴れ3年 4you For you(2) tensai!

10 さい(てんさい) 10 さい学年通信

吾輩は5学年通信である

5 for it! 玉五通信 桜坂通信 翼組通信

鷹丘魂

アシストバッチリ6年生

やる気満々六年生 要六年

かなめ 旅立ち 藍より青し

お一い、ぽぽんた

天才万十レベル 10 あしあと 虫めがね

水はゆく

さかだち かぼちゃのつる

ぶどうのき ハレルヤ

てんこもり SAM

あ・じ・じ

きいろいぼうし

ランドセル (2) くれよん

いずみ

わかとら

お助けマン

9秒87

たから たからじま みっつけた ぐう すなお みのり みかん しるし あいがいっぱい 心を磨いて TEPPEN (2) かけはし ほっトライン きわめっ子 WITH だより まっすぐ めざそう

【学年通信・中学校】

●動植物や自然をイメージしたもの

た桜 サあーつぎ竹かとあ春あ青すばで りしつぼ竹かびさ風お空ばでかがさく (2) (2) (2)

●笑顔をイメージしたもの

ほほえみ スマイル SMILE SMILE 笑顔 輝けスマイル

Rainbow

●友だちの和をイメージしたもの

仲間 なかま 仲間とともに 仲間の幸せ はらから 友情・努力・ファイト Friendship side by side E- スピリッツ 絆(3) kizuna 絆・きずな 絆 KIZUNA きずな 人・時・絆 つなぐ (2) チームワーク

心を一つに

ハーモニー

コンチェルト

協力、前向き、笑顔~仲間想いの 108 人!!~

●学年の合言葉や目標になるもの

チャレンジ(3) チャレンジャー 挑戦者たち

ホップステップジャンプ(3) Hop step jump! (3) HOP (2) ステップ(2) 進取一ジャンプ Jump

—歩

はじめの一歩 1年学年通信はじめの一歩 一歩一歩 ステップ バイ ステップ Step by step (2)

ちからこぶ 全力投入 真つ向勝負

輝 かがやき 輝き (4) かがやき (3) SUNSHINE Shine

前へ

一歩前進(2)

前進~昨日より今日、今日より明日へ~ **ADVANCE**

アドバンス 今ここ

いまから。ここから

優&友&勇

気づき・考え・行動できる KNG 通信~考えて行動する学年~ ファイト〜自立・友情・大志〜 「Y·D·G」やれば できる 学年 後を見るな!前も見るな!今を見ろ! 「ハイッ」と答えて大きな声で 正義で三学年を守り愛で三学年を包む 雨二モマケズ (3)

●成長や未来をイメージさせるもの

すこやか 伸びゆく心 Tomorrow 明日かがやけ! 明日に向かって 明日に向かって突っ走れ! 夢に向かって(2) 未来へ 未来に向かって! 未来予想図 Dream 夢の扉 扉を開けて 翼を鍛え つばさ (2) 新しき世界を望む

●語呂がよく、覚えやすいもの

きときと ドキドキ いちにのさん ABCD

●四字熟語

山紫水明 切磋琢磨 麟子鳳雛 勇往邁進 初志貫徹 凡事徹底 一笑謙明 不言実行 啐啄同時 一期一会(3) 英姿颯爽 一念発起 正々堂々 桜梅桃李

●一文字

心

達

和

続~ continue ~

新~土台作り~

海

風 (2)

想

繋

天

翔

歩

道

夢

輝結

七〇

●二字熟語

挑戦 (2)

挑戦~ positive try~

飛翔(2)

啐啄

希望

進化 中堅

清流

真心

最高

前進

離陸

団結

情熱

共創

●三字熟語

向上心

団結力

守破離

花信風 明日檜

結団力

青写真

羅針盤

燥然輝

●輝く個性

COLOR—自分色、みんな色

三人三様

十人十色

主人公

●英語

Amigos2年

Bridge ブリッジ

CANVAS

Diamonds

Do the Best

DREAM

Elegante-エレガンテ -

Energy

Fair Play

Flap

Fresh!!

Growth

Imagine the future

JUMP

Let's

LINK

PRIDE (2)

Radiance

Teenage Walk

unlimited 〜無限の可能性〜

Way

with Pride

Yell

Young leaves

●カタカナ英語など

カルシウム

グランドライン

トライアングル

ピース (Peace)

ポジティブトライ

リスペクトアザーズ

レジェンド

●方言、地域名、学校名等にちなんだもの

よみなっせ

みかん通信

星降る丘

めざせ! ATAGO!

TOYOMA 55

ぼくたち ひがし一ず!

TEAM 桜川

nishiwaki

AOBA 通信

●ことわざや教訓など

継続は力なり

千里の道も一歩から

●スポーツにちなんだもの

サムライブルー スクラム(3) SCRUM スタートライン(2) スタートダッシュ

●その他

あおぐも あしあと おたより かけはし こだま せんたく ひだまり(3) ほとり まごころ まほろば みちしるべ(2) やさしい やさしさブロック通信 学年だより 30th 学び舎 春の時代 15歳の階段

一流であれこの道我が旅一期一会は CHANCE いち期一会野に咲く花のようにSHAN44

募集制 毎年の学年目標と同一

【学校だより・小学校】

●動植物や自然をイメージしたもの

アあささ山栴せはひやカじぎく桜檀んまままかさそら

ユーカリ

わたぼうし みどり みどりは萌えて ときわ(2) 若竹 ほなみ (2) 伸びる若木 あかまつ(2) おがたま かしわ きささげ くすのき (4) けやき だけかんば たちばな たぶの木 とちの木 プラタナス(2) ポプラ ユリノキ ゆりの木 若松 若杉 ひしのみ 年輪 こだま(2) やまびこ (2) 白鳥 しらとり やまばと わかあゆ さやかぜ 潮風 はるかぜ 南風 緑の風 みどりの風(2) みなみかぜ あおぞら やまなみ 砂丘 岬 清流 せせらぎ(2) みずうみ 海原

●友だちの和をイメージしたもの

愛いっぱい きずな きづな

北極星

いちばんっぼし

ただいま ともに(2) 共に生きる ひとつ まごころ

●学校の合言葉や目標になるもの

夢・ふるさと・真向かう心 夢に向かって スマイル アンド チャレンジ チャレンジ&ありがとう やさしくたのしくたくましく 花いっぱい本いっぱい歌いっぱい げんきいっぱい すこやか いきいき (2) かがやけ かがやき らしく ビタミン 仁の庭

●成長や飛翔をイメージさせるもの

つばさ はばたくつばさ 夢もつ子 宇宙の子

ためしてガッテン

●四字熟語

和顔愛語 白砂青松 日毎月毎

●二字熟語

希前自鼓耕共大麻心創望進啄動心育志蓬樹尽

●学校名等にちなんだもの

葵 赤見っ子 あさひくん、にしこちゃん 安和っ子 いいね!八幡 いきいき明るい中川っ子 いきいき神小だより いきいき亀岡っ子 いきいき きしいち いきいき黒田の子 いさのこ 石垣っ子 石鉢っ子 いそっこ 石見原 いわさき 岩瀬っ子 応其の風 おおはさま 大宮っ子 大屋島 小川っ子だより 带西 power I かがやく南っ子! かがやけ中部っ子 かみつ かみにし 学文路っ子 ぎおんばら 木次っ子の四季 木花っ子 紀見っ子 キラリ輝くおともの子 こいせだより こころざし 五代の子 五町田っ子 琴の海 吾北の子 さかえっ子 さわやか東谷 さくらえっ子 さくらっ子(2) 塩っ子だより さたけっこ **GKA News Letter** しおたばし 志田っ子 篠っ子だより 城北っ子だより 菅生の子 すざくら 大塔っ子だより 高倉っ子 武の子 たちばな 32 多良っこだより

愛宕原

たるみのこ チーム玉幡 つくばね 照小っ子 ときひがの子 ときわ 息栖の風 戸田っ子 中いずっこ よーいどん! 西田びより 西浦っ子 西の風 西の子だより のびのび榎木 浜っ子石田 原っ子だより 東っ子 東っ子だより ひがなかの子 引小の風 ひこべっこ 広っ子 ふじさと 藤小の風 双葉っ子 馬木の子だより 誠 まちろく 三日月っ子 みずきっ子 みどり通信 みどりの子 三輪+ 有仁の風 夢・学び・心・くしがはま 若芽・花田っ子 Watara win 90 (数字は児童数)

●地元の地名や歴史等にちなんだもの

麻あ葦姉天あ石五いうお亀教輝く野しの川霧ゆ積十ぶましが成葉りのつ葉のう鈴きのえ丘館台みの子のせばいるといいないのである。

栗山台 けやきっ子だより こうのやま こすもすろ~ど 御前山 こだまが丘 ごへんち さひめ 志津っ子だより しなねの森 しんみや 新宮の杜 杉谷っ子 静修 大丸目山 たかんぼう 津持ヶ丘 鶴ケ峰 てんじん とみやま 長瀬だより ななさと 鳴瀬 のらどけい はちの子だより 早池峰 藤ヶ瀬 ふっと 望海岩 保和 ほんざか道 舞岳おろし みどり野 みなが みよし 八沢の丘 蓬田岳 ろっこうし わくたま わっくつ

●その他

かけはし(10)校長室のありを変ありあいまながまながまながまがあいまながまがらいの子の子の子の子の子の子の子がだよりがにはいる。

児楽の森

大楠

ヴェリタス

れいめい

まほろば

わかばしら

ひかりのにわ

いがだ

田ぶくろ

ほくほく

なんじゃもんじゃ

【学校だより・中学校】

●動植物や自然をイメージしたもの

薄雪草 part2

クローバー

石楠花

鈴蘭だより

水芭蕉

いちょう

公孫樹

せんだん

かしわ

くすのき

白樺

すずかけ

はんのき

ひまらやすぎ

菩提樹

椋の木

楠の葉

若杉

大樹

オオルリ

白鳥

若鮎

朝日に映える

新風

颯風

東天

真澄の空

大空と大地の中で

雲海

暁雲

東雲

海鳴り

清流(2)

せせらぎ

煌星 きらぼし

北極星

●友だちの和をイメージしたもの

ふれあい

ふれあいの丘

スクラム

まごころ

出会いの泉

●学校の合言葉や目標になるもの

明・浄・直

明・強・正

夢・力・品

夢・愛・希望

夢と志

融愛善

チャレンジ

今に生きる!

磨けば光る一歩前進

いざやはげまん

しなやか

われらあり

●成長や飛翔をイメージさせるもの

すこやか

チームみらい

若き希望

知恵のつぼみ

●四字熟語

全力投球

日進月歩

不撓不屈

凡事徹底

進取敬愛

啐啄同時

竜王昇陽

一校一心

和敬清寂

●二字熟語

耕心

克己初心

22 4=4 17710

翠巒

積善 拓心

飛翔 (2)

鵬翼

躍進

雄飛 (2)

養生

●学校名等にちなんだもの

あしだ

いぶき

うめなん

おばちゅうだより

元気な野州っ子

湖南の風

湖畔の桜

コマサン便り

至誠の人

城東ドリーム

菅生交流

チームくまちゅう

ながぬま

西中魂

花園

日置中コミュニティだより

東中魂

東調布の風

東っ子

姫城風

福栄の風

ふじ美が原

北斗につなげ

みなみかぜ

南十字星

MONOBE TIMES

山桜

やま輝た

山前中は今

依佐美中ニュース

●地元の地名や歴史等にちなんだもの

安芸太田の風

秋津野

あずまね

いぶき

甍の風(いらかのかぜ)

入らずの森

鼎タイムス

上の平

鴨川だより

くりやま

ござ野

こみどりの学び舎から

佐比売

汐見ヶ丘

萩香台

常清滝

しろやま

砂田が丘通信

すみよし

するぎはら

高倉丘

鷹の巣

高見山

桃華

とがしま通信

とどろき

はびろ

穂波平

もみじ太鼓

ゆたたり

●ことわざや慣用句など

出藍の誉れ

卒啄の機

●その他

かけはし

橋

校長室からこんにちは

校長室の窓から(2)

NEWS LETTER

今日のできごと

創意通信

学校と家庭

道と人

木立見

ぞう山

やなの 日新

鶴松Ⅱ

北の塔

文の館

三つのC

シャローム

FIGLE DI SAN FRANCESCO

一般の先生方へのアンケート

*学校で発行される通信類には「通信」「たより」などさまざまな呼称がありますが、当アンケートでは原則として「通信」を用いています。

Q1 先生のプロフィールについて教えてください ① □小学校教諭 □中学校教諭 □その他()
② □()年生の担任をしている □担任はしていない	
③ □男性 □女性 / 教職歴 () 年	
④勤務校の児童・生徒数 ()人	
Q2 学級通信と学年通信の発行について教えてください	
*単学級の場合、「学級通信」と考えるか、「学年通信」と考えるかは、みなさまのご判断におまかせします。	
①現在、先生は学級通信または学年通信を発行していますか?	
学級通信を □発行している □発行していない □以前発行していたが、いまは発行していな	<i>(</i>)
□その他()
学年通信を □発行している □発行していない □以前発行していたが、いまは発行していな	<i>(</i>)
□その他()
②学級通信は発行したほうがよいと思いますか?	
□必ず発行したほうがよい □できれば発行したほうがよい □あまり必要性を感じない	
□できれば発行したくない □その他()
③学年通信は発行したほうがよいと思いますか?	
□必ず発行したほうがよい □できれば発行したほうがよい □あまり必要性を感じない	
□できれば発行したくない □その他()
④学年通信の発行を担当している先生は?	
□学年主任 □同学年担当の先生が順番に □その他()
Q3 学級通信や学年通信を発行していない先生のみお答えください	
①学級通信を発行していない理由を教えてください(複数回答可)	
□学校の方針だから □学年で足なみを揃えないといけないから(自分のクラスだけ発行できない)	1
□管理職の添削や承認に手間がかかるから □学年通信の発行だけで十分だから	
□必要性を感じない □作り方がわからない □時間がない □印刷経費の節減	
□その他()
②学年通信を発行していない理由を教えてください(複数回答可)	
□学校の方針だから □学級通信の発行だけで十分だから □必要性を感じない	
□作り方がわからない □時間がない □印刷経費の節減	
□その他()
Q4 学級通信や学年通信を発行している先生のみお答えください	
①先生が発行する学級通信のタイトルは? ()
先生が発行する学年通信のタイトルは? ()
②今年度の発行頻度は?	
学級通信を(年・月・週・日・不定期)に(回程度)発行している	
学年通信を(年・月・週・日・不定期)に(回程度)発行している	

③発行している通信の体裁は?	
【判 型】□B5 □A4 □B4 □A3 □その他()
【印刷面】□片面印刷 □一面面印刷 □その他()
【刷り色】 \square モノクロ \square カラー \square 2 色印刷 \square その他()
④原稿の作成方法は?	
□パソコン □手書き □パソコン+手書き	
□その他()
⑤印刷方法は?	
□学校の印刷機 □パソコンのプリンター □コピー機	
□その他()
⑥学級通信の場合、どのような内容を掲載していますか?(複数回答可)	
□学級経営方針・教育観 □子どもや保護者へのお願い □授業や学校生活の様子	
□学級活動・学校行事への取り組み □子どもたちの写真 □週間予定・月間予定	
□時間割表 □クラスメートの紹介 □保護者の声 □コラム(担任のひとこと・日	記等)
□子どもの作品等 □その他()
⑦学年通信の場合、どのような内容を掲載していますか? (複数回答可)	
□学年経営方針・教育観 □子どもや保護者へのお願い □授業や学校生活の様子	
□学年活動・学校行事への取り組み □子どもたちの写真 □週間予定・月間予定 □四番番の □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	
□保護者の声 □コラム □子どもの作品等	`
□その他()
⑧通信を作成する時間はどのくらいですか?(学級通信・学年通信)の作成時間は □30分 □1時間 □2~3時間	
(子秋) 「子本) 「子本) 「日日 「日日 「日日 日日 日日 日日 日日	
⑨おもにいつ、どこで作成していますか?	
(学級通信・学年通信)の作成は □いつ()
(子版通信 チールII) ジアスは ロマッ (□どこで ()
⑩通信を作成することを負担に感じたことはありますか?	,
□とても感じる □多少感じる □あまり感じない □まったく感じない	
①通信を作成・発行するうえで大切にしていることは? (複数回答可)	
□定期的な発行 □子どもの声や様子を伝える □保護者の理解を得る	
□教師としての教育観や方針の伝達 □学力向上 □学級づくり(クラスの雰囲気づく	り等)
□その他()
②通信を作成・発行するうえで悩んでいること、困っていることは?	
□ネタ探し □レイアウト □子どもの写真が掲載しにくい □管理職のチェックが崩	敍しい
□保護者の反応・要求等	
□その他()
⑬初めて通信を発行したとき、なにを参考にしましたか?	
□先輩の通信を見て □インターネットで検索 □通信づくりの本を見て	
□その他()
Q5 「プリントコミュニケーションひろば」というコンクールをご存じですか?	
□知っている □応募したことがある(回) □知らない	

最後に、通信づくりについて感じていること考えていることなどを自由にお書きください。
*例:通信発行による効果やメリット、子どもや保護者からの反応、初めて通信を発行する先生へのアドバイス

管理職(校長、副校長・教頭、教務主任等)の先生方へのアンケート

Q 1 先生のプロフィール(役職など)について教えてください	
①□校長 □副校長・教頭 □教務主任 □その他()
②担任をしていた頃、学級通信を □積極的に出していた □ときどき出していた	
□出さなかった □その他()
③勤務校の児童・生徒数 () 人	
Q2 貴校で発行しているさまざまな通信類について教えてください	
①先生の学校では、どんな通信が発行されていますか?	
□学校だより □学年通信 □学級通信 □保健だより □給食だより □図書館だより	
□その他()
②学級通信を発行しているクラス数は?	
() 学級中() 学級で発行している	
③通信類を事前にチェックする際のポイントは?	
□目を通す程度で、基本的には自主性に任せている	
□誤字・脱字の指摘程度にとどめる	
□表現や内容にまで踏み込んで修正する場合がある	
	١
□その他()
○○ 光拉だ b らたがたしている 根本のひれがこください	
Q3 学校だよりを発行している場合のみお答えください	
①学校だよりのタイトルは? ()) () () () () () () () ()	
②学校だよりを作成している先生は? □校長先生 □副校長・教頭先生 □教務主任	
— · · · · ·)
③学校だよりの発行頻度は? \Box 月1回 \Box 月2回 \Box 週1回 \Box その他()
④学校だよりを発行する主な目的は? ()
⑤学校だよりの掲載内容は?(複数回答可)	
□巻頭言 □学校の取り組み □子どもたちの様子 □学校行事の話題 □行事等の予定	₹
□保護者へのお願い □社会の動き □ちょっとしたいい話	
□子どもたちや保護者への励ましの言葉	
□その他()
⑥学校だよりを作成するうえでネタ集めとして工夫していることは?(自由記述)	
⑦学校だよりを発行していて、「よかった」と思うのはどんなことですか? (自由記述)	
	ï
	•
	1

Q4 学校だよりを発行していない場合のみお答えください ①学校だよりを発行していない理由を教えてください □学校の方針だから □必要性を感じない □経費節減のため □時間がない □講話だけで十分に伝わる) □その他(Q5 学級通信や学年通信をとりまく環境の変化についてお答えください ①最近、学級通信を学年通信に一本化する動きがみられますが、どう思いますか? □学級通信と学年通信は、役割も位置づけも異なるので、別々に発行すべきだ □学年通信だけで十分だ □その他(②学級通信の掲載内容について、「学校側のチェックに時間がかかりすぎる」といった声もあります が、どう思いますか? □学級通信とはいえ公文書として外に出る情報だからチェックに時間がかかるのはしかたがない □できるだけスピーディにチェックし、発行が遅れないように配慮すべきだ □そのような問題は生じていない □その他(③同学年で学級通信を発行している先生と発行していない先生がいる場合、どのような対応をされま すか? □すべての担任に学級通信を出すように指導する □すべての担任に学級通信を出さないように指導する □その学年の自主性に任せる □各先生の自主性に任せる □その他() ④学級通信を出している先生と出していない先生では、保護者の評価は異なると思いますか? □そう思う □そうは思わない □その他() ⑤学級経営と学級通信の関係についてお答えください(複数回答可) □学級通信は学級経営をサポートする重要なメディアである □学級通信は保護者とのコミュニケーションを円滑にするうえで不可欠である □学級通信を読むとどんな学級経営をしているかがわかり、管理職にとっても貴重な情報である □学級通信を出すことで、保護者からの評価など、担任としての手応えややりがいを感じることができる □多忙化傾向にある先生方にとって、学級通信の発行が負担になっている面があると思う □学級通信を出さなくても、子どもたちや保護者とコミュニケーションを図る方法はある □その他(⑥学級通信(学校だより)を出すことで、学級経営(学校経営)などにどのような効果があると思い ますか? (自由記述)

Q1 お子さんの学校では、学級通信(単学級の場合は学年通信)を発行していますか?	
1. 発行している 2. 発行していない 3. その他()
Q2 Q1で「発行していない」と答えた方にお聞きします ①学級通信を発行してほしいですか? 1. ぜひ発行してほしい 2. どちらかといえば発行してほしい 3. あまり発行の必要を感じない 4. 発行する必要はない → ※最後のQ4 および Q5 の質問にもお答えください	
Q3 Q1で「発行している」と答えた方にお聞きします	
①学級通信の発行サイクルはどれくらいですか?	
37, The same of th)
②現在の発行サイクルについてどう思いますか?	
1.多い 2.ちょうどよい 3.少ない 4.その他 ()
③学級通信は必ず読みますか?	
1. 必ず読む 2. ときどき読む 3. たまに読む 4. 読まない	`
5. その他() []
④学級通信のなかで興味をもって読むものについて、5つ以内で○をつけてください(複数回答可1. 学級経営方針・教育観2. 子どもや保護者へのお願い3. 授業や学校生活の様子)
4. 学級活動・学校行事への取り組み 5. 子どもたちの写真 6. 週間予定・月間予定	
7. 時間割表 8. クラスメートの紹介 9. 保護者の声 10. コラム(担任のひとこと・日記等)	١
11. 子どもの作品等 12. その他 ())
⑤学級通信は必要ですか?	
1. 必要である 2. どちらともいえない 3. 必要ではない	
4. その他()
⑥上の⑤の答えについて、その理由を教えてください(自由記述)	_
⑦学級通信を読んで、役に立ったこと、参考になったこと、うれしかったことなどがあったら 教えてください(自由記述)	
⑧学級通信に載せてほしい情報について、5つ以内で○をつけてください(複数回答可)	
1. 学級経営方針・教育観 2. 子どもや保護者へのお願い 3. 授業や学校生活の様子	
4. 学級活動・学校行事への取り組み 5. 子どもたちの写真 6. 週間予定・月間予定	
7. 時間割表 8. クラスメートの紹介 9. 保護者の声 10. コラム (担任のひとこと・日記等)	1
11. 子どもの作品等 12. その他 ())

(9)現在の学級通信について不満や要望はありますか? (目由記述)
⑩学級通信の内容について、お子さんと話をすることがありますか?
1. よくある 2. ときどきある 3. たまにある 4. ない
5. その他(
⑪お子さんは学級通信についてどう感じていると思いますか?
1. 楽しみにしているようだ 2. とくに関心はないようだ 3. よくわからない
4. その他(
⑫保護者の声や感想が載っている学級通信についてどう思いますか?
1. あったほうがよい 2. どちらともいえない 3. ないほうがよい
4. その他(
③学級通信の内容が保護者の間で話題になることはありますか?
1. よくある 2. ときどきある 3. たまにある 4. ない
5. その他(
⑭学級通信が紙媒体ではなく、Web 上で見られるようになったらどう思いますか?
1. 紙のほうがよい 2. どちらでもよい 3. Web 上のほうがよい
4. その他(
⑤学級通信の内容や発行頻度の多さが、担任の先生を評価することにつながりますか?
1.評価につながる 2.評価にはつながらない
3. その他(
Q4 学級通信について感じていること、考えていることなどを自由にお書きください

学校における各種通信の実態と 教育効果に関する調査研究 最終報告書

発 行 2018年9月

発 行 者 公益財団法人理想教育財団 羽山明

著 者 学校における各種通信の実態と教育効果に関する調査研究会

発 行 所 公益財団法人理想教育財団

〒105-0004 東京都港区新橋 2-20-15 新橋駅前ビル1号館9階

電話 03-3575-4313 http://www.riso-ef.or.jp/

編集協力 株式会社あどらいぶ企画室

印 刷 株式会社三州社